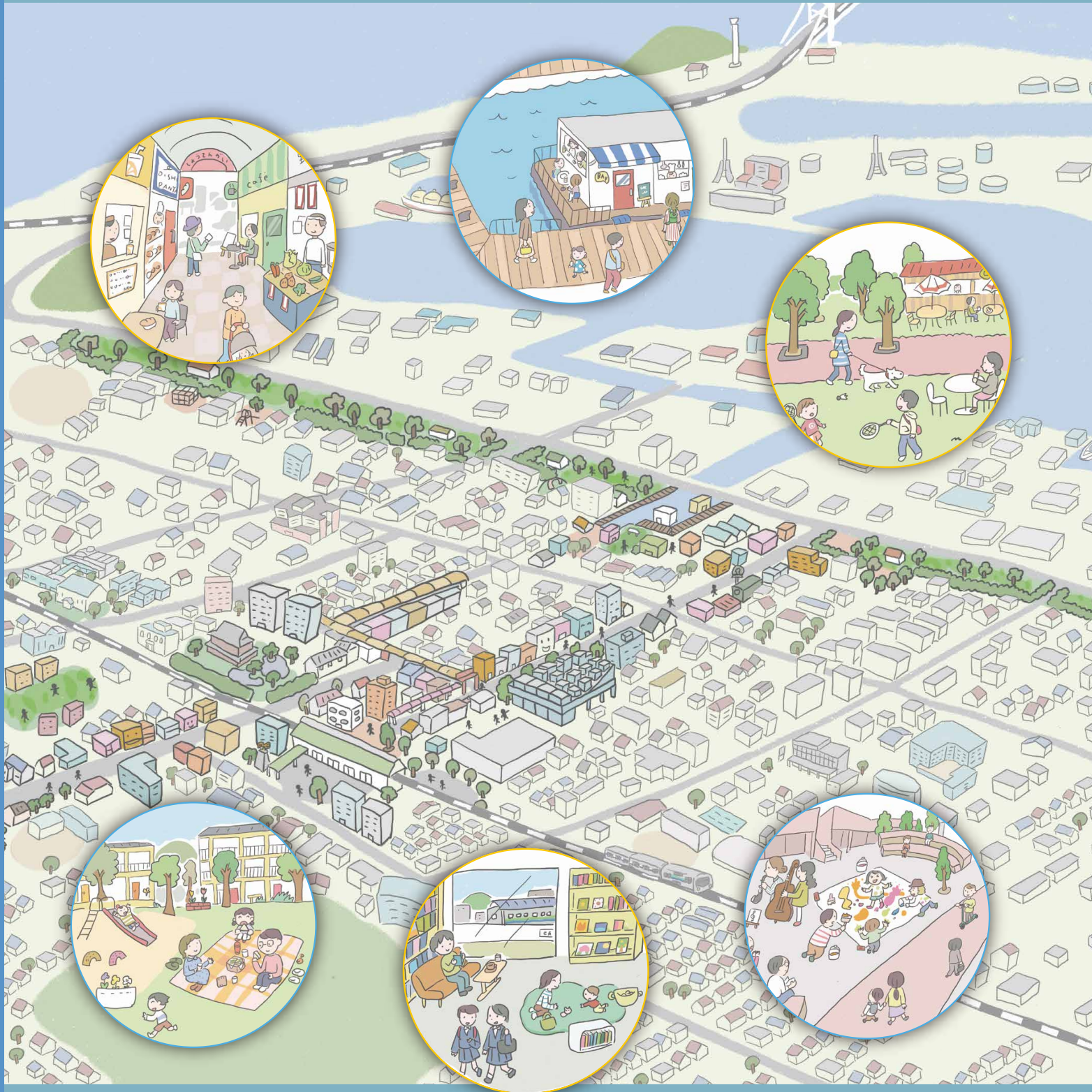


みんなの“ココチよさ”がかなうまち

～まちをひらき、未来をひらく～



坂出駅周辺再整備基本構想（参考資料）

-目次-

1. 中心市街地再生に向けた上位関連計画の整理

1-1. 上位計画	1
(1) 坂出市まちづくり基本構想	1
(2) 坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略<第2期>	3
(3) 坂出市都市計画マスタープラン	4
(4) 坂出市立地適正化計画	6
(5) 坂出市公共施設等総合管理計画	8
1-2. 関連計画	9
(1) 坂出市地域公共交通計画	9
(2) 坂出ニューポートプラン	11
(3) 第2期さかいで子ども・子育て支援プラン	12

2. アンケート調査

2-1. 一般アンケート結果	13
(1) 回答者属性	13
(2) 中心市街地との関係	16
(3) 中心市街地内の公共施設について	18
(4) 中心市街地の印象	23
(5) まちの魅力向上につながるアイデア	28
2-2. 高校生アンケート結果	32
(1) 回答者属性	33
(2) 放課後の過ごし方について	33
(3) 中心市街地内の公共施設について	36
(4) 中心市街地の印象	39
(5) まちの魅力向上につながるアイデア	43
2-3. 就業者(市外居住者)アンケート	45
(1) 回答者属性	45
(2) 居住地選択の理由	47
(3) その他	54

3. さかいで再生会議

3-1. 概要	56
3-2. 委員名簿	56
3-3. さかいで再生会議設置要綱	57
3-4. 会議の経過	59
3-5. 協議内容の要約	60
(1) 第1回さかいで再生会議	60
(2) 第2回さかいで再生会議	62
(3) 第3回さかいで再生会議	65
(4) 第4回さかいで再生会議	67

1. 中心市街地再生に向けた上位関連計画の整理

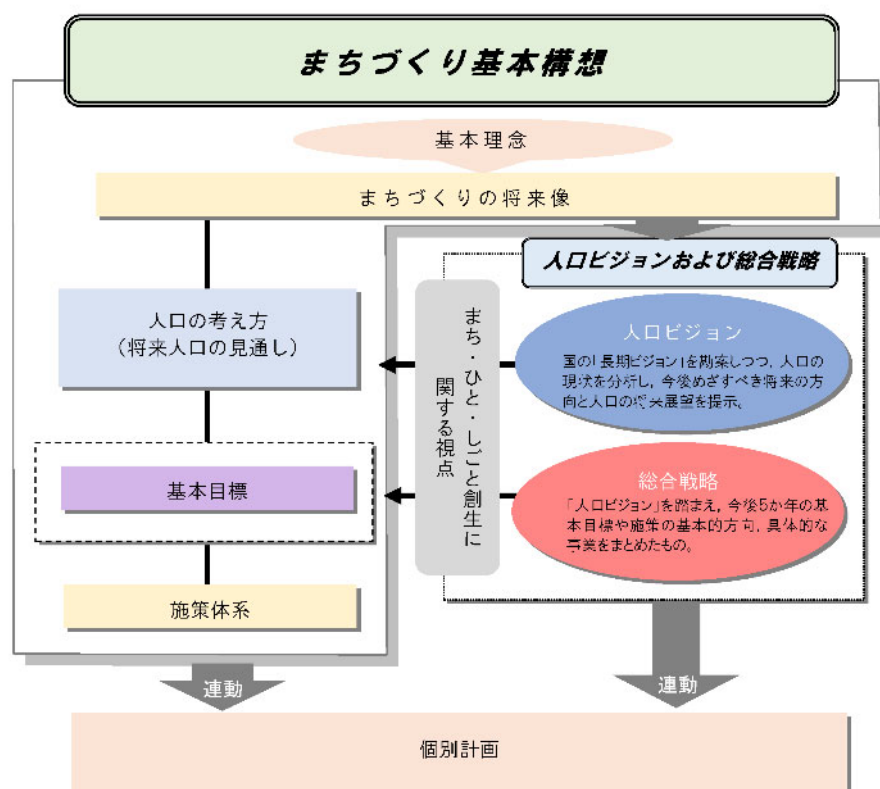
1-1. 上位計画

(1) 坂出市まちづくり基本構想

坂出市まちづくり基本構想は、市の最上位計画にあたるもので、総合的かつ計画的な市政運営を行うため、市政の長期ビジョンを示すもの。

平成 27 年 10 月に策定した、人口の現状と将来の方向を示した「坂出市人口ビジョン」および今後 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との連動する形で、平成 28 年 3 月に策定。

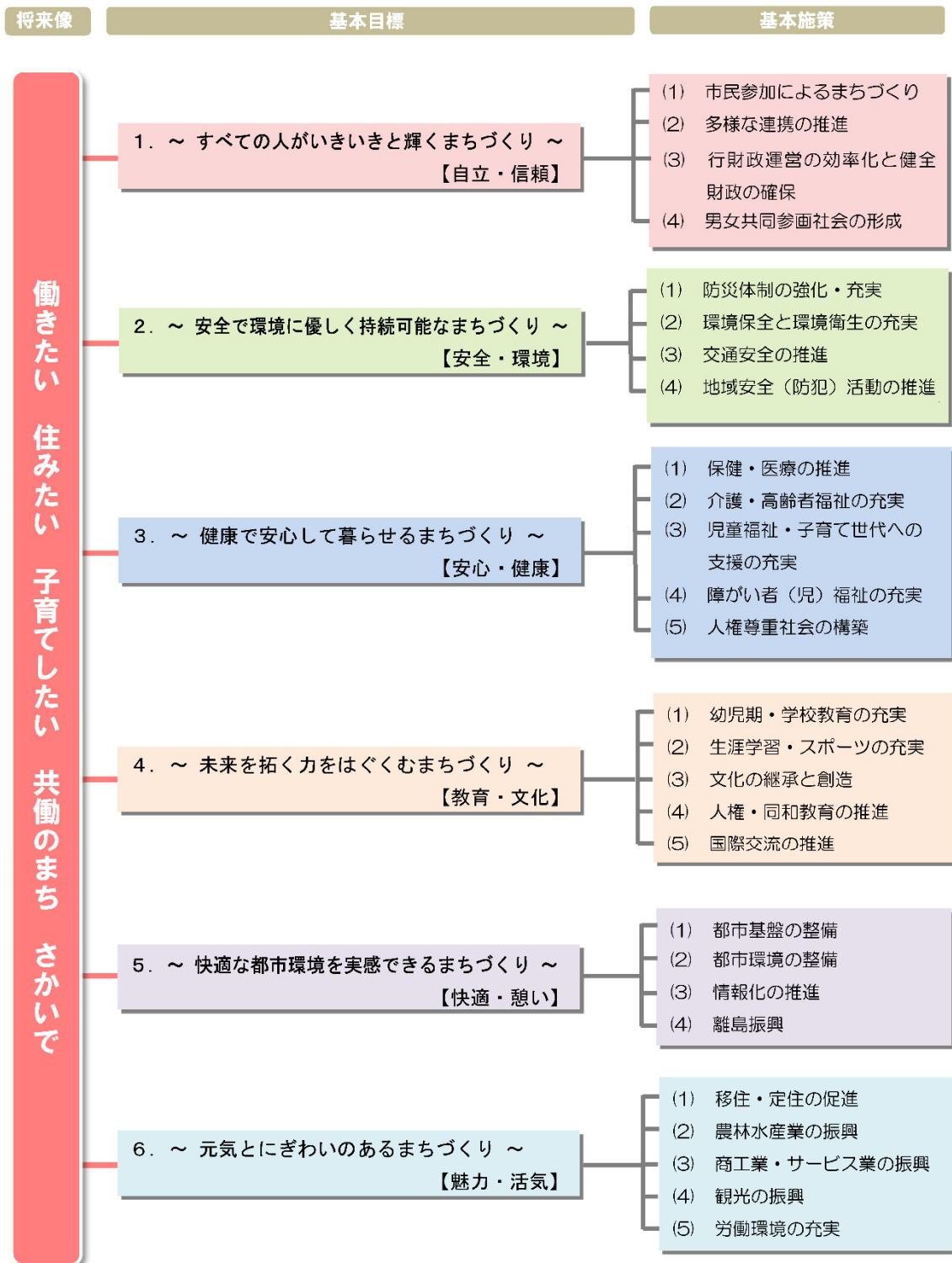
■坂出市まちづくり基本構想の位置づけ



<坂出市まちづくり基本構想におけるまちづくりの将来像>

「このまちで 働きたい 住みたい 子育てしたい」と心から思えるまちの創造に向け、市民・民間事業者・行政が相互に連携し、支え合いながら、まさに「市民共働」で取り組むまちづくりの将来像を『働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで』と定め、諸施策を総合的に展開するとともに、人口減少の克服と地域活力の向上に向けた取組を重点的に推進していきます。

■坂出市まちづくり基本構想における施策体系



(2) 坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略<第2期>

人口の現状と将来の方向を示した「坂出市人口ビジョン」および今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定している。

令和元年度に第1期の対象期間が終了し、令和2年3月に、令和2年度から令和6年度までを対象期間とする「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)」を策定している。

■坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策体系

働きたい
住みたい
子育てしたい
まちの創造

基本目標1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

《施策の基本的方向》

- (1) まちの活性化と生活環境の向上
 - ① 瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルの活用
 - ② 都市の環境整備と地域公共交通の利便性向上
- (2) 坂出の魅力発信
- (3) 移住・定住の促進
 - ① 移住の促進
 - ② 若者の定住促進
- (4) 交流人口の拡大と関係人口の創出
 - ① 観光を軸にした交流人口の拡大と関係人口の創出
 - ② 特色を生かした地域づくり

基本目標2 子育て世代に選ばれるまちづくり

《施策の基本的方向》

- (1) 結婚・妊娠期からの切れ目ない支援
- (2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- (3) 未来を拓く力をはぐくむ人づくり
- (4) すべての人が活躍できる環境の整備

基本目標3 安心して暮らしやすい、持続可能なまちづくり

《施策の基本的方向》

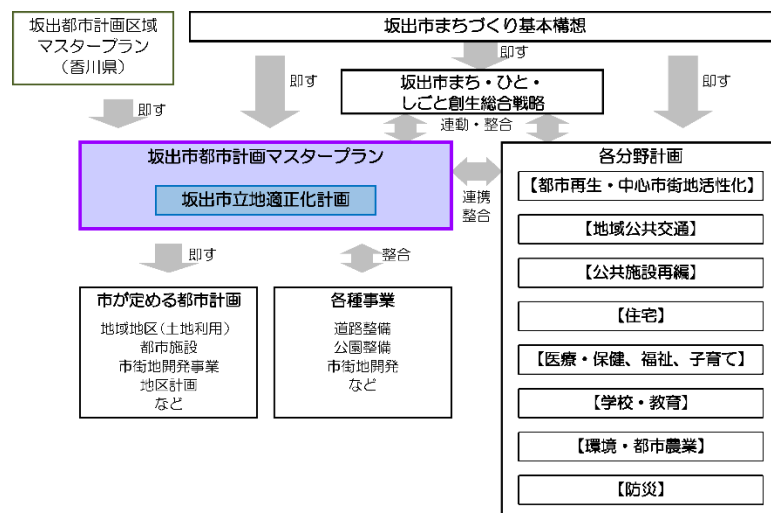
- (1) 企業誘致と産業振興による働く場の確保
 - ① 企業立地の促進と競争力強化の支援
 - ② 魅力ある農林水産物づくりと地域ブランドの展開
- (2) さらなる市民共働きの推進
- (3) 健幸のまちづくりの推進
- (4) 災害・防災対策の強化と持続可能な地域づくり

(3) 坂出市都市計画マスタープラン

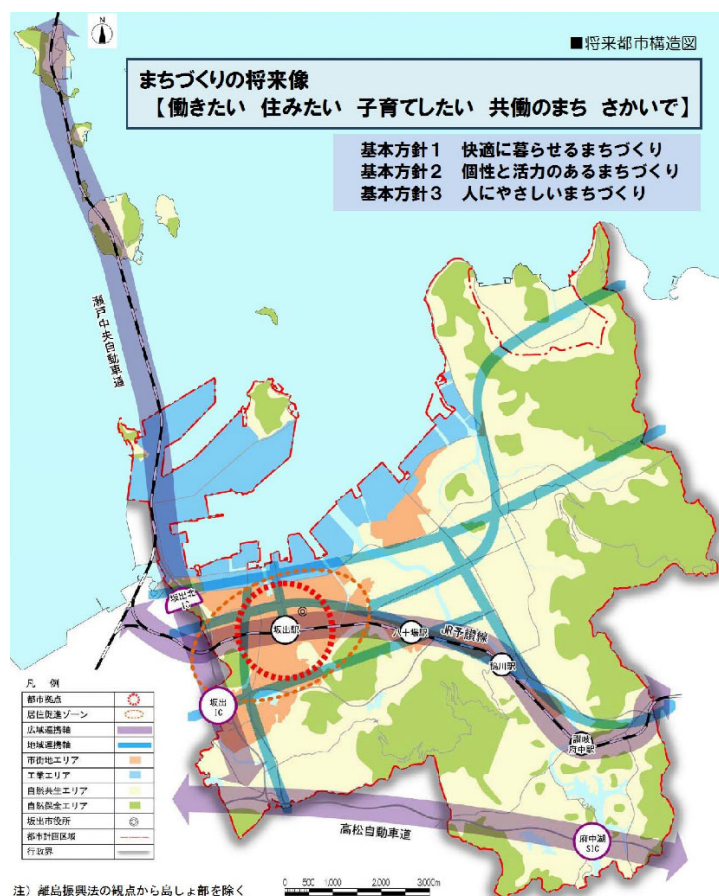
市の都市計画に関する基本的な方針であり、長期的な展望に立ったまちづくりの将来像を定め、その実現に向けた土地利用や都市施設などの都市計画に関する基本的な方針を定める「坂出市都市計画マスタープラン」を平成31年3月に策定。

また、坂出市都市計画マスタープランの一部となる「坂出市立地適正化計画」を同時に策定している。

■坂出市都市計画マスタープランの位置づけ



■坂出市都市計画マスタープランにおける将来都市構造



<坂出市都市計画マスタープランにおける中心地域の整備方針>

<地域づくりの方針>

① 求心力の高い都市拠点の創造

商業、医療・保健、行政、教育、文化など広域都市型の都市機能を維持するとともに、都市の暮らしに必要な多様なサービス機能の立地を誘導します。

また、土地の高度利用や低・未利用地の有効活用、景観配慮などの環境整備などにより、都市の顔としての魅力増進を図ります。

② 安全・安心・快適なまちなか居住の促進

生活利便性の高い JR 坂出駅周辺などでは、密集市街地の改善や空き家対策、中高層住宅の整備などを図るとともに、子どもや高齢者、障がい者などを含めた歩行者の安全性や安心を高め、快適な居住環境を創造します。

③ 広域交通・物流網を活かした活力の増進

坂出北 I C のフルインター化、さぬき浜街道は物流機能の強化や周辺の土地利用と一体となった整備を図り、広域交通・物流網を活かした都市活力の増進を図ります。

臨海部では、高速道路や坂出港など広域交通網の利便性を活かし、クルーズ船の寄港拡大に向けた既存施設の活用、環境に配慮したエネルギー拠点の実現、物流・生産拠点および四国の防災拠点港としての更なる機能強化を図ります。

また、既存施設の有効活用による賑わい・交流拠点の創出により、地域活力の増進を図ります。

④ 都市計画道路の整備促進

円滑で安全な交通機能の確保を図るため、優先的に整備することを予定している以下の路線の整備を進めます。なお、都市計画道路は（都）と略記します。

（都）富士見町線は東西主要幹線とのアクセス強化を図ります。

（都）坂出宇多津線は東西地域間の連携強化を図ります。

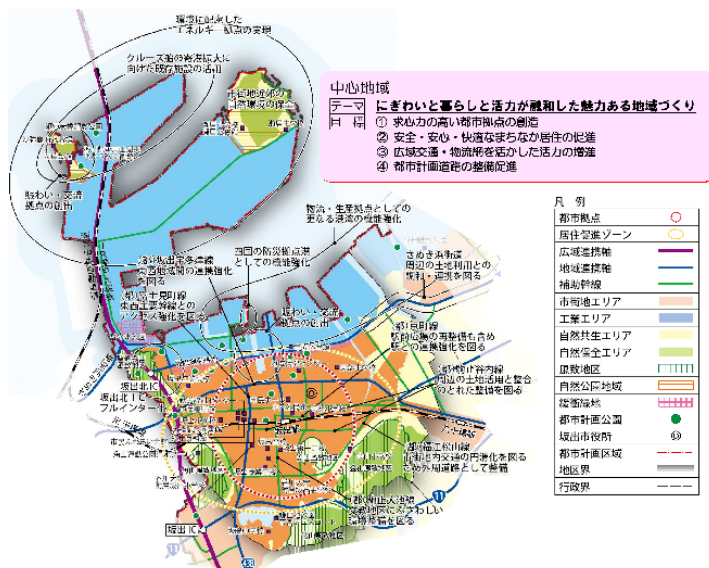
（都）京町線は駅前広場の再整備も含め駅との連携強化を図ります。

（都）福江松山線は市街地内交通の円滑化を図るため外周道路として整備を図ります。

（都）駒止谷内線は周辺の土地活用と整合のとれた整備を図ります。

（都）駒止大池線とその沿線は文教地区にふさわしい環境整備を図ります。

■中心地域の整備方針図



（４）坂出市立地適正化計画

坂出市都市計画マスタープランの一部となる、「コンパクトシティ＋ネットワーク」の実現に向けたまちづくりの指針となる計画「坂出市立地適正化計画」を平成31年3月に策定している。

■坂出市立地適正化計画における基本方針

方針１ 強みを活かしたまちなかの魅力づくり

本市の中心市街地には、広域都市型の都市機能（※）が概ね充足していることから、ＪＲ坂出駅の交通利便性の高さなど、本市の持つ優位性を活かし、文化教育、商業機能等の都市機能の維持・強化を推進することで、まちなかの魅力の増進を図ります。

（※）広域都市型の都市機能：大規模商業施設、総合病院、行政施設（市役所等）、高等学校、文化施設（図書館、美術館等）等の坂出市全域および坂出市を超える圏域で必要とされる施設およびその機能

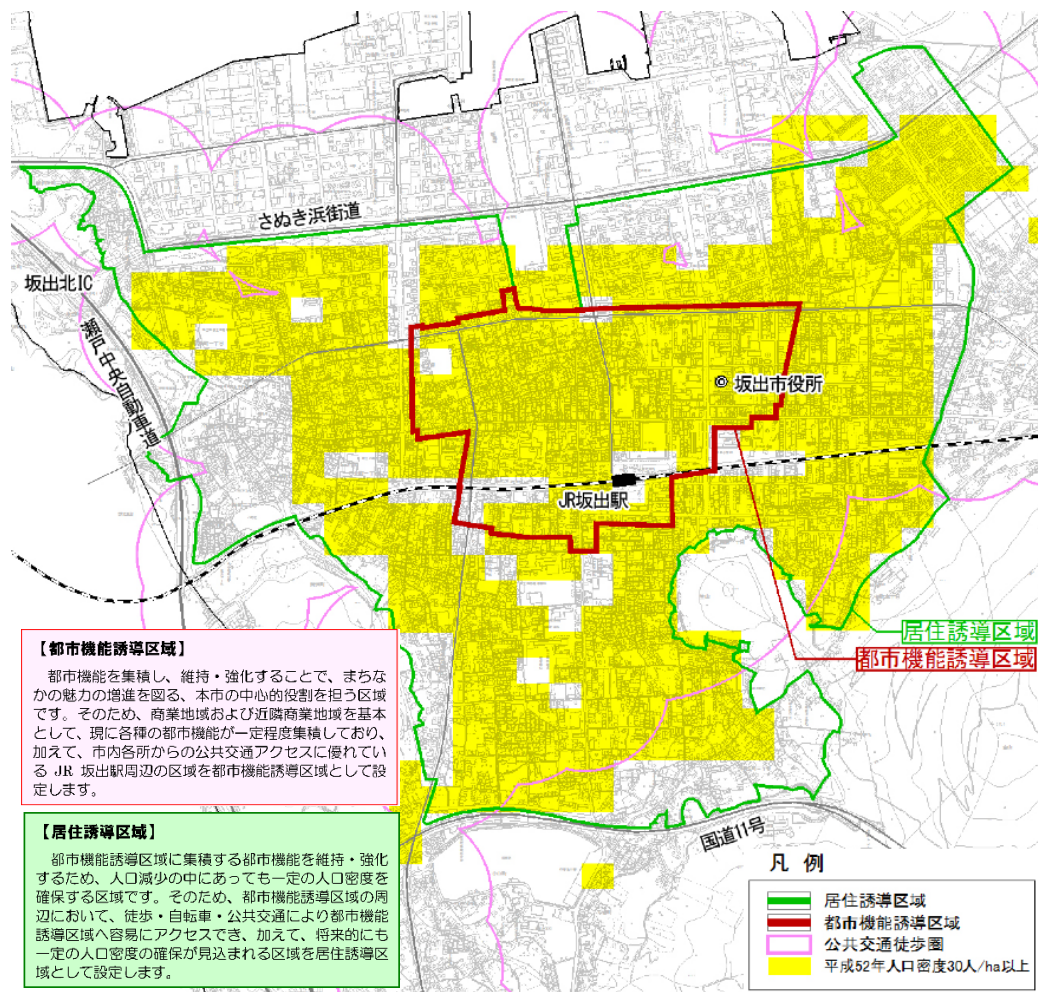
方針２ まちなかの環境改善による居住の推進

都市機能を維持・強化するためには、その周辺に一定の人口密度を確保する必要があることから、密集市街地の環境改善等により、まちなかの安全を確保し高齢者や若者など多様な世代のまちなか居住を促進します。

方針３ 公共交通によるまちなかと各地域の連携強化

まちなかの交通利便性を向上させるとともに、各地域とまちなかを結ぶ公共交通結節機能を強化するなど交通利便性向上を図り、まちなかの魅力を周辺地域へ展開していきます。

■坂出市立地適正化計画における居住誘導区域・都市機能誘導区域



■坂出市立地適正化計画の実現に向けた取組

1) 都市機能の維持・強化

<①坂出駅周辺のにぎわい創出>下図 ①

- ・坂出駅周辺の商業機能の維持・強化
- ・坂出駅を中心とする公共交通利便性の向上
(公共交通結節点の強化)
(バリアフリー化の推進)

1) 都市機能の維持・強化

<②文化教育・コミュニティ機能の強化>下図 ②

- ・文化教育機能の強化
- ・文教地区の環境整備(通学路の整備)
- ・コミュニティ機能の充実
(コミュニティ活動拠点施設の整備)

2) 密集市街地の環境改善 下図 ③

- ・密集市街地の環境改善
(狭隘道路の改善、住宅の防火・耐震化促進)



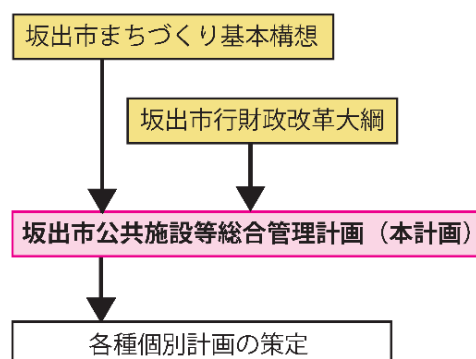
3) 交通利便性のさらなる向上

- ・まちなかの交通利便性向上(公共交通の利用しやすさ改善)
- ・公共交通結節機能の強化(駅前広場)
- ・各地域とまちなかを結ぶ公共交通ネットワークの維持・強化

（５）坂出市公共施設等総合管理計画

市が所有する公共施設等の全体の状況を把握し、また長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現する「坂出市公共施設等総合管理計画」を平成 28 年 12 月に策定している。

また、本計画に基づき、各公共施設に係るコストと利用状況の両面から各施設の課題を抽出した上で、公共施設マネジメントを推し進めるため、「坂出市個別施設計画」を令和 3 年 3 月に策定している。



■坂出市公共施設等総合管理計画における基本目標

基本目標

今後の財政力に応じて施設の総量抑制を図るとともに、活用施設について、利用者ニーズに応じた質の向上を図ります。

以下に示す 4 つの考え方に基づき、公共施設の再生に向けて、取組を進めていきます。

1. 施設の総量抑制と多機能化・複合化の推進

新規整備を抑制しつつ、施設の統廃合や、建物の多機能化・複合化を推進し、市全体を見据えた公共施設の総量抑制と適正な再配置を進めていきます。

2. 建物の構造的・機能的な長寿命化の推進

対症療法的な維持管理から、定期的な点検に基づく予防保全型の維持管理へ転換を図ります。

3. 地域の活動拠点・防災拠点としての公共施設の再生

住民ニーズに対応した複合的な利活用の推進や、災害に強い公共施設へと機能強化を進めていきます。

4. 財政負担の軽減に向けた取組の推進

民間施設の借上げ等による財政負担の軽減や公共施設の受益者負担の適正化等を検討していきます。

1-2. 関連計画

(1) 坂出市地域公共交通計画

■坂出市地域公共交通計画における基本理念

本市の将来像である「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働きのまち さかいで」を実現するために、地域公共交通計画では、「地域全体が主役の、進化し続ける、持続可能な公共交通」基本理念として、市民、企業・事業所、交通事業者、行政など あらゆる関係者が連携しながら主体的に地域が抱える移動に関する課題の解決に向けて取り組み、最新技術も活用しながら、将来に渡って持続可能な地域旅客運送サービスを確保・維持することで、活力と魅力あるまちづくりに貢献することを目指します。

地域全体が主役の、進化し続ける、持続可能な公共交通

■坂出市地域公共交通計画における基本方針

基本方針Ⅰ. まちづくりに対応した公共交通網整備と交通結節点の機能強化

坂出市では、都市の中心地域において都市機能を維持・強化することにより生活利便性を確保するとともに、中心地域と周辺地域を結ぶ公共交通ネットワークを形成することによって持続可能な街づくりをめざす『コンパクト+ネットワーク』の考え方にもとづいたまちづくりを推進しています。

このまちづくりに対応すべく、公共交通によって中心部の回遊性を向上させることで、魅力ある・活力ある中心市街地形成に寄与するとともに、JR 坂出駅を交通結節点とした、郊外部から中心部への交通アクセスを確保するとことで、郊外においても中心部の利便性を享受できる公共交通ネットワークの形成を目指します。

基本方針Ⅱ. 広域連携を含め生活移動ニーズに合った公共交通体系の構築

坂出市の移動特性としては、中心市街地を核とした坂出市各地域からの移動が基本として存在する一方、通勤・通学・買物・通院等については、目的に応じて、郊外部の各地区内の移動や各地区間の移動、さらには市外への日常的な移動が実態として存在しています。

これら実態に合ったニーズの把握に取り組むとともに、近隣自治体とも連携しながら、ニーズに合った利用しやすい公共交通体系の構築を目指します。

基本方針Ⅲ. 将来にわたって維持可能な公共交通体系の構築

人口減少による利用者の減少や、燃料費高騰など物価が上昇する社会情勢の中で、現状ベースでの行政による事業者への補助を将来にわたって続けることは困難となることが予想されます。そのような状況において、将来にわたって公共交通を持続可能なものとするためには、運行コストに対する適正な運賃負担のあり方を検討するとともに、利用者等にとって費用の負担価値のある公共交通とする必要があります。また、特に島しほ部など人口減少が著しい地域においては、地域住民だけの利用による収益の確保が望めない一方、生活移動手段としての公共交通が欠かせない地域でもあるため、移動手段の確保のために特に重点的にコスト削減やニーズの掘り出しに向けた検討を重ねる必要があります。

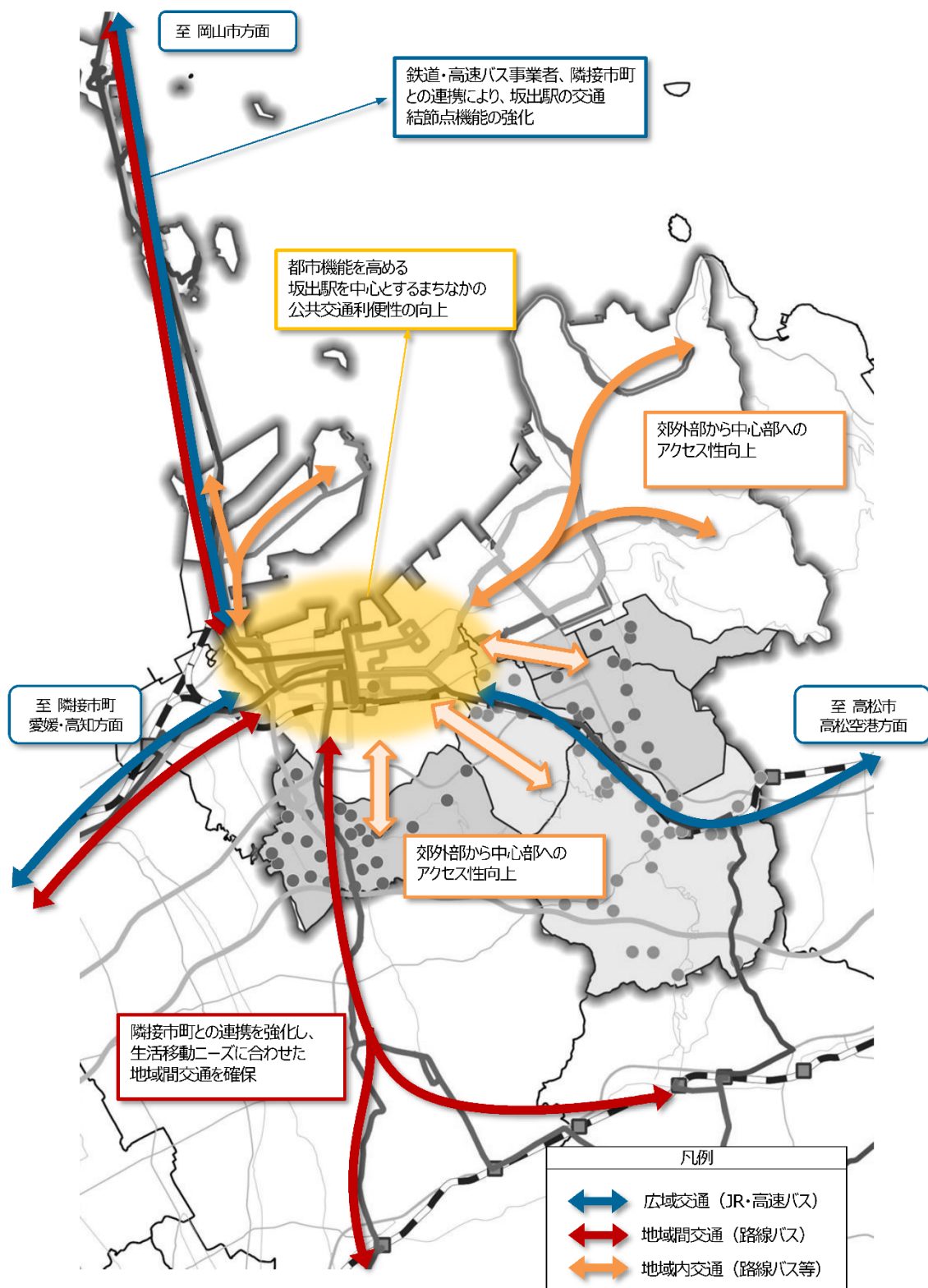
基本方針Ⅳ. 多様な主体の参加、多様な主体との連携

公共交通が抱える課題、人々が移動に関して抱える課題を、個々の交通事業者による個別対応や、行政単独主導による対策によってのみ解決しようとするのは非効率かつ困難な状況となっています。人々が移動に対して抱える課題に対して、多様な主体が当事者意識をもって向き合い、またそれぞれの特性を活かしながら相互に連携して対応することによってこそ、市民にとって満足度の高い、持続可能な公共交通・移動手段の実現につながると考え、地域全体で分野横断的に移動に関する課題解決に努めます。

基本方針Ⅴ. 最新技術も活用した便利で利用しやすい公共交通

技術の進歩に伴い、環境にやさしい車両、運行の効率化を可能とするシステム、利用者に分かりやすい情報提供や利用状況の把握・分析を可能とするツール等が誕生しています。そういったデジタル技術等を活用したツールについて、地域の実情や利用者のニーズに応じて順次検討、導入することにより、公共交通の利便性向上や情報提供、ニーズの収集に活かし、便利で持続可能な公共交通を実現します。

■坂出市地域公共交通計画における地域公共交通体系図



(2) 坂出ニューポートプラン

■取組の方向性・取組内容

取組の方向性	取組内容
① 坂出港の物流機能強化に資する新たな定期航路の誘致	・需要を整理し船社へアプローチする。 ・引き続き企業ヒアリングを実施し、需要の掘り起こしを行う。 ・船社・荷主・運送業のマッチングをすべく、意見交換会を開催する。
② 物流・生産拠点としての更なる港湾の機能強化に向けたふ頭頭の再編	・港湾管理者として長期構想検討委員会を設立し、港湾計画の改訂を目指す。
③ 坂出港が有する資源を活用した賑わい・交流拠点の創出	・観光・産業等を活かしたツアーの充実、瀬戸大橋を活用した産業・文化ツアーの企画等に取り組む。 ・賑わい空間創出検討ワーキングを設置し、西運河地区の空間形成の方向性等を検討する。
④ 坂出港及び瀬戸内海の魅力を活かしたクルーズ船誘致	・官民で協力して産業・文化・芸術など坂出市の観光資源を活かした産業・文化ツアー等のプランを策定。 ・「食」を通じた体験型ツアーの立案(例：塩+小麦→うどん)。 ・上記プラン等を船社や旅行会社向けに積極的に提案。
⑤ 四国の防災拠点港としての機能強化	・実地訓練を計画し、更なる連絡体制の強化を図る。 ・坂出港BCPの内容をブラッシュアップし、今後L2津波についても検討する。
⑥ 臨海部を有効活用した港湾空間の機能向上	・四国のエネルギー拠点として、LNGやバイオマス等環境に配慮したエネルギー企業の集積を図る。 ・港湾機能の再編にあたり、既存施設・遊休地の有効活用を検討し、異業種間交流・研究開発拠点等の背後産業の高度化・活性化に資する空間の形成を図る。

■西運河地区における賑わい空間の創出

○坂出市街地近傍の西運河地区等のウォーターフロントにおいて、賑わい・交流拠点を形成するにあたり、市民がみなとを身近に感じ、憩うことができ、また、観光客等呼び込むことが出来る空間の創出に官民が連携して取組む。

■港湾空間の賑わい活用例

みなとオアシス八幡浜みなと
(愛媛県八幡浜市)



フェリー乗り場に近接した賑わい空間

高松港北浜アリー
(香川県高松市)



既存施設を活用した空間

青森駅前ビーチ
(青森県青森市)



駅及び商店街に近接した親水・生物多様性空間

尾道U2
(広島県尾道市)



既存施設を活用した空間

■今後の取組と方向性

賑わい空間創出検討ワーキング(仮称)を設置

- ・学識経験者
- ・地元経済関係団体等で構成
- ・令和2年3月末迄に設立予定

賑わいの方向性について検討

- ・オープンスペースとして有効活用
- ・親水性に配慮した港湾空間の形成
- ・倉庫等の有効活用
- ・既存の周辺施設との役割分担
- ・観光客を呼び込む魅力ある空間 など

整備手法の立案(経済性、施工性)

- ・運河を最大限活用する方法
- ・運河を一部残しつつ埋立を行う方法
- ・埋立による方法

(3) 第2期さかいで子ども・子育て支援プラン

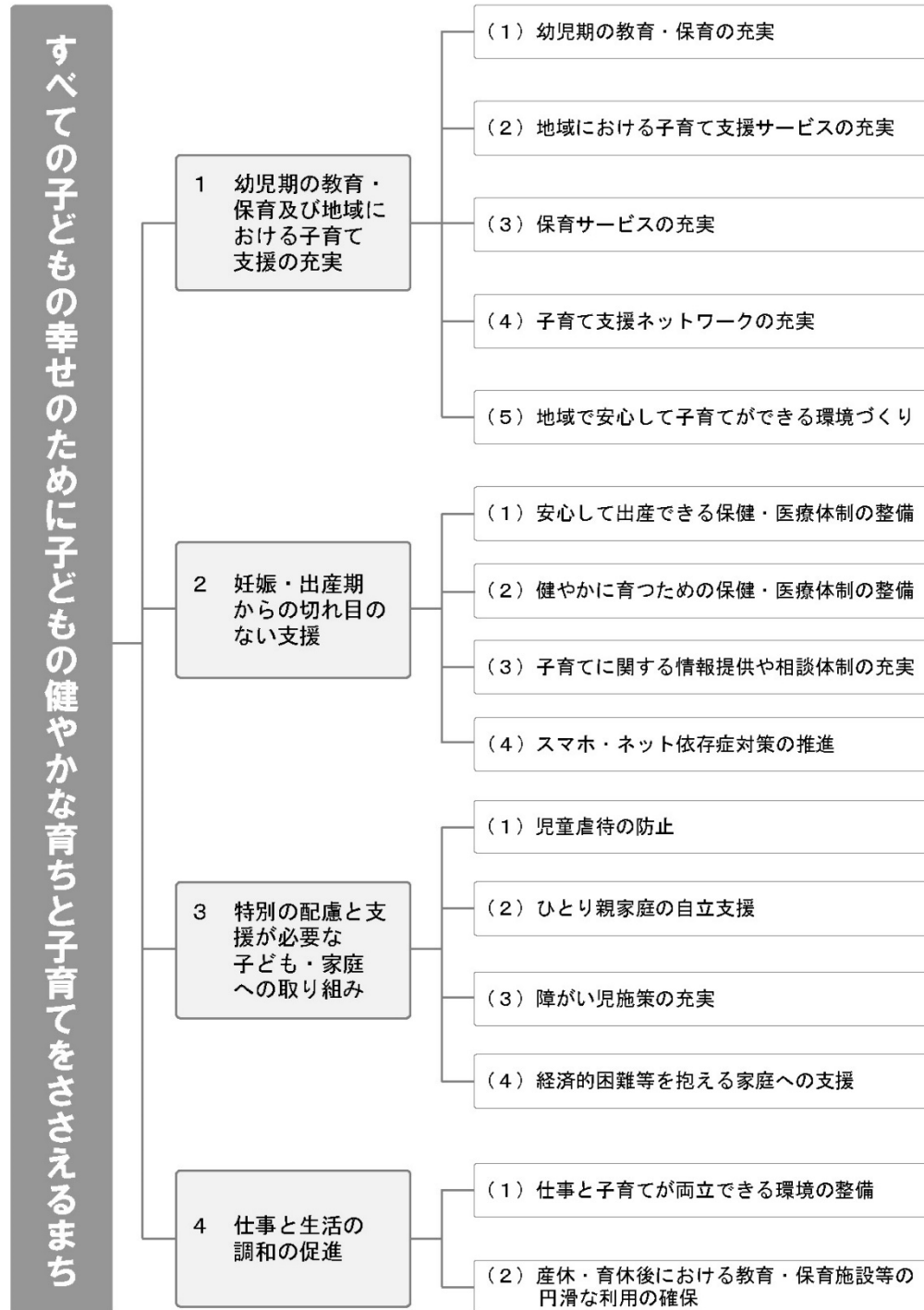
■第2期さかいで子ども・子育て支援プランにおける施策体系

4 施策の体系

[基本理念]

[基本目標]

[基本施策]



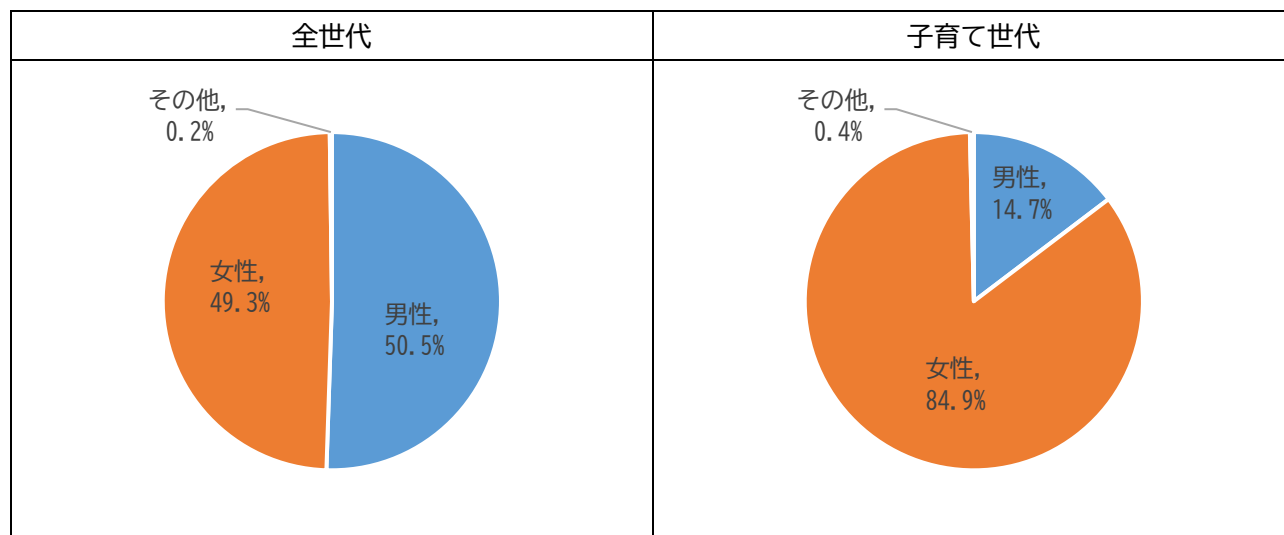
2. アンケート調査

2-1. 一般アンケート結果

(1) 回答者属性

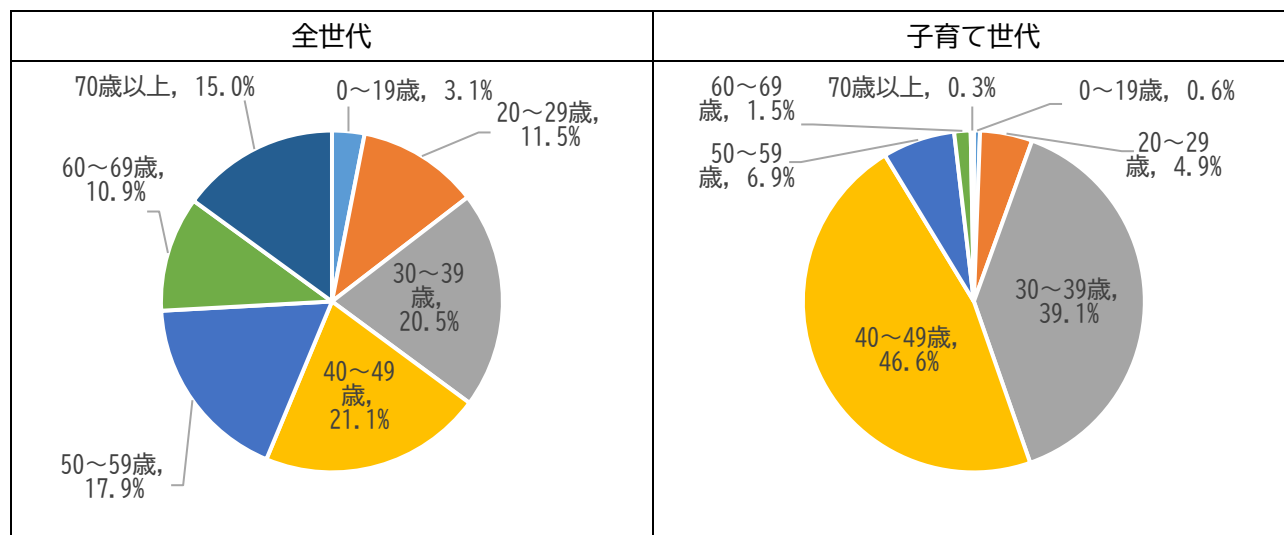
<性別>

問：あなたの性別を1つ選択してください。



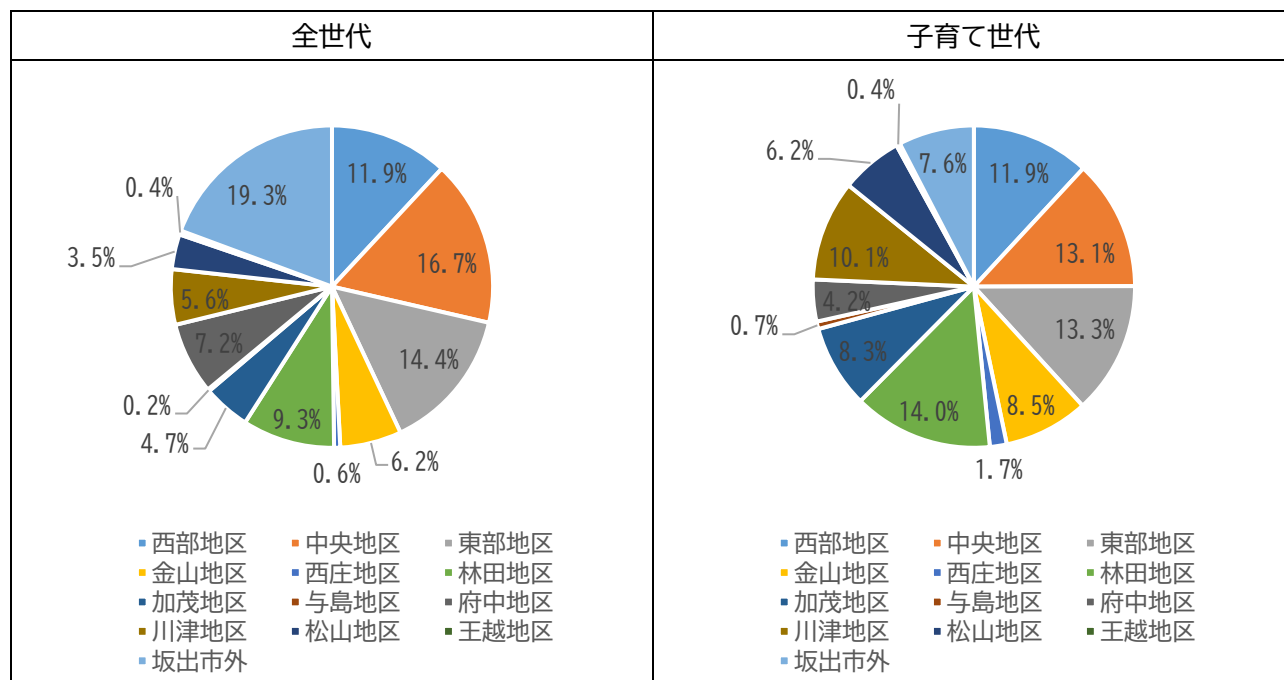
<年齢>

問：あなたの年齢を1つ選択してください。



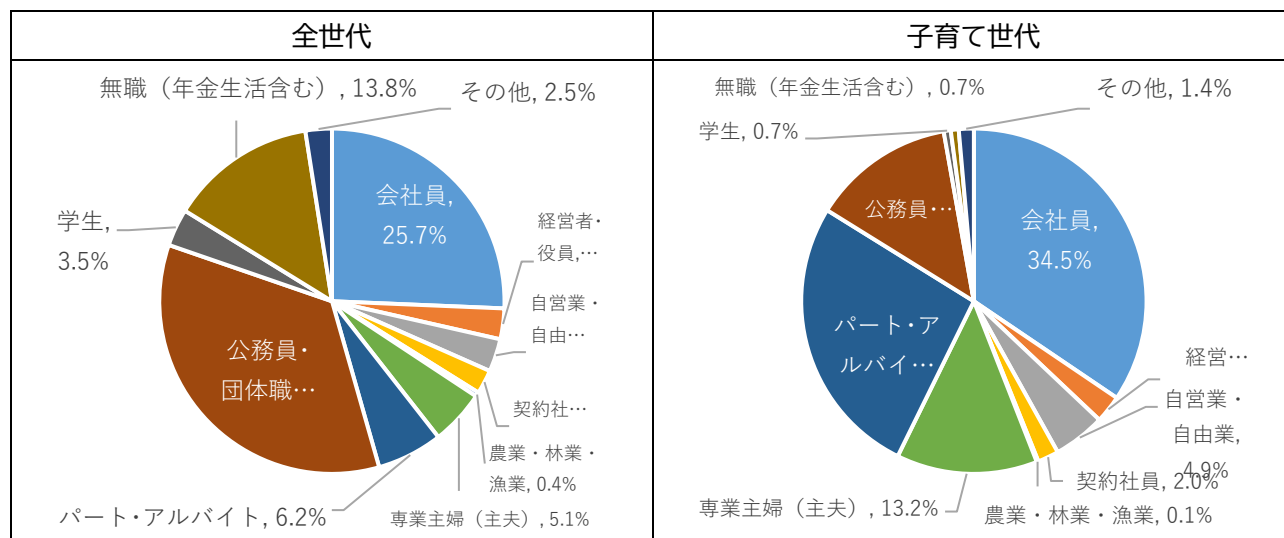
<居住地>

問：あなたの居住地为1つ選択してください。



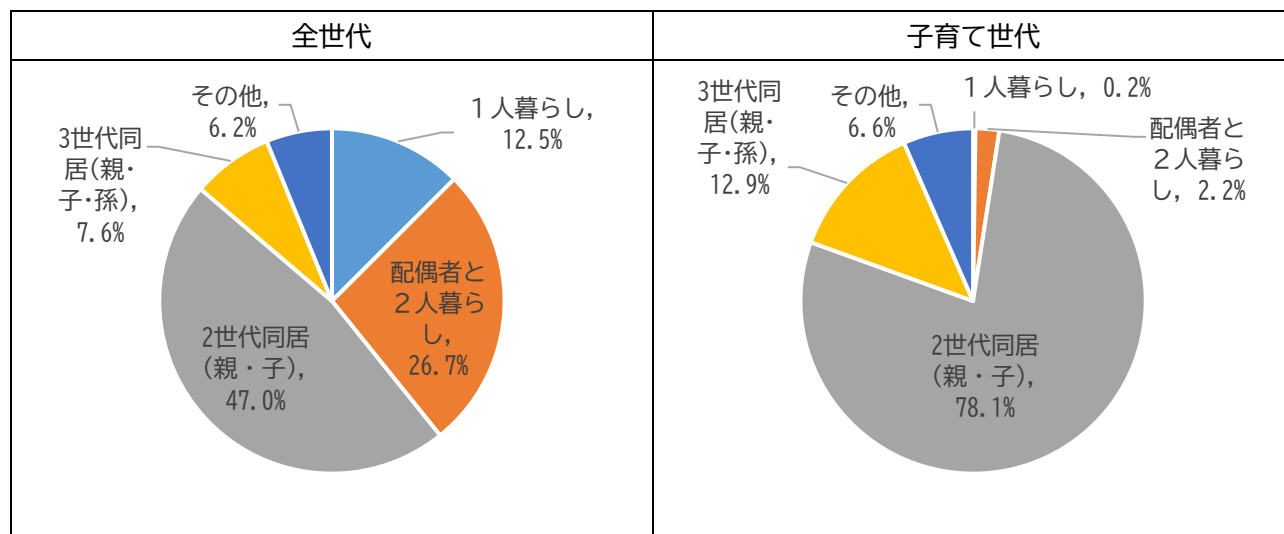
<職業>

問：あなたの職業を1つ選択してください。



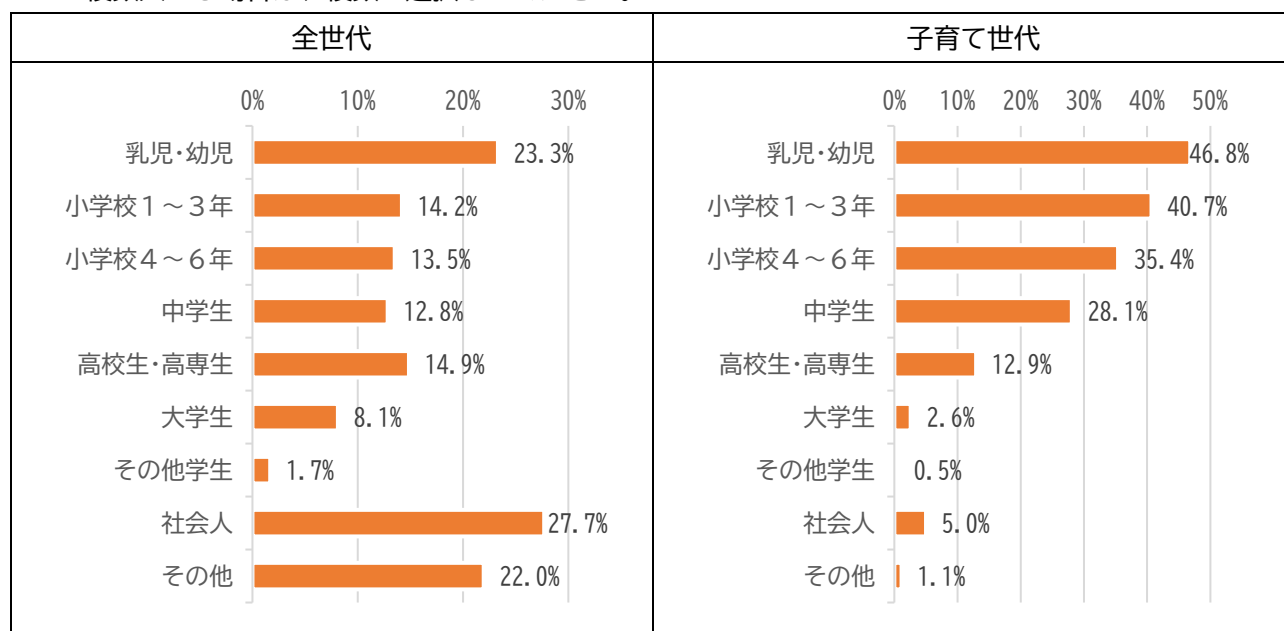
<家族構成>

問：あなたの家族構成を1つ選択してください。



<同居する子どもの学齢>

問：子ども(孫を問：子ども(孫を含む))と同居されている場合、対象となる番号を選択してください。なお、複数人いる場合は、複数を選択してください。

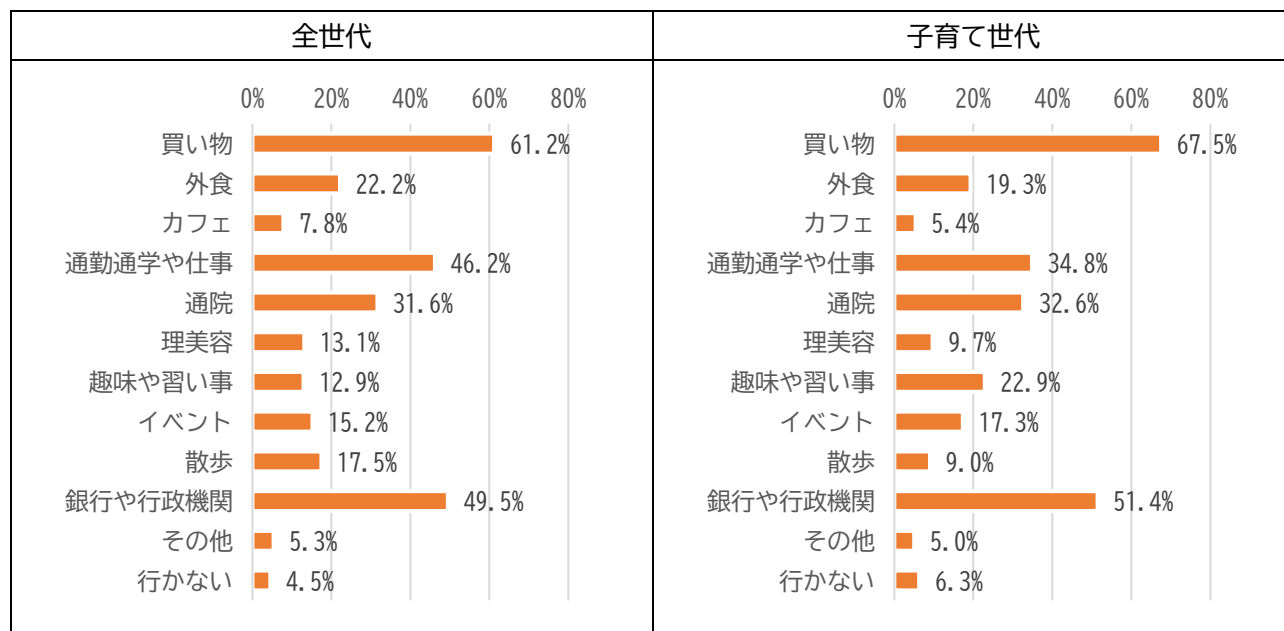


(2) 中心市街地との関係

<目的>

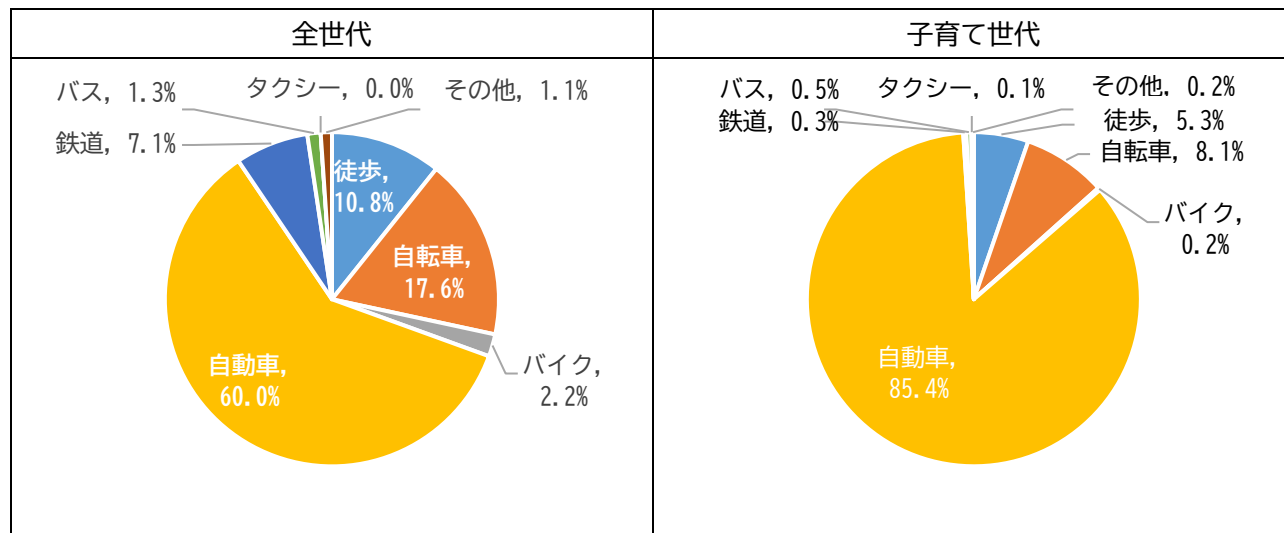
問：坂出中心市街地へお出かけする場合の目的を選択してください。

(複数回答可。通勤通学途中に訪れる場合も含みます。)



<主な交通手段>

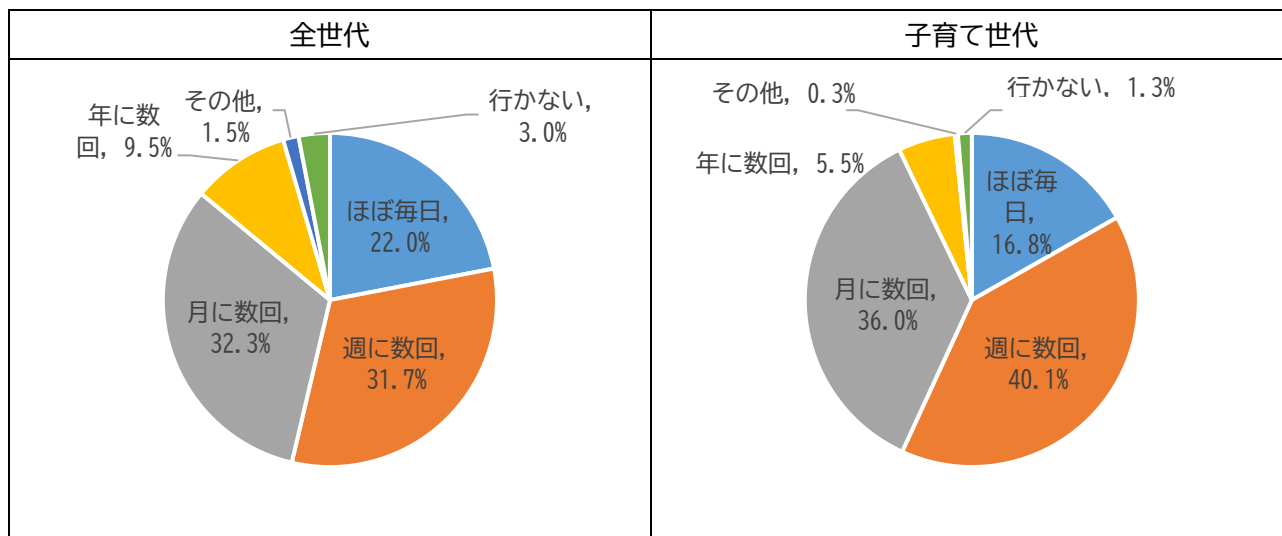
問：坂出中心市街地への主な交通手段を1つ選択してください。



<お出かけ頻度>

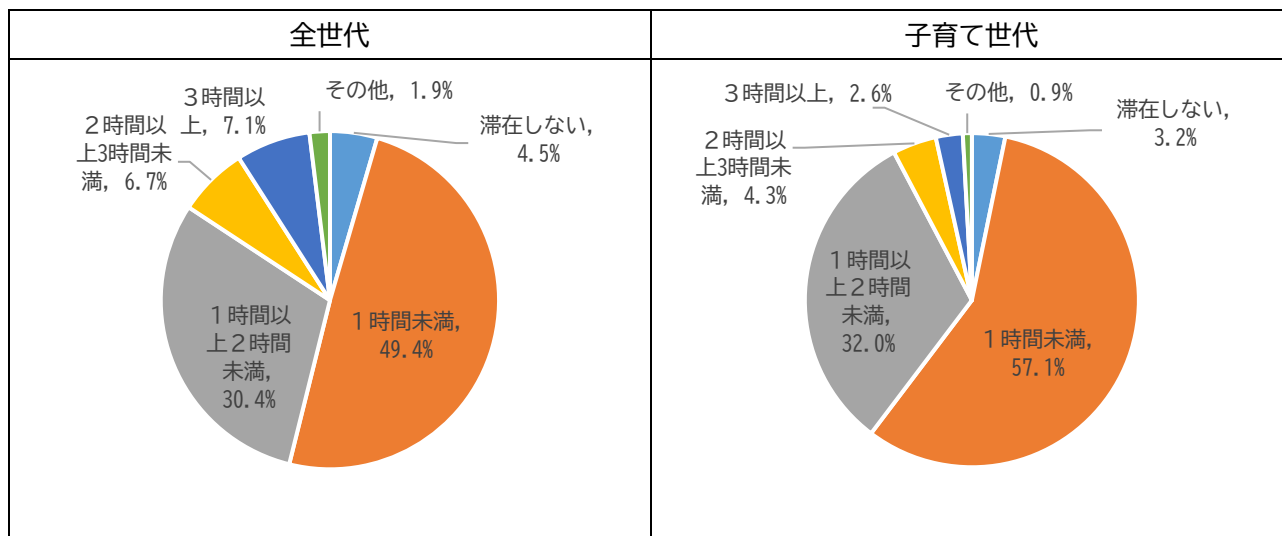
問：坂出中心市街地へのお出かけの頻度を1つ選択してください。

（自宅，勤務地，学校への移動は除いてください。）



<平均滞在時間>

問：坂出中心市街地での平均滞在時間を1つ選択してください。（自宅，勤務地，学校での時間は除いてください）

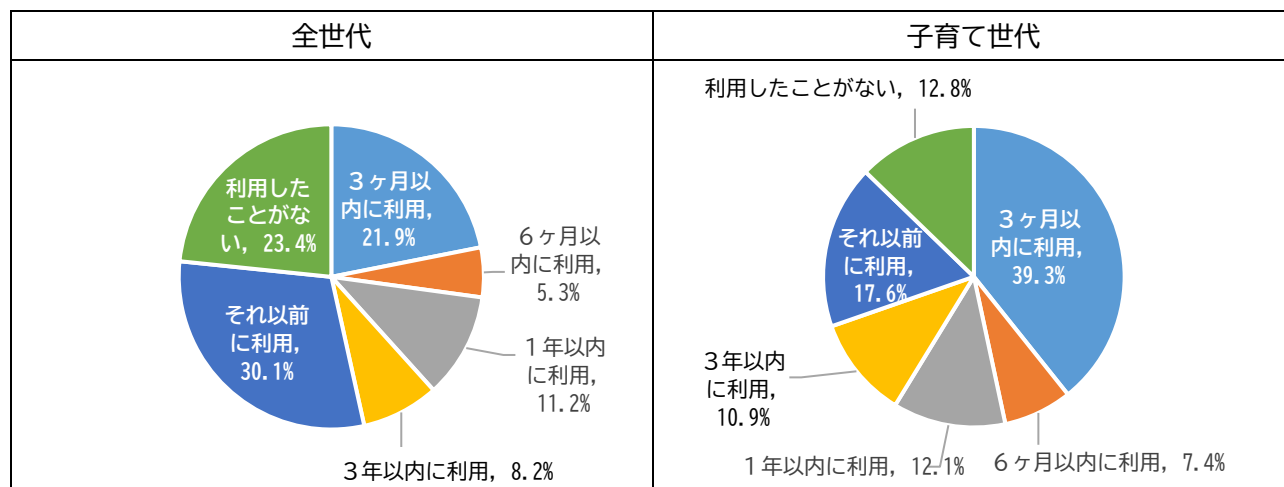


(3) 中心市街地内の公共施設について

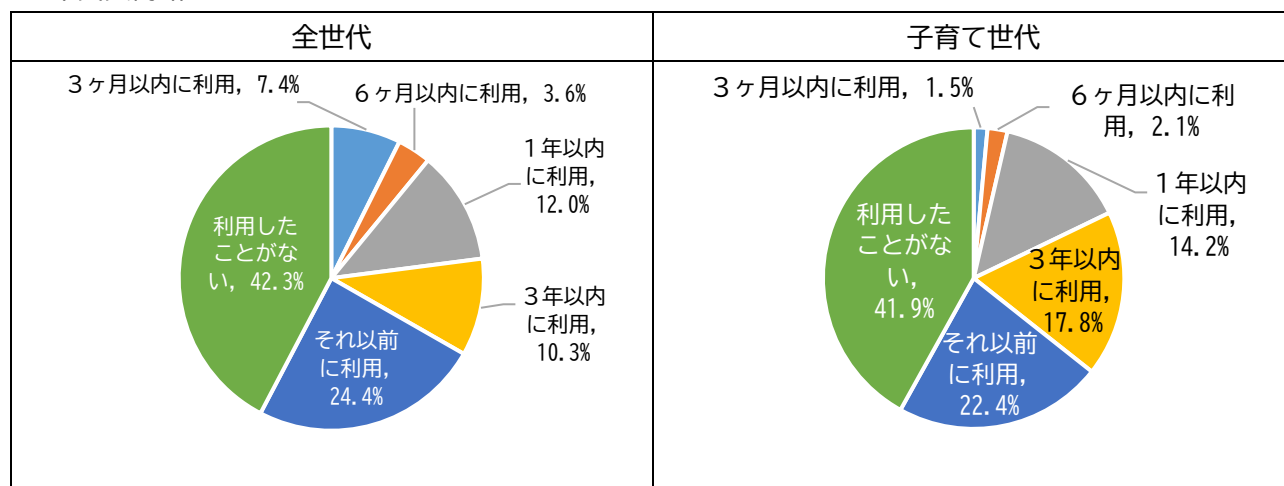
<利用頻度>

問：次の市内公共施設について、それぞれ利用頻度を1つ選択してください。

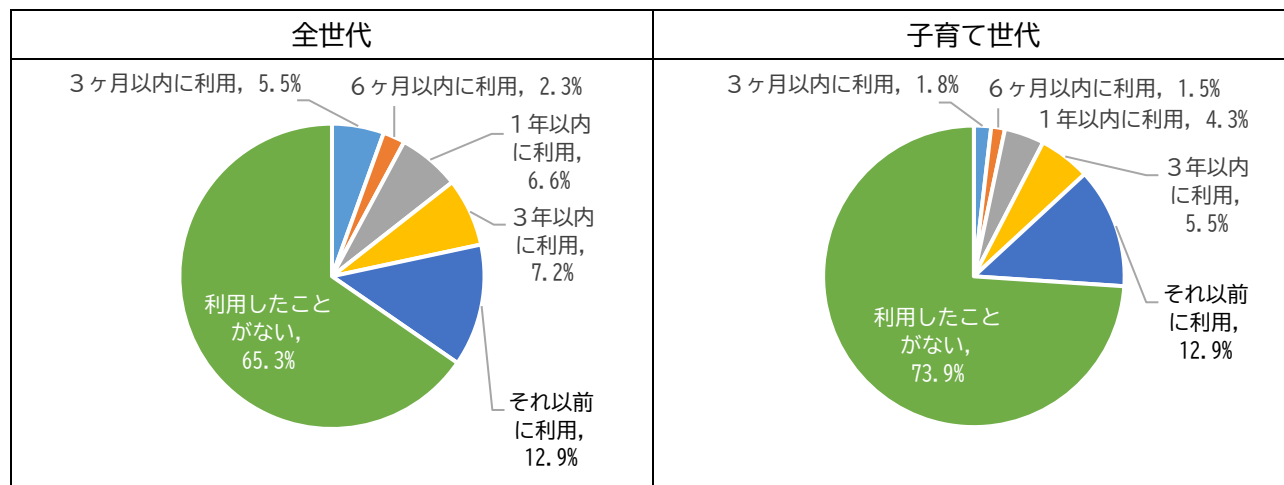
大橋記念図書館



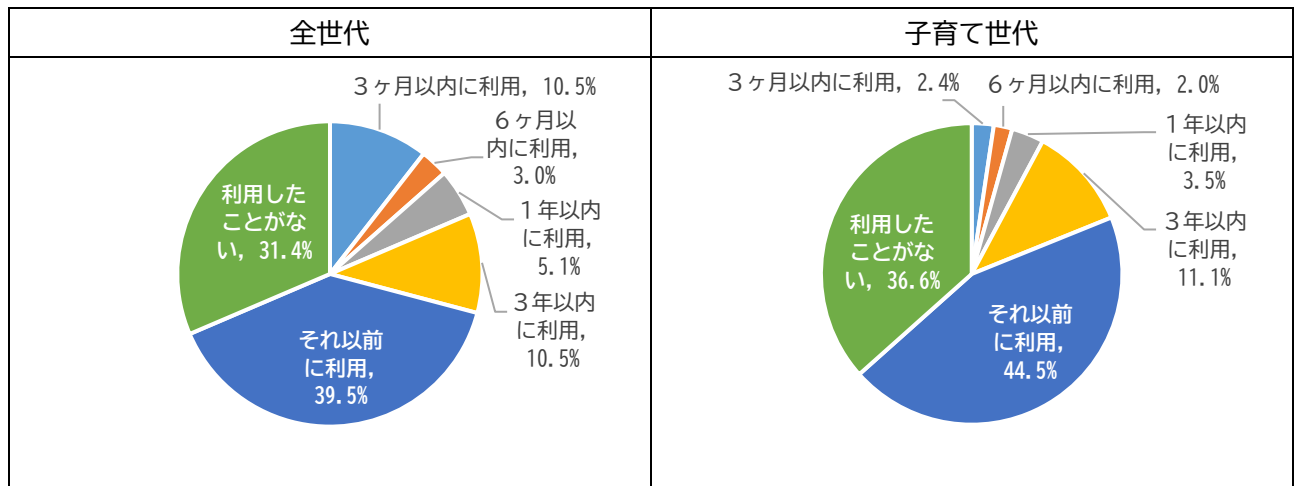
市民美術館



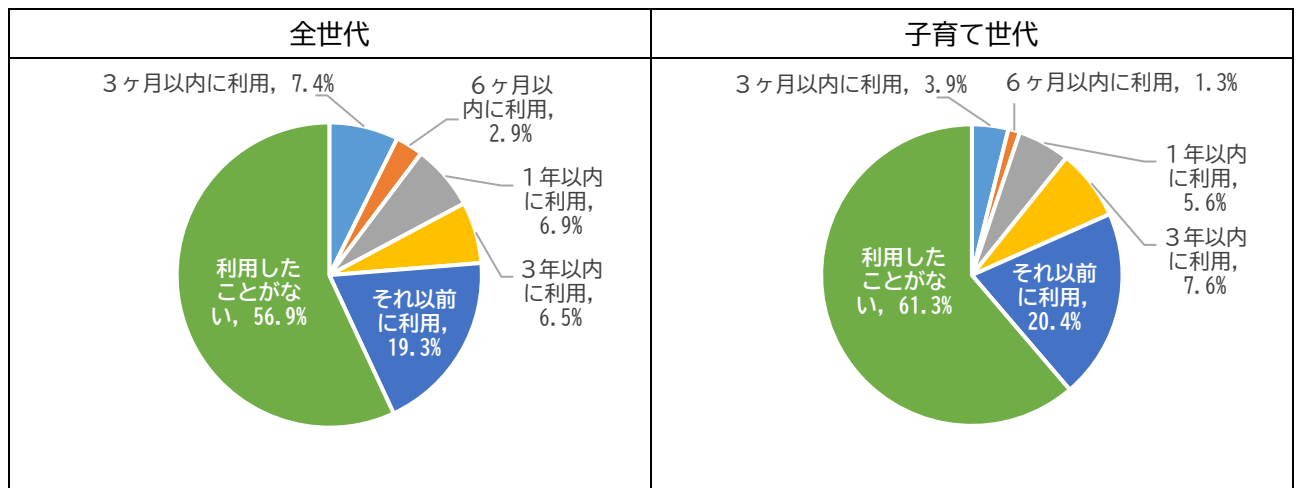
中央公民館



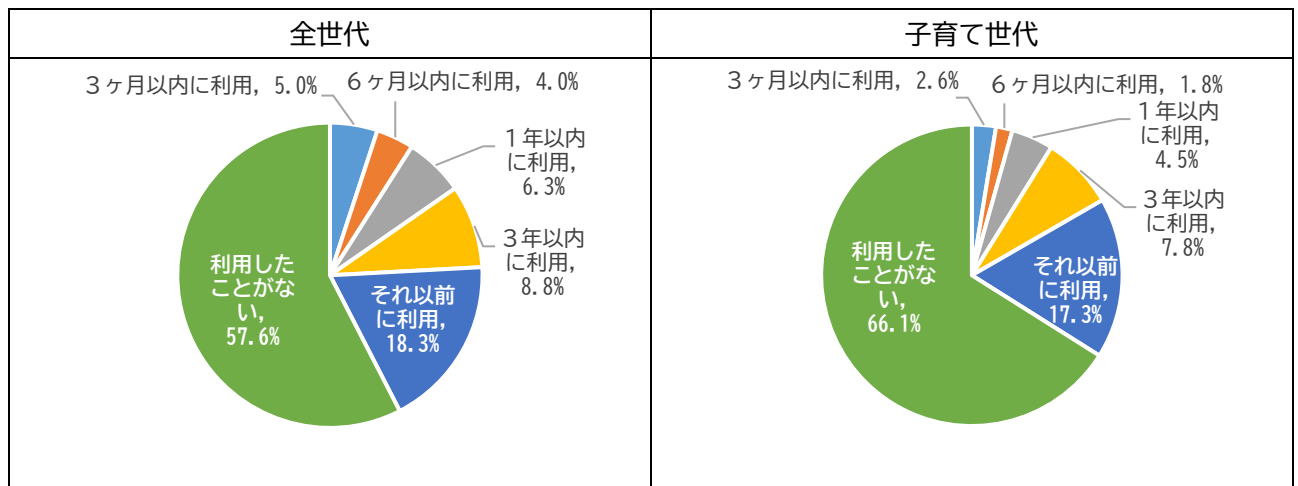
市民ホール



勤労福祉センター



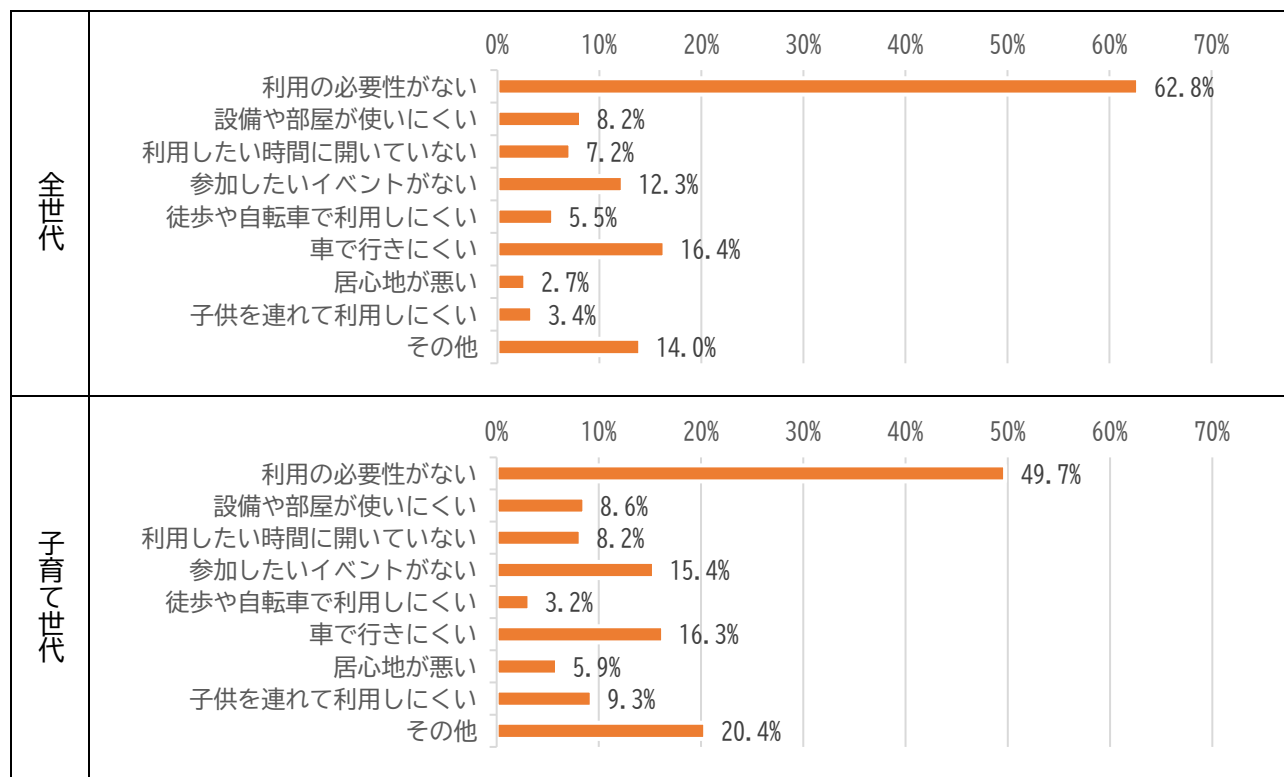
市民ふれあい会館



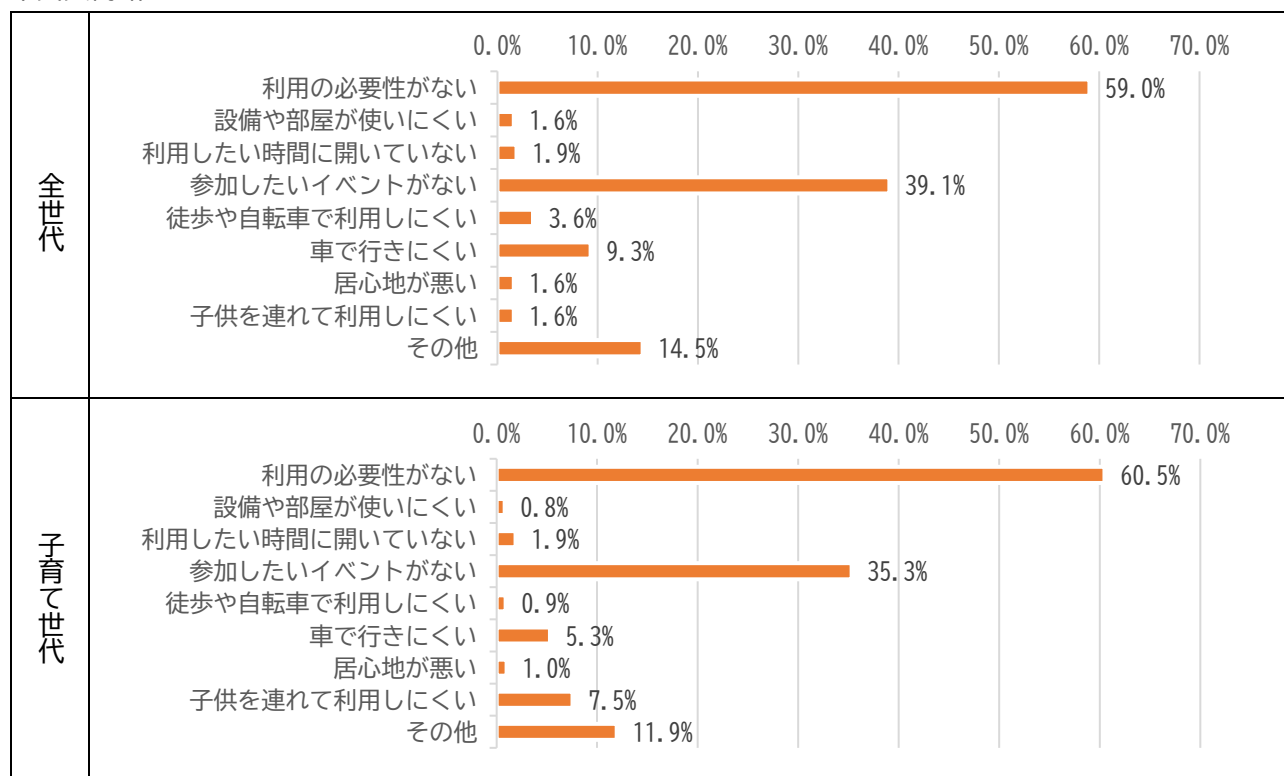
<利用しない理由>

問：「3年以内に利用」「それ以前に利用」「利用したことがない」と答えた方にお伺いします。その理由についてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。（複数選択可）。

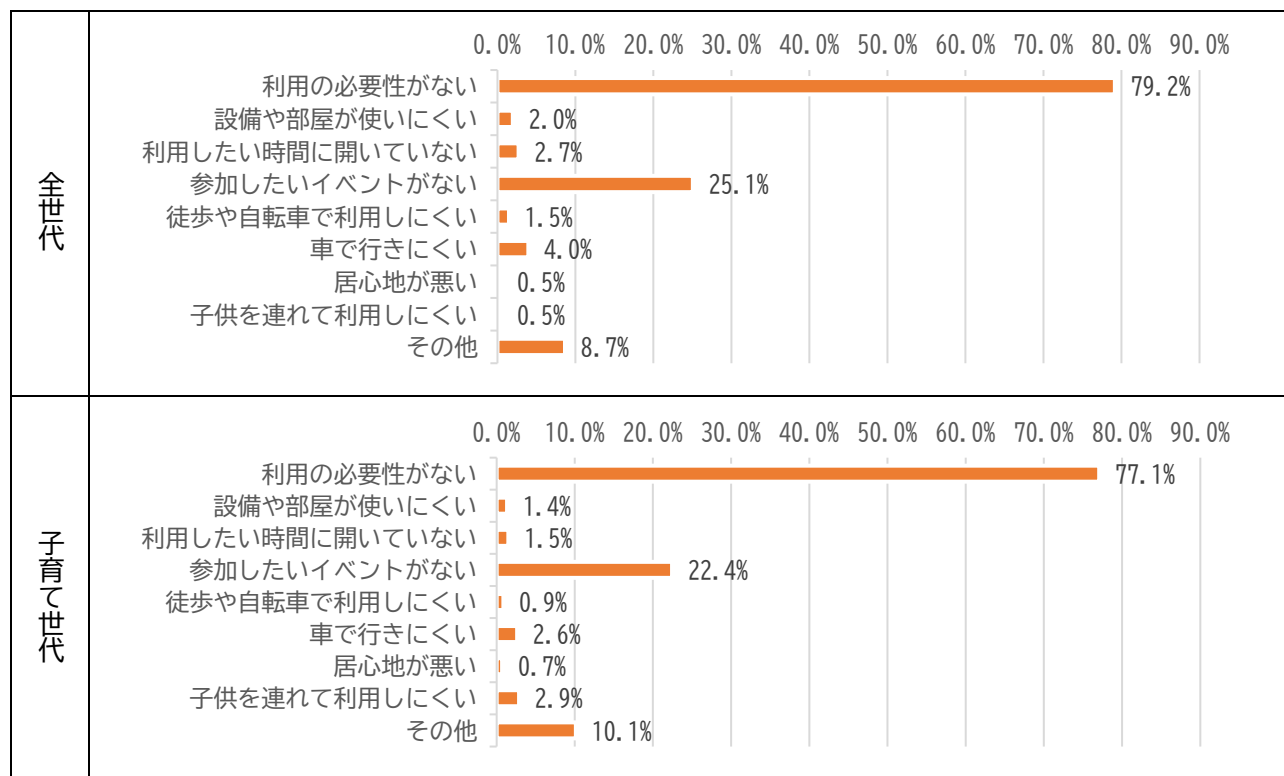
大橋記念図書館



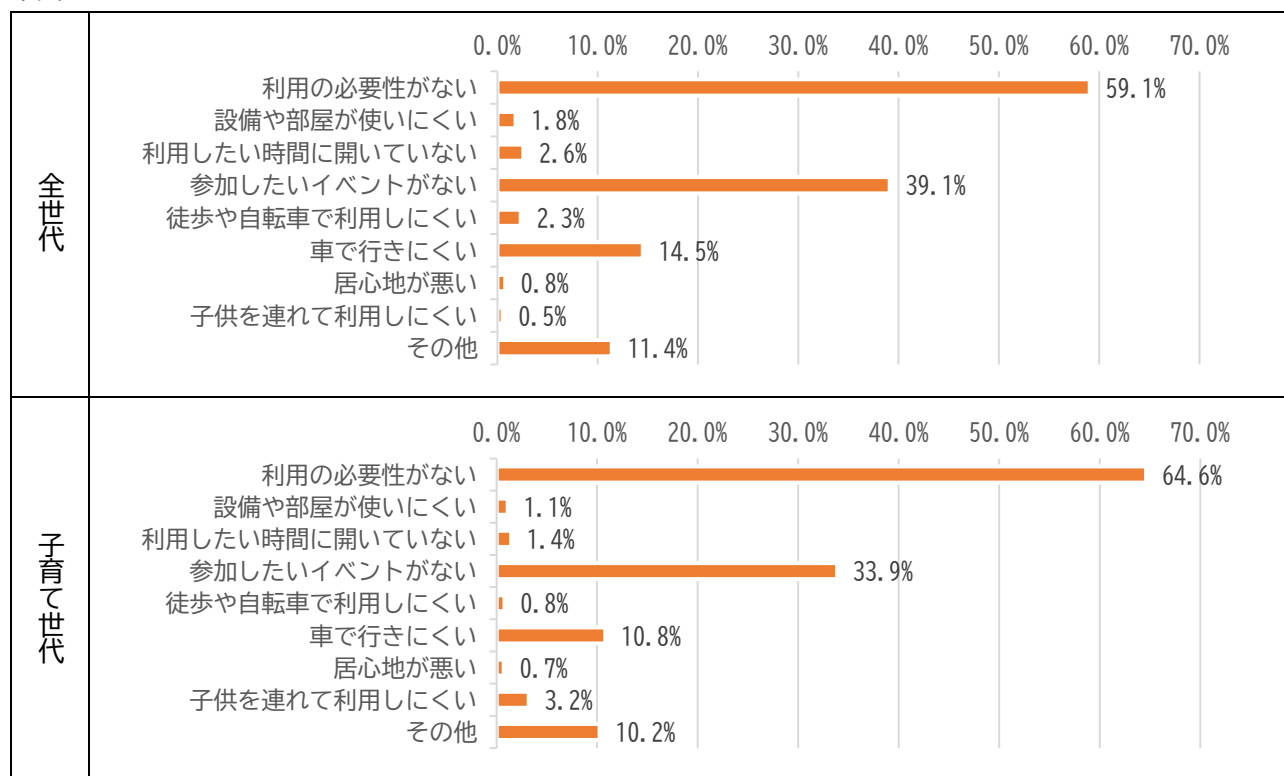
市民美術館



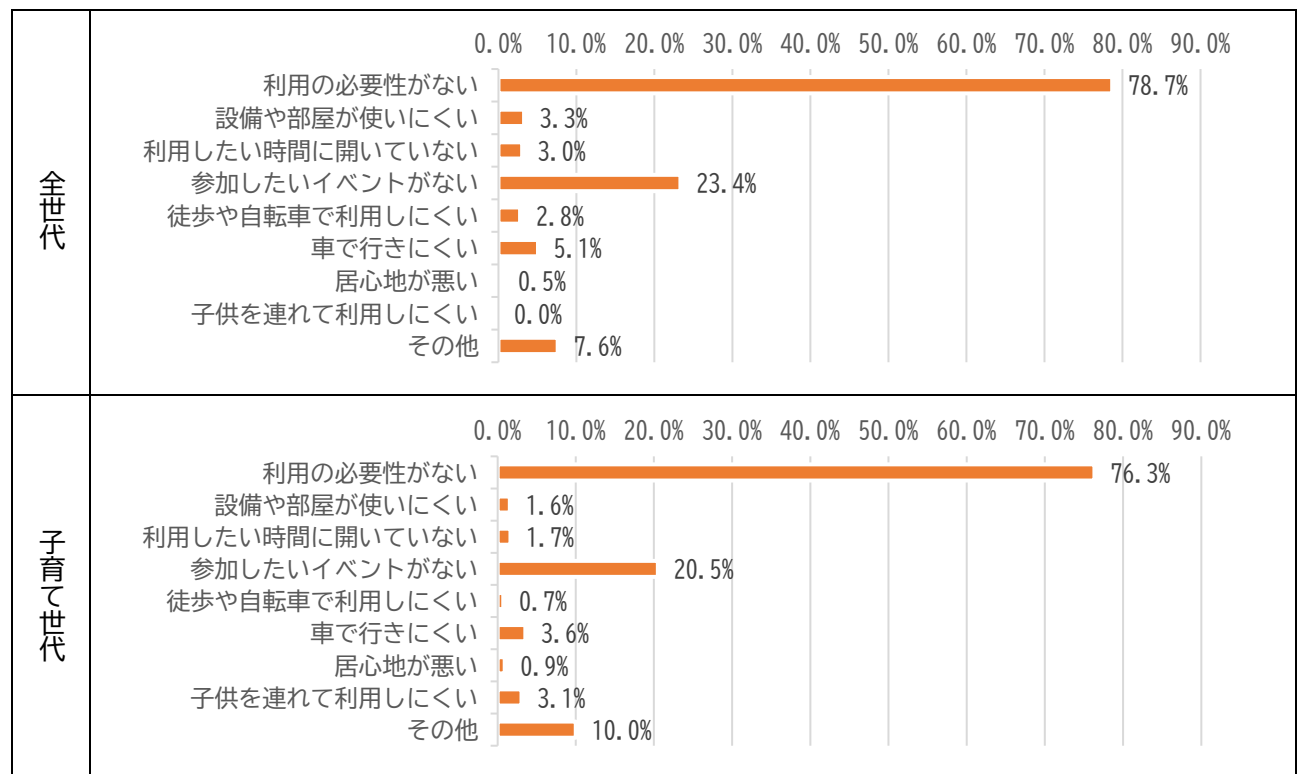
中央公民館



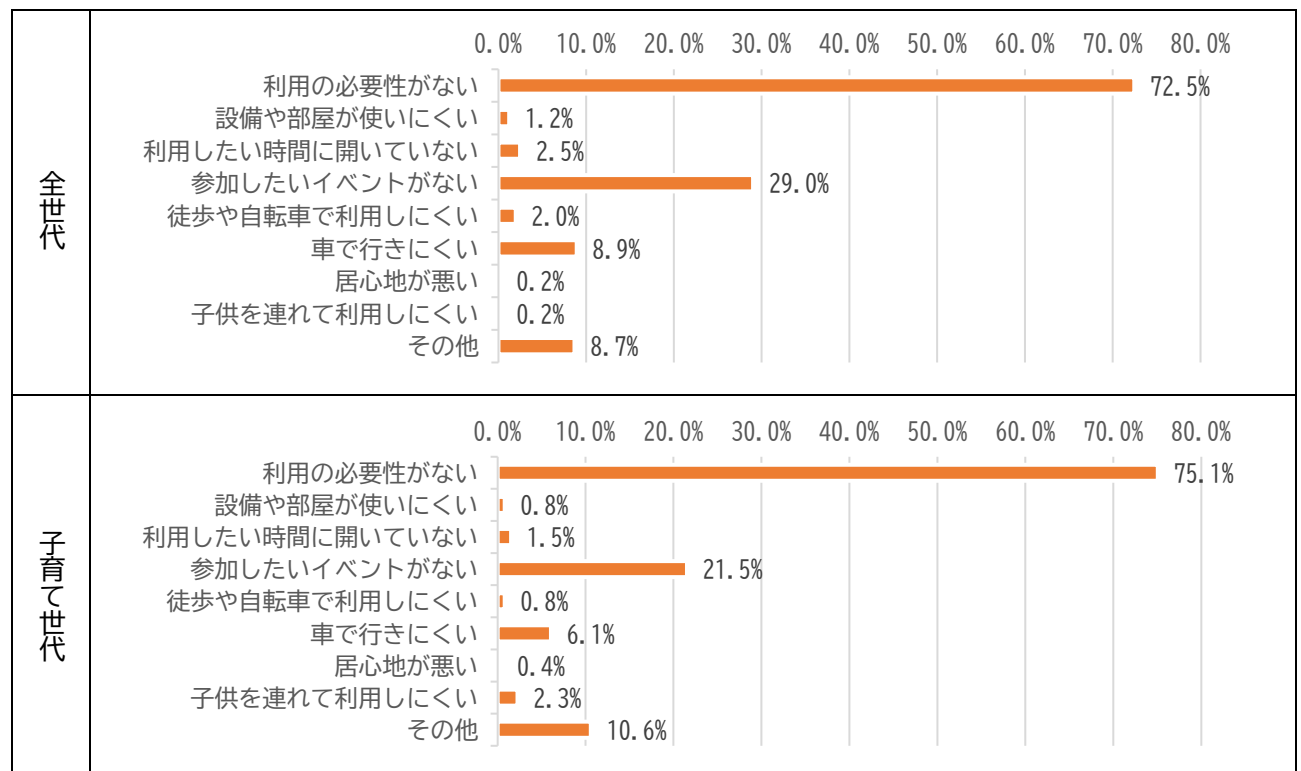
市民ホール



勤労福祉センター



市民ふれあい会館

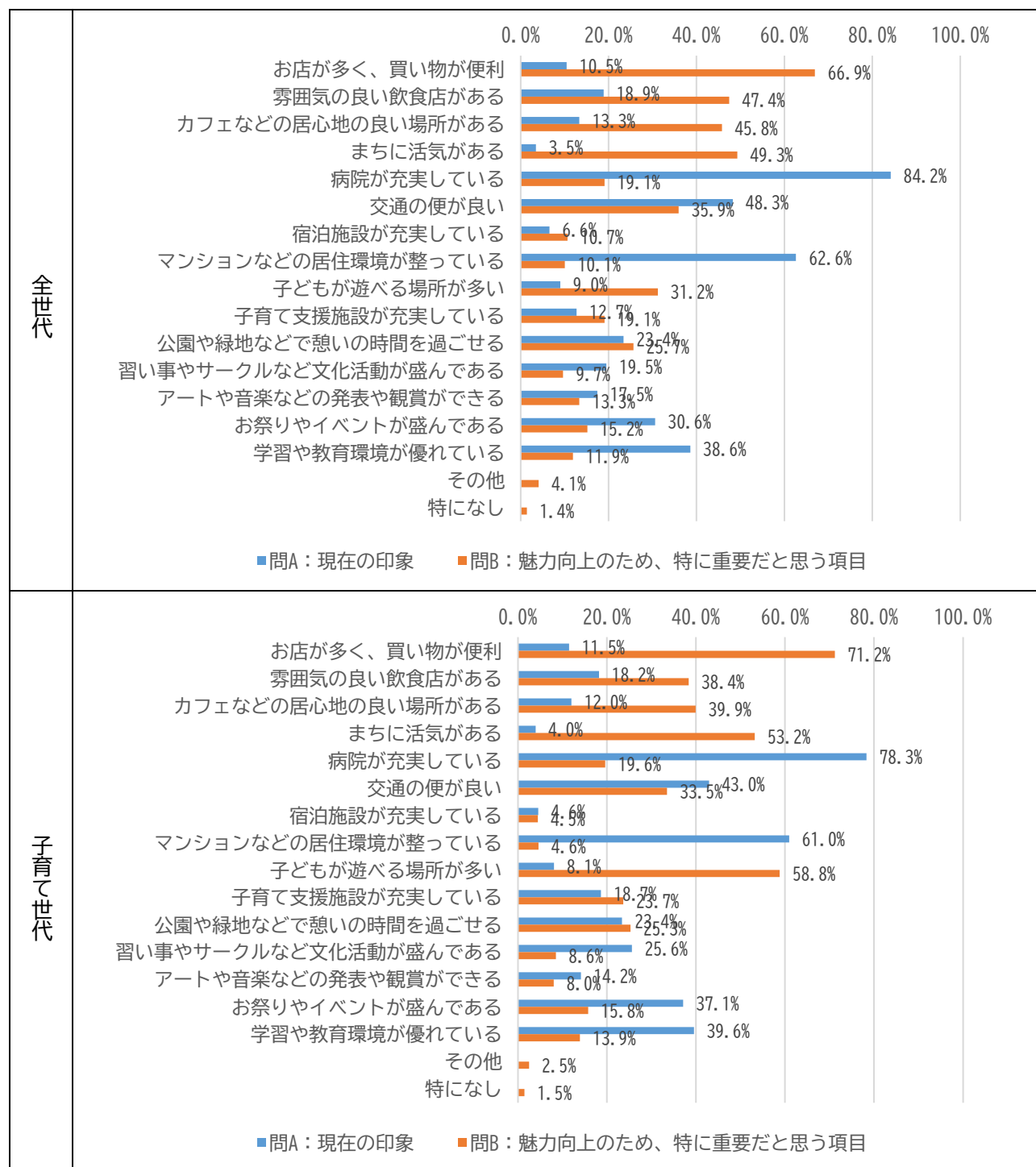


(4) 中心市街地の印象

<現在の印象と魅力向上のために重要だと思うこと>

問 A：次の坂出中心市街地の現在の印象について、それぞれ「思う」「思わない」のどちらか 1 つを選択してください。

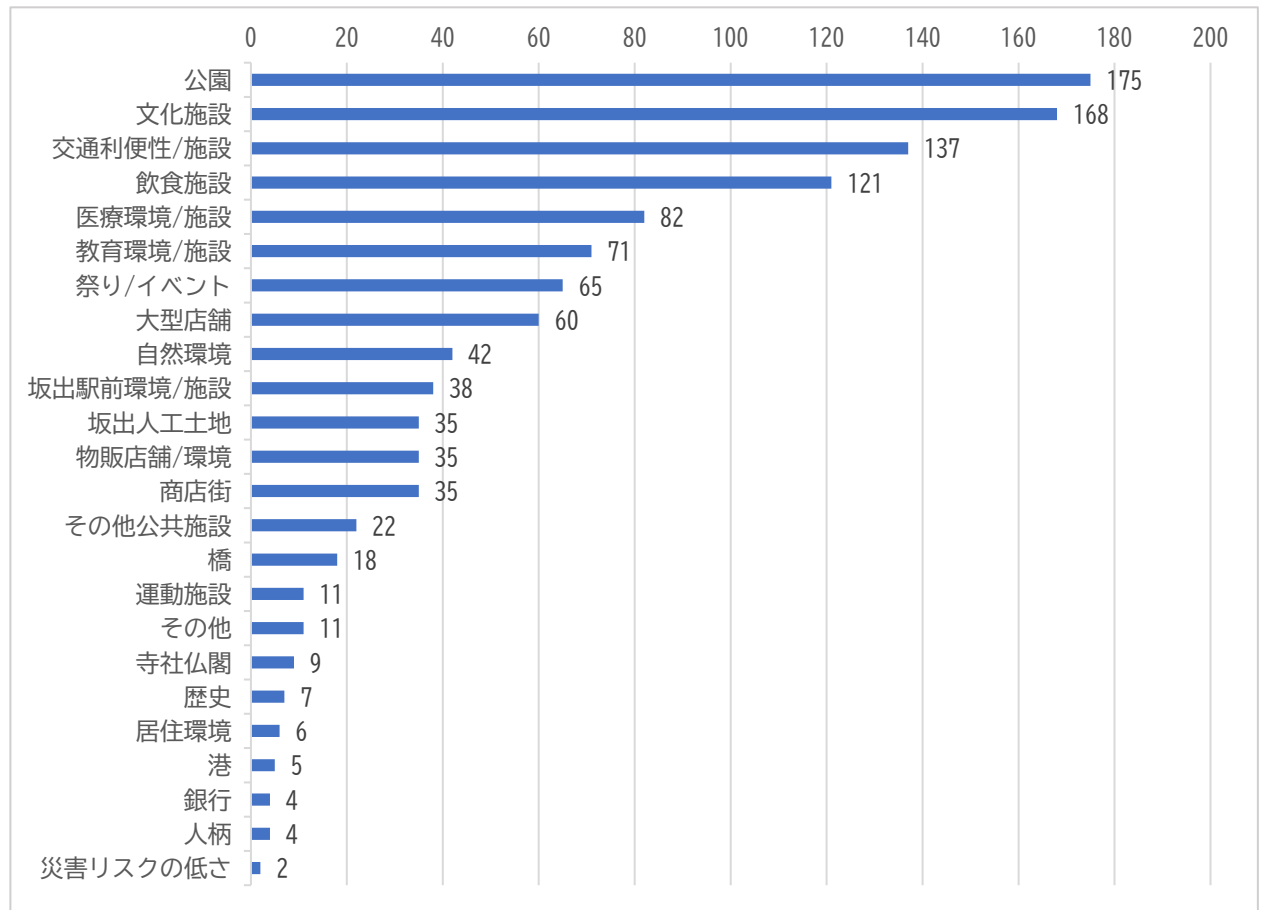
問 B：問 A の項目の中で坂出中心市街地における魅力向上のため、特に重要だと思う項目を下記より選択してください。(5 つ以内)



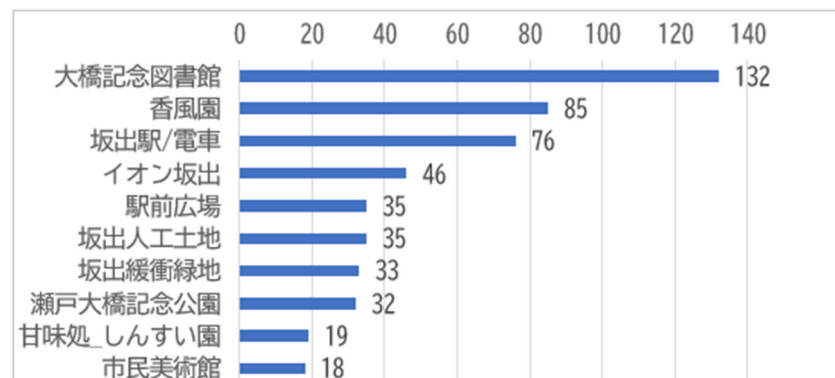
<好きな場所・誇りに思う場所>

問：坂出中心市街地において、あなたが好きな場所、誇りに思うことや場所があれば自由記載ください。
(3つ以内)

回答を元に分類

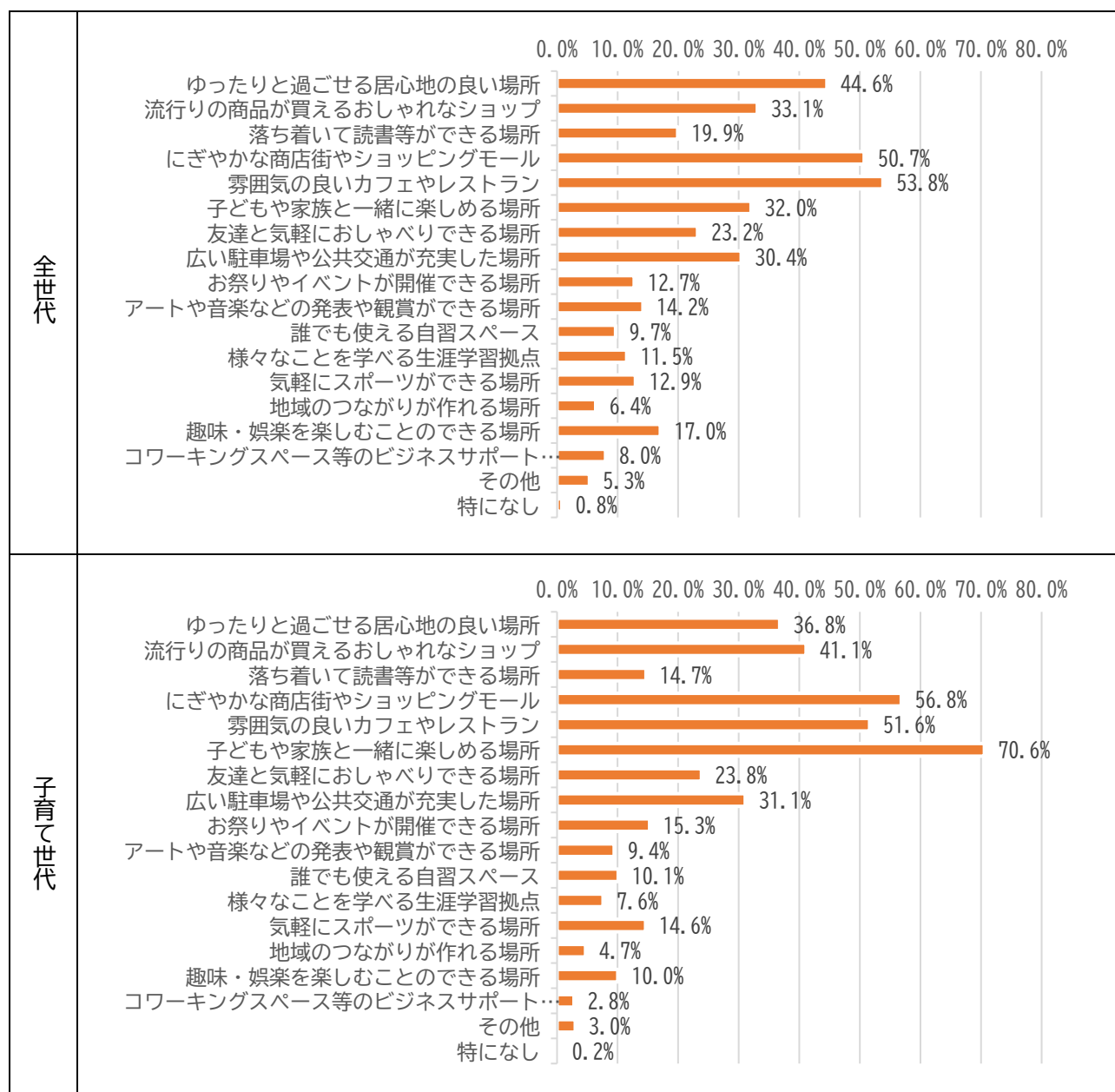


固有名詞別に分類 トップ10



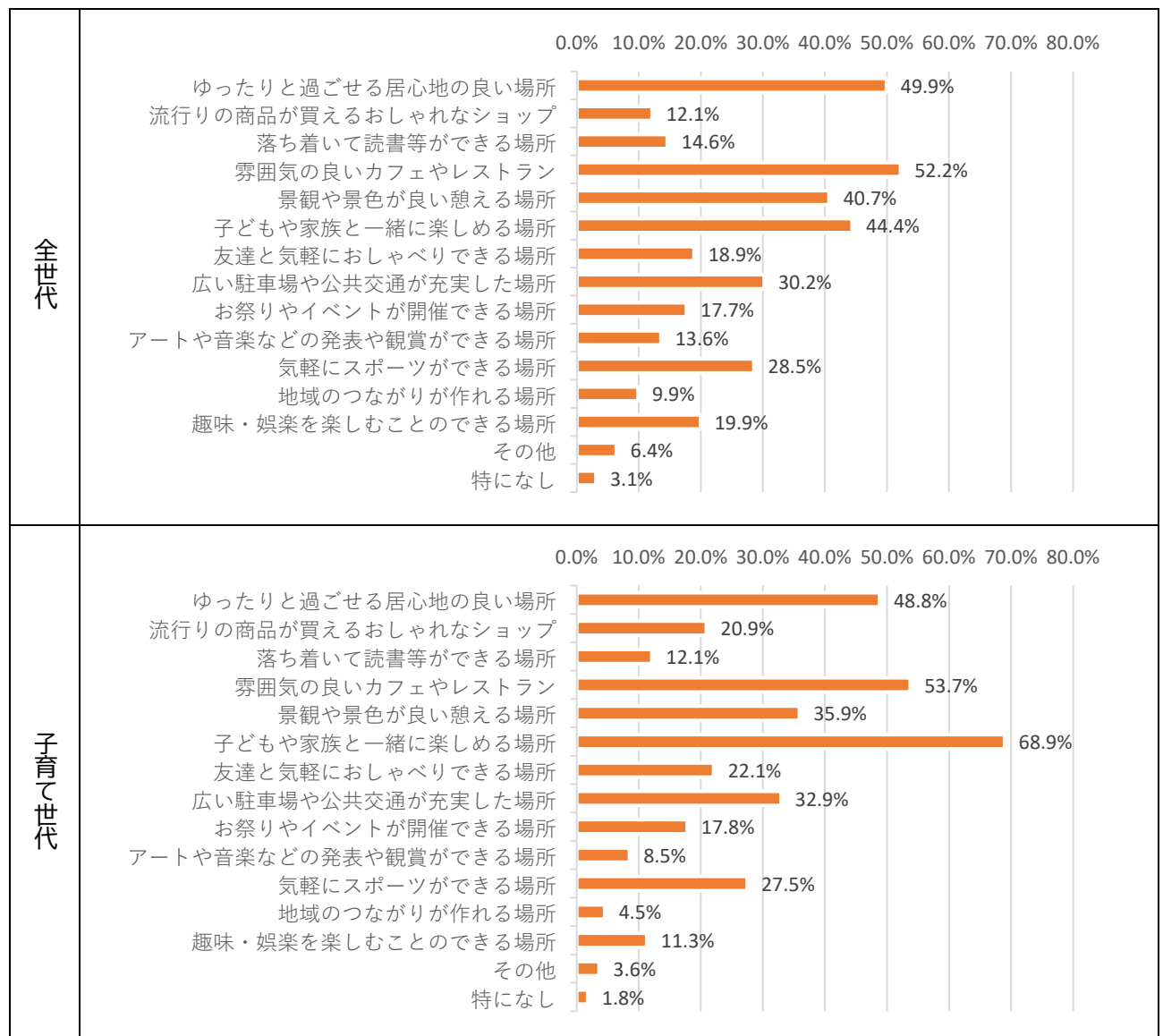
<坂出駅前について>

問：JR 坂出駅前にどのような場所があれば行きたいと思いますか。下記より選び、選択してください。（5つ以内）



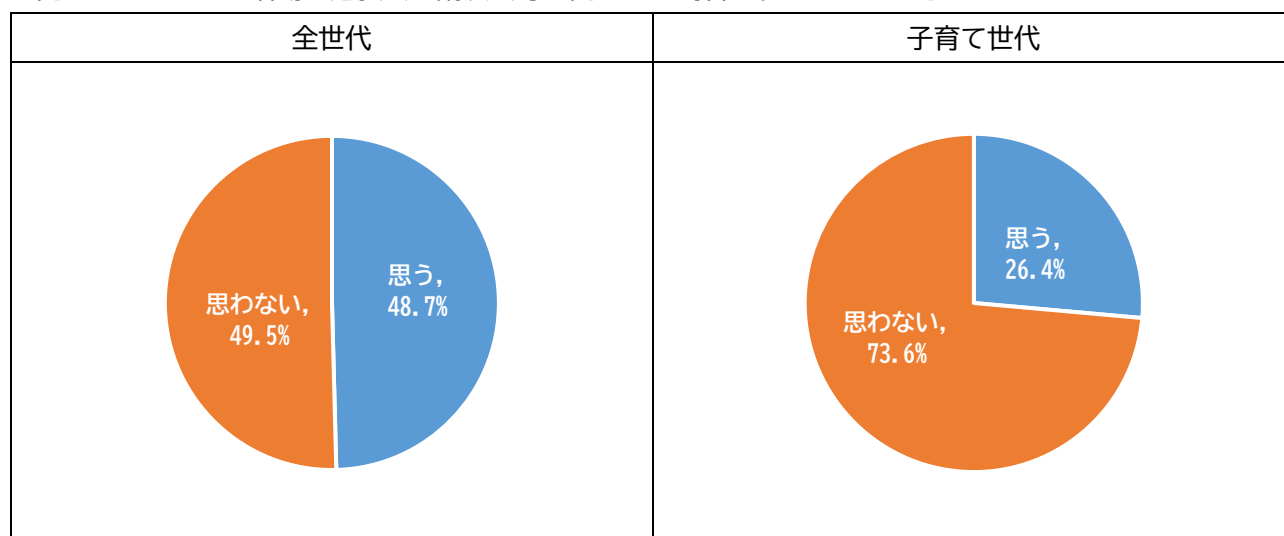
<坂出緩衝緑地について>

問：坂出緩衝緑地にどのような場所があれば行きたいと思いますか。下記より選び、選択してください。
(5つ以内)



<まちづくりへの参加意識>

問：まちづくりの活動や勉強会、講演会等が開かれる場合、参加したいと思いますか。



(5) まちの魅力向上につながるアイデア

問：まちの魅力向上につながるアイデアや、「坂出に住みたい」「坂出で子育てしたい」と感じるまちにするためのアイデアをお聞かせください。

※記載している内容は回答の一例。

「子ども・子育て」と「場所・施設」に関する記述

年齢	性別	
20～29 歳	女性	・子どもが安全に遊べる施設，環境が整った場所がほしい。 ・色んな運動が出来る施設がほしい。
20～29 歳	女性	・カフェ等を隣接すると，親も一休みできて良い。
20～29 歳	女性	・駐車場を完備した児童館を駅の近くに設置してほしい。 ・子育てイベントを商業施設等で開催して欲しい。
30～39 歳	女性	・子供を気候天候関係なく遊びに連れて行ける施設や飲食や買い物や遊びなど一箇所で楽しめるような施設があると良い。 ・広く止めやすい駐車場も必要。
30～39 歳	女性	・季節，天候関係なく子どもが元氣よく遊べ，楽しめる場所があると嬉しい。公園はたくさんあるけれど近年の気候を考えると結局夏は暑過ぎて，冬は寒過ぎて遊べない。 ・働いているお母さん達も多いので少しでも家事の息抜きができる場所が欲しい。例えば，無農薬で子どもに安心して食べさせてあげられるお弁当やおかず，おやつが売ってるお店が遊び場の横で買える等。
30～39 歳	女性	・買い物のついでに小さな子供を無料で遊ばせることができる(ハイハイが自由にできる，遊具が充実している等)場所が欲しい。 ・以前，駅前商業施設の3階にあったカーペットの遊び場のようなところがあると良い。 ・乳幼児と3歳以上の子供が別々に遊べる場所があると安心。
30～39 歳	女性	・市立病院跡地にゆとりある駐車場付きの子供と過ごせる施設がほしい(公園や室内遊具場，名画上映会，学校帰りの子供が立ち寄れる学童預かり施設)。
30～39 歳	女性	・小学生・中学生が安心して遊ぶことができる場所が乏しいと感じている。
30～39 歳	男性	・土日にも使える子育て支援施設が他の市のように欲しい
40～49 歳	男性	・子どもと一緒に参加でき，さまざまな世代の人から学んだり，体験できるイベントがたくさんあるとうれしい。

「子ども、子育て」と「公園」に関する記述

年齢	性別	
20～29 歳	男性	・街の中に子どもと遊べる公園が必要
20～29 歳	女性	・屋根付きの公園が欲しい
30～39 歳	女性	・こじんまりとして、清潔感がある公園があると助かる。瀬戸大橋記念公園は広々としていて、運動するには良いが、1人で子どもを数人連れて行くには広すぎて迷子になる。西大浜第一公園、鎌田池公園は大きさ的にも丁度よく遊具もあって楽しめる。木陰もあるので良い。 ・駐車場を併設してほしい。 ・田尾坂公園は高架下なので時間帯によって陰になり、風も通り、夏の暑い日でも子どもたちの身体を動かす場所として利用している。駐車場が無いのとトイレが薄暗いことが残念である。 ・まるっこパークに木陰や屋根付きのベンチ等が欲しい。
30～39 歳	男性	・駐車場が広く、子どもがのびのびと遊べる遊具多くあり、広い公園がほしい。
30～39 歳	女性	・瀬戸大橋記念公園はイベントもしやすく、広く、もっといろいろな行事ができる気がする。カフェも作って欲しい。
30～39 歳	女性	・子どもがボール遊びできない公園が多い。
30～39 歳	女性	・まるっこ広場のような、駐車場があって、屋内外で遊べる子育て支援施設や公園がもっと各地にほしい。特に加茂、林田、川津には新築が増えているのに公園が少ない。
40～49 歳	女性	・子どもたちが気軽に遊べる公園が全く無い。 ・公園であれば子どもたちを遊ばせながら気軽に話すこともできるので、子育て世代にはとても有難い憩いの場となる。
60～69 歳	女性	・子供を遊ばせたいと思っても、魅力的な公園がないので、宇多津臨海公園や他の公園へ行ってしまう。 ・坂出緩衝緑地は木ばかりで暗く不気味で行こうと思わないので、木を活用して簡単なツリートレッキング、木を除いてボルダリングや遊具の充実した広い公園や施設を作って欲しい。 ・親子連れが遊べて、なおかつ飲食（テイクアウト等）のできる店があるとよい。周辺商業施設と相乗効果になれば良いと思う。

「場所・施設」に関する記述(「子ども・子育て」に関するものを除く)

年齢	性別	
0～19 歳	女性	・駅前商業施設や坂出駅、大橋図書館などの公共施設を綺麗に改装してほしい。 ・中高生は坂出で遊べる場所がなく、毎回隣町まで行って遊んでいる。坂出市内で若者が楽しく遊べる場所が欲しい。(大型ショッピングモールやゲームセンターなど)
20～29 歳	女性	・新しい施設は坂出の個性を感じる施設にしてほしい。 ・いろいろな機能が揃うと同時に、瀬戸大橋や瀬戸内ブランドを感じるおしゃれな物産ショップ等、多機能だけではなく坂出らしさを感じられる施設にしてほしい。 ・緩衝緑地に施設を設けるのであれば緑地を生かしたテラスなど、緑地がもつ個性をおしゃれに生かしてほしい。
20～29 歳	女性	・アートの推進や近隣市町のような公共施設の設置、シャッター商店街に新しい店を呼び込む等に取り組むのはどうか。 ・建築物的にはあまり無いものなので、人工土地の活用をするのはどうか。
30～39 歳	女性	・使いやすい無料の駐車場があれば行きやすい。 ・図書館を綺麗にしてほしい。飲食しながら本が読める場所があれば嬉しい。
30～39 歳	男性	・駅前自習室を学生だけではなく、一般の方も利用できるようにしてほしい。
30～39 歳	女性	・利便性の良い場所に明るく開かれた空間のある図書館やカフェなどがあると若い世代が利用しやすい。
40～49 歳	女性	・古めかしい商店街は今となっては大変貴重で、市を挙げて守ってほしい地域。高松の商店街のように、時代に合わせた存続を望む。アーケードがあるので天候に関わらずイベントを行うことができ、使い勝手も良く、坂出を代表する場所になると思う。
50～59 歳	女性	・人工土地の空き部屋等を利用し、眺めの良いカフェや雑貨屋、宿泊施設、若手作家や学生さんの作品を展示したり、親子でできるワークショップ等、遠方から見にきてくれる方々や市民にとっても魅力的な場所にしてほしい。

「公園」に関する記述（「子ども・子育て」に関するものを除く）

年齢	性別	
30～39 歳	女性	・ファミリーや友達同士で休日を楽しめる場、自由に勉強する場、スポーツする場があれば良い。 ・駐車場込みの公園を整えてほしい。
30～39 歳	女性	・家の近くに公園がもっと増えたら良い。
30～39 歳	女性	・坂出緩衝緑地と番の州公園を夜でも使用できるように、照明の確保、木の剪定などをしてほしい。
30～39 歳	男性	・広場や公園を併設した低層階の商業、公共施設を設けるのはどうか。
30～39 歳	女性	・色々な遊具やアスレチックのある公園があれば行きたい。しかし、遊具があっても駐車場がないと行けない。
30～39 歳	女性	・居住地のそばに公園と保育園から中学校までがあることは居住地を選ぶのに大きなポイントであると思う。
50～59 歳	女性	・気持ち良く過ごすために綺麗で清潔な使いやすいトイレ環境を作り、人が気軽に遊べる集まれる環境を作る。

「駅・駅前」に関する記述

年齢	性別	
20～29 歳	男性	・駅前や、商店街の活性化が1 番大事。若者向けのショップや、飲食店を増やすのはどうか。
30～39 歳	男性	・働く町にさらに特化した方が生き残れるのではないかと。折角、企業が多いのでビジネスマンが過ごしやすい駅前にして欲しい。
30～39 歳	男性	・保育園や幼稚園等の施設が駅周辺にあれば駅周辺に住みたくなるかもしれない。
30～39 歳	女性	・坂出駅前が活性化するのは嬉しいが、それにより交通量が増えるのは嫌だ。少し離れた所で駐車場も広くとった上で賑わせて欲しい。
40～49 歳	女性	・駅まわりに、中高校生が勉強したり、語ったりできる場所をつくってほしい。 ・若い人が集まれば自然と活気が高まるのではないかと。
40～49 歳	女性	・交通の便、教育条件良い(付属有、高校多数。塾多数)ため、住みたい条件は整っている。 ・駅前、商店街の活性化が、必須である。
50～59 歳	男性	・駅前の雰囲気大事である。 ・駅前だけでなく、坂出駅をリニューアル（特にトイレ）してほしい。 ・高架下に人が集まる空間があればいいと思う。

2-2. 高校生アンケート結果

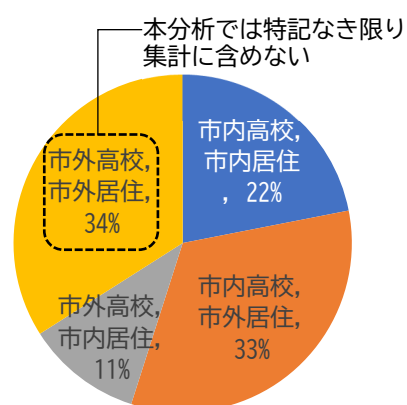
<集計の考え方>

高校生アンケートは市内高校に加え、市外高校に通う生徒も含まれる。市外高校に通学し、市外に居住する生徒は日常的に坂出市を訪れることは少ないと考えられるため、ここでは特記なき限り「市内高校に通学する生徒」「市外高校に通学し、市内に居住する生徒」に集計を限り分析をおこなう。

なお、本アンケート全体での回答者数と比率は下記と下図の通りとなる。

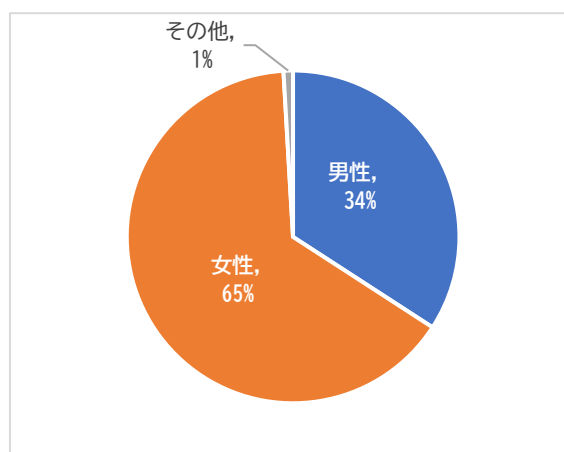
■本分析における分類と回答数

市内高校	市内居住	107 件
	市外居住	161 件
市外高校	市内居住	54 件
	市外居住	166 件



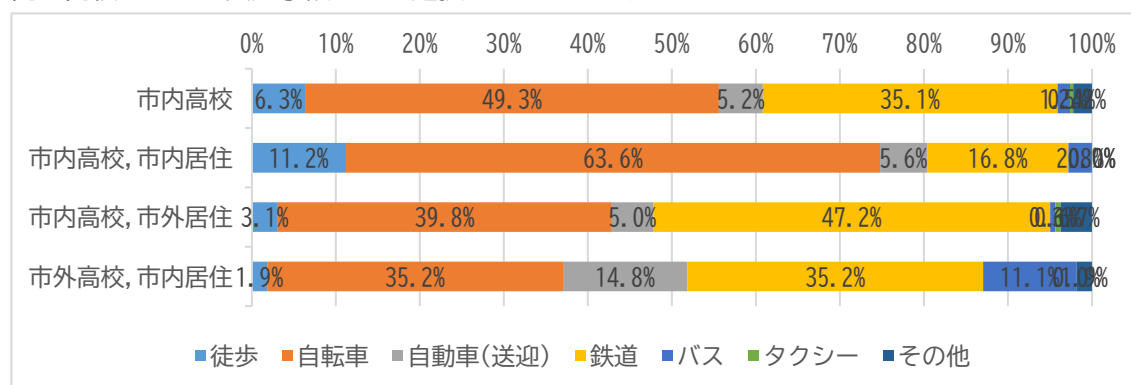
(1) 回答者属性

<性別>



<交通手段>

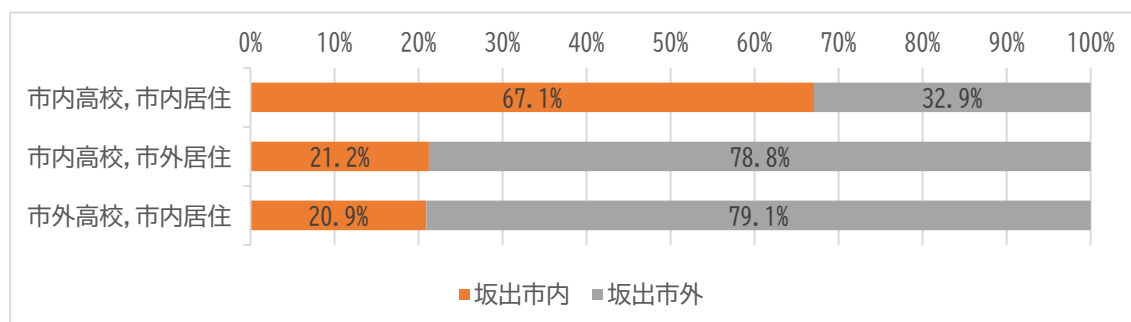
問：高校への主な交通手段を1つ選択してください。



(2) 放課後の過ごし方について

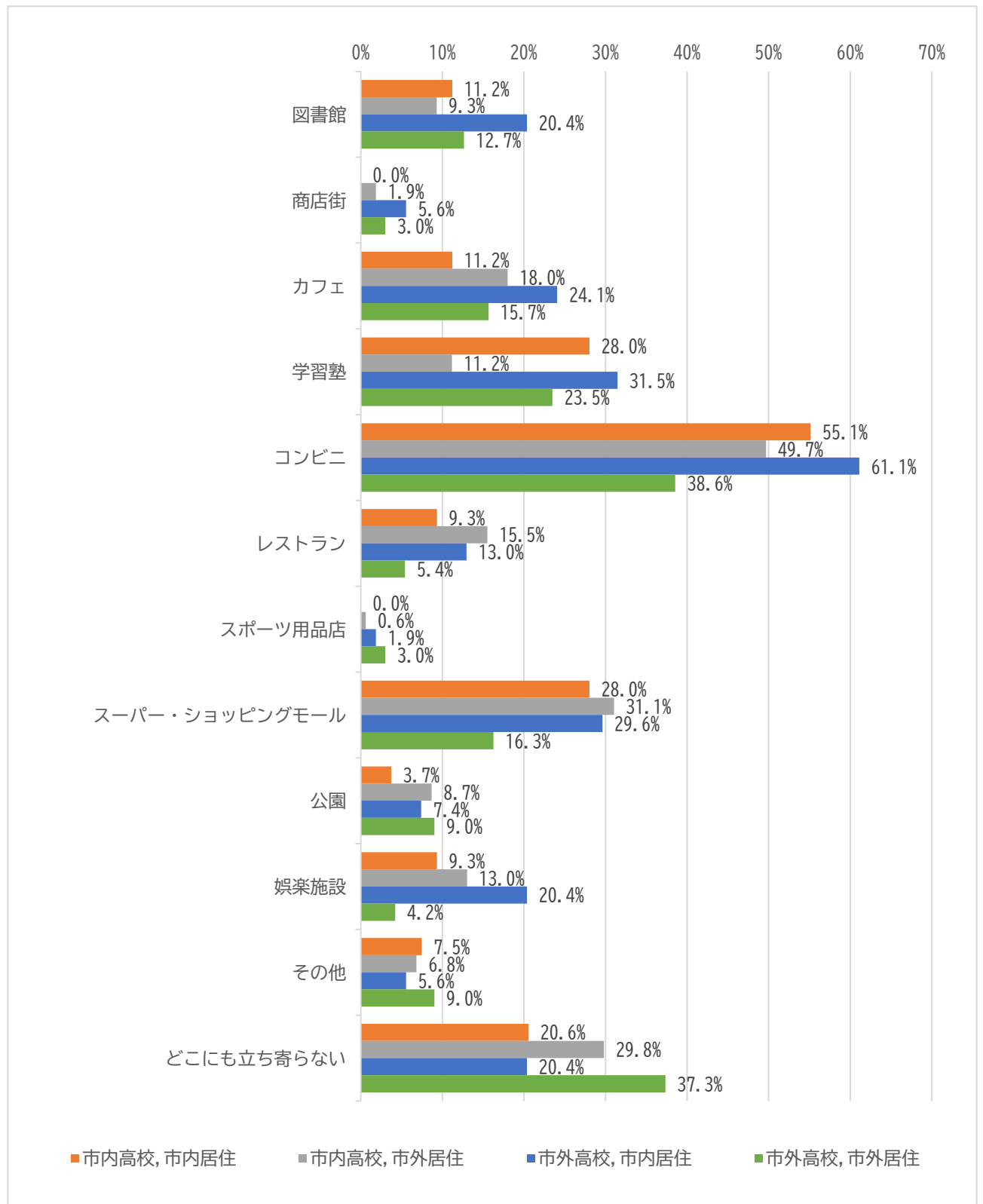
<過ごす場所>

問：放課後は坂出市内で過ごすことが多いですか。坂出市外で過ごすことが多いですか。当てはまるものを1つ選択してください。(部活動や自宅での時間は除いてください)



<立ち寄りスポット>

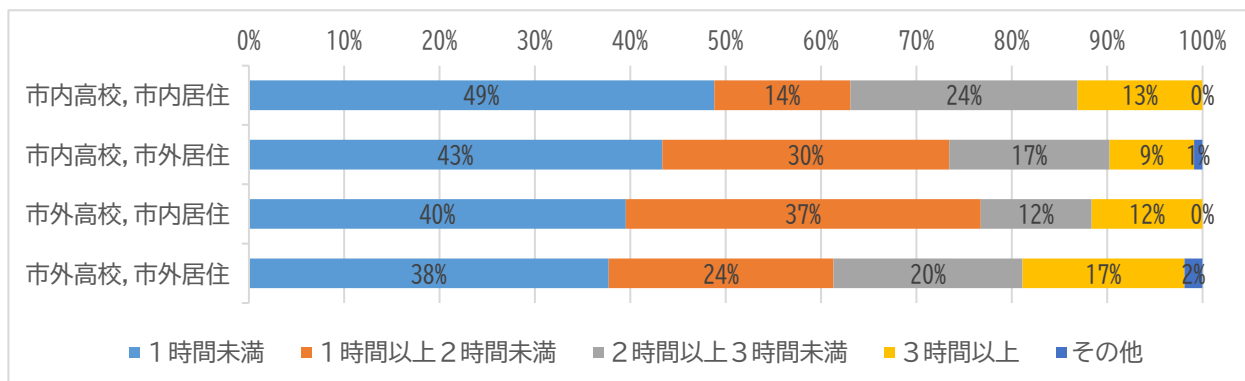
問：放課後の立ち寄りスポットを選び、選択してください。（複数選択可）



※参考のため市外高校, 市外居住の値を掲載。

<滞在時間>

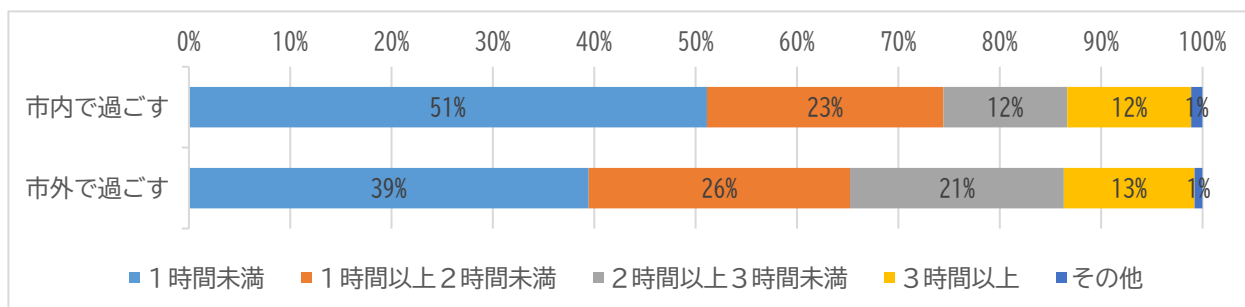
問：放課後の立ち寄りスポットにおける滞在時間を1つ選択してください。



※参考のため市外高校, 市外居住の値を掲載。

(追加クロス集計)

放課後を過ごす場所別滞在時間割合

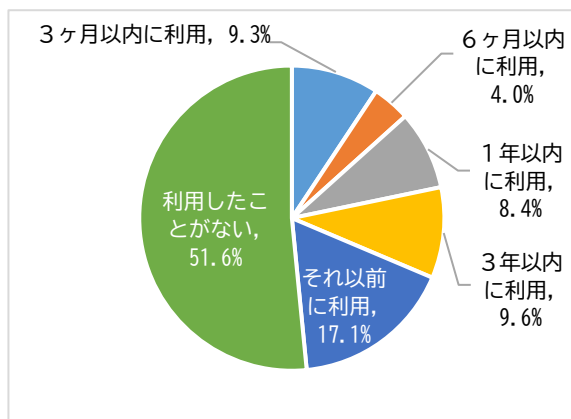


(3) 中心市街地内の公共施設について

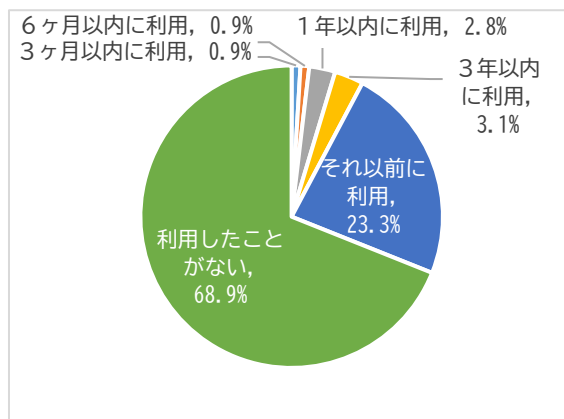
<利用頻度>

問：次の市内公共施設について、それぞれ利用頻度を1つ選択してください。

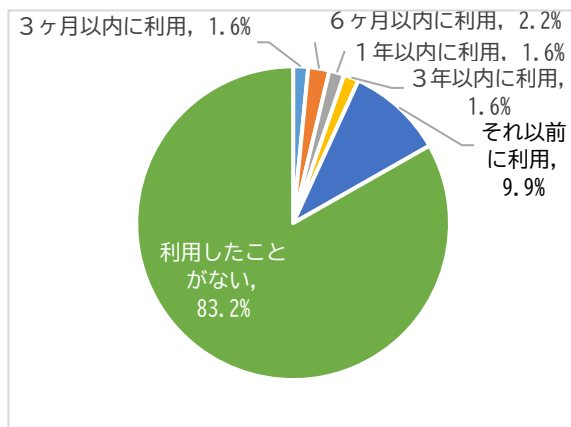
大橋記念図書館



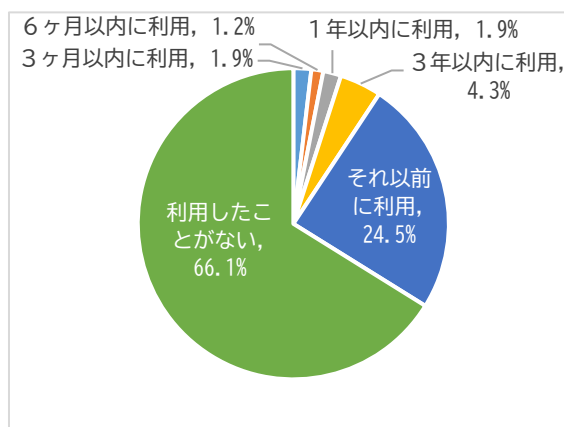
市民美術館



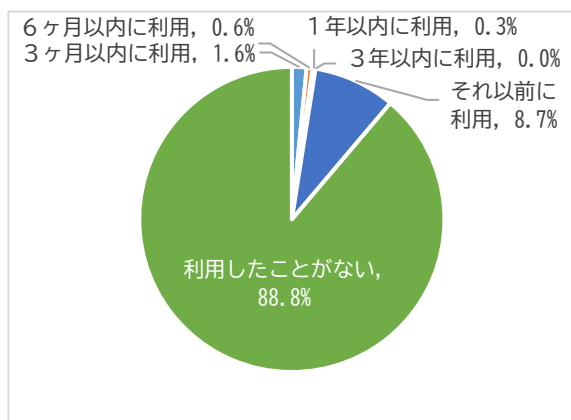
中央公民館



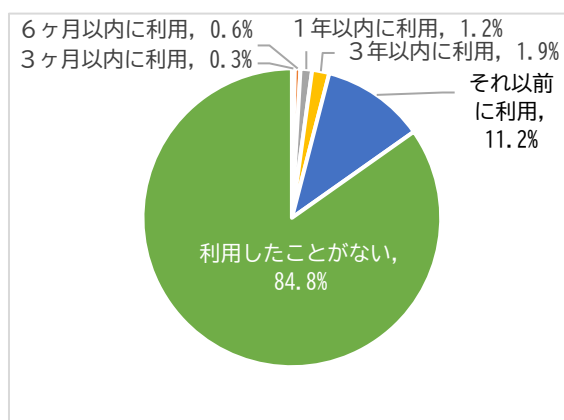
市民ホール



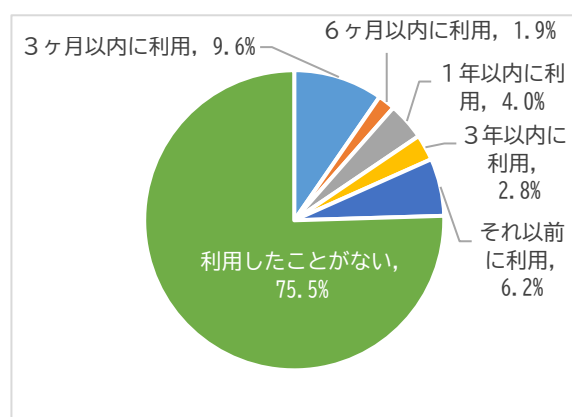
勤労福祉センター



市民ふれあい会館



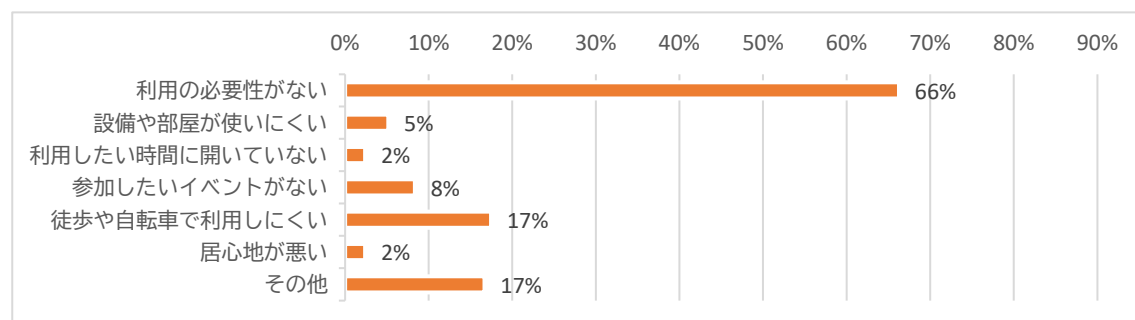
かもめの広場



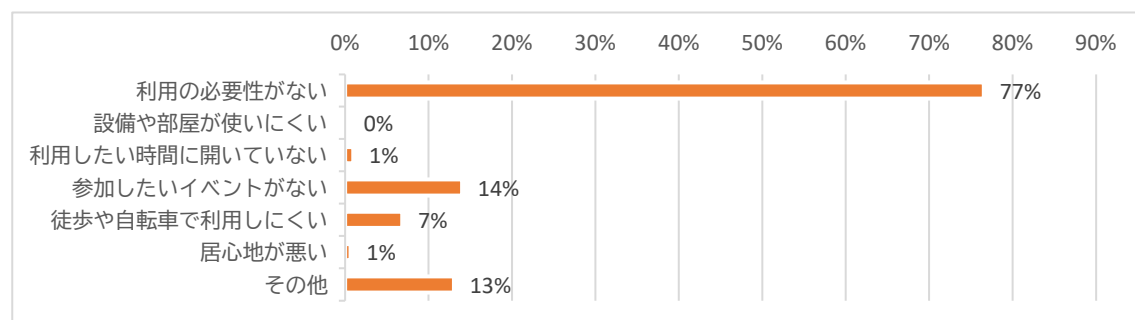
<利用しない理由>

問：「3年以内に利用」「それ以前に利用」「利用したことがない」と答えた方にお伺いします。その理由についてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。（複数選択可）。

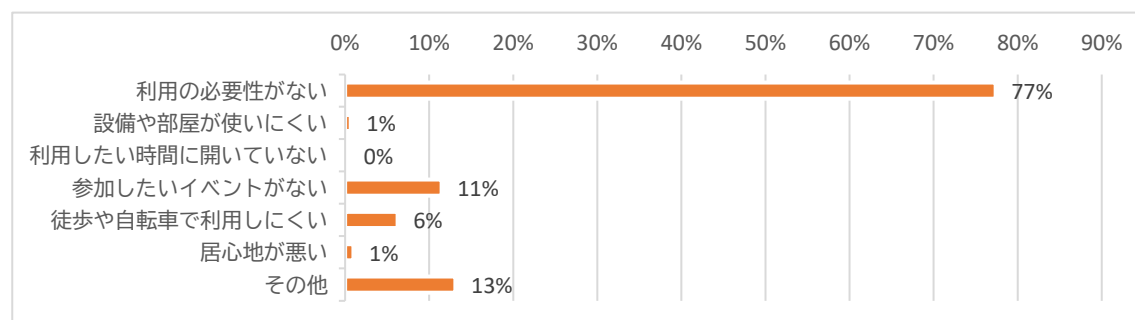
大橋記念図書館



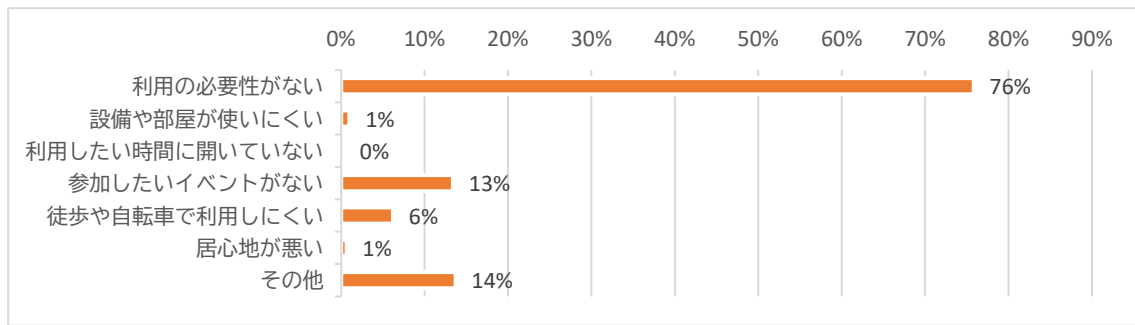
市民美術館



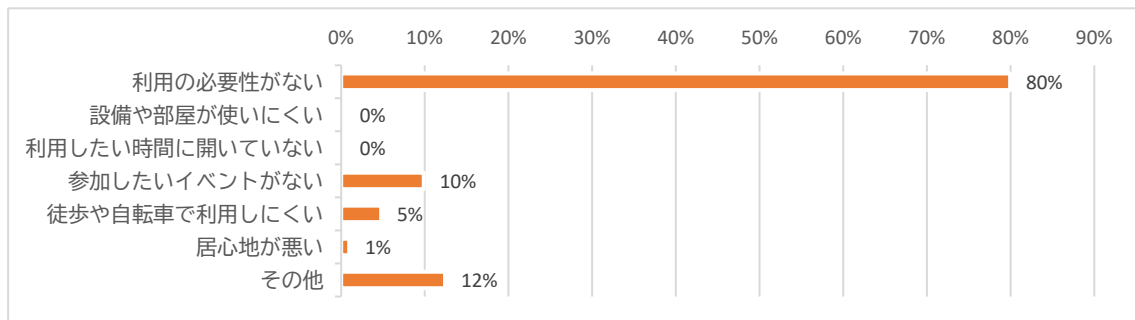
中央公民館



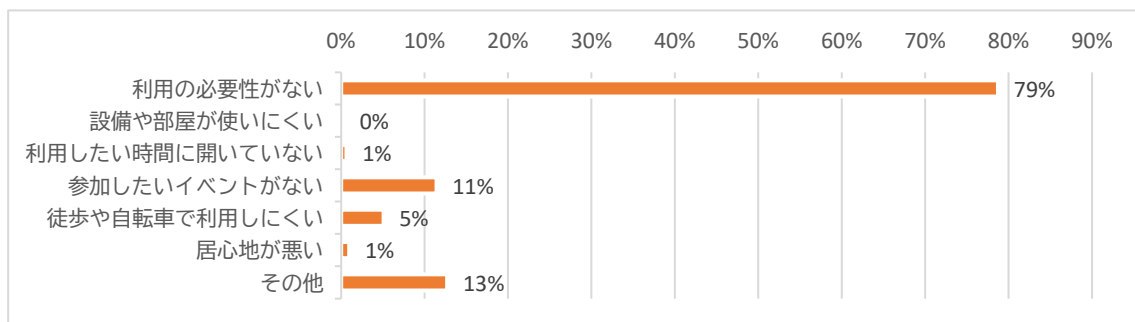
市民ホール



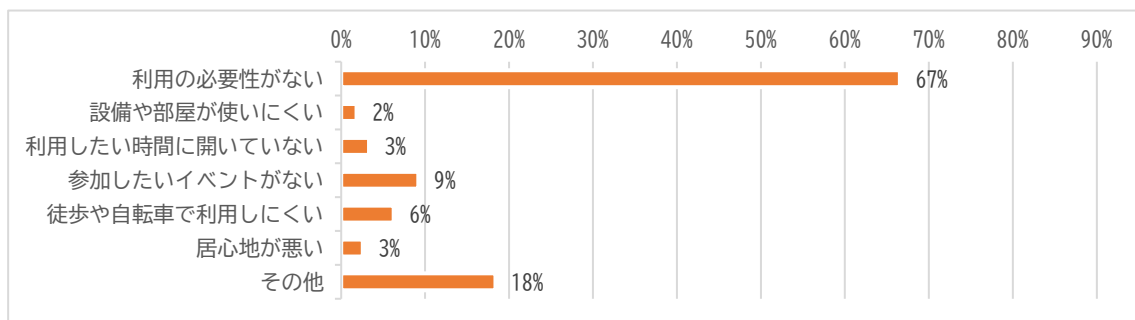
勤労福祉センター



市民ふれあい会館



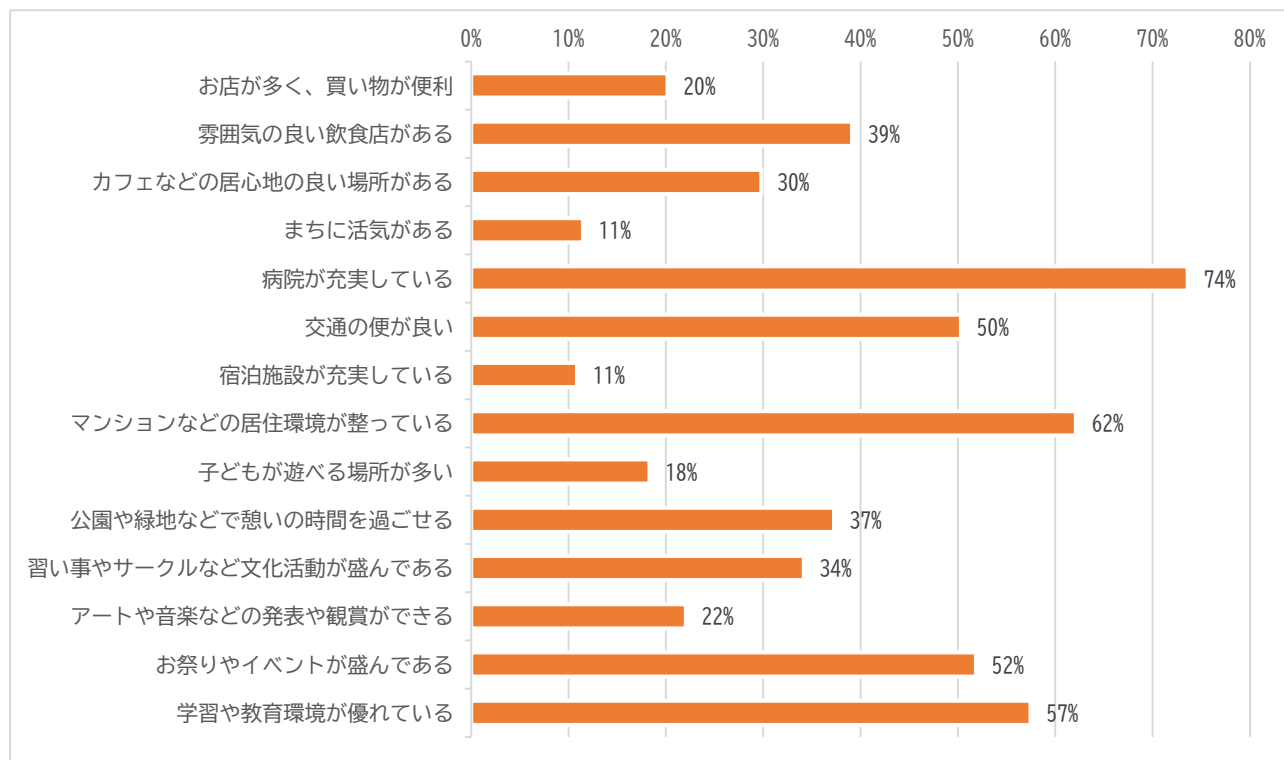
かもめの広場



(4) 中心市街地の印象

<現在の印象>

問：次の坂出中心市街地の現在の印象について、それぞれ「思う」「思わない」のどちらか1つを選択してください。

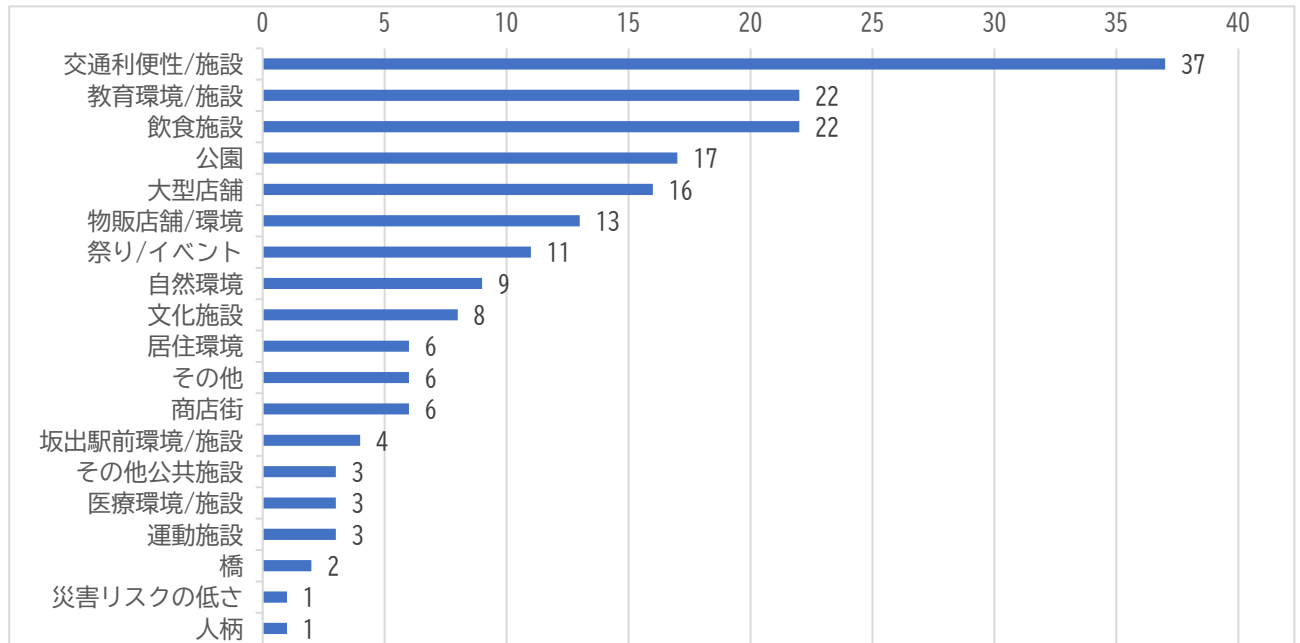


<好きな場所・誇りに思う場所>

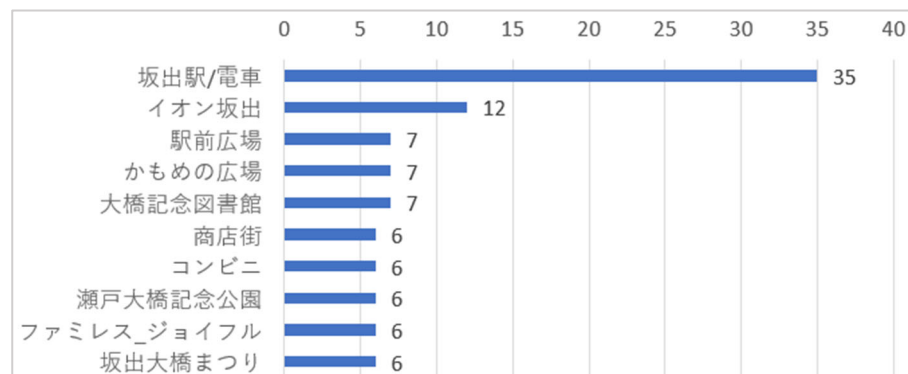
問：坂出中心市街地において、あなたが好きな場所、誇りに思うことや場所があれば自由記載ください。

(3つ以内)

回答をもとに分類

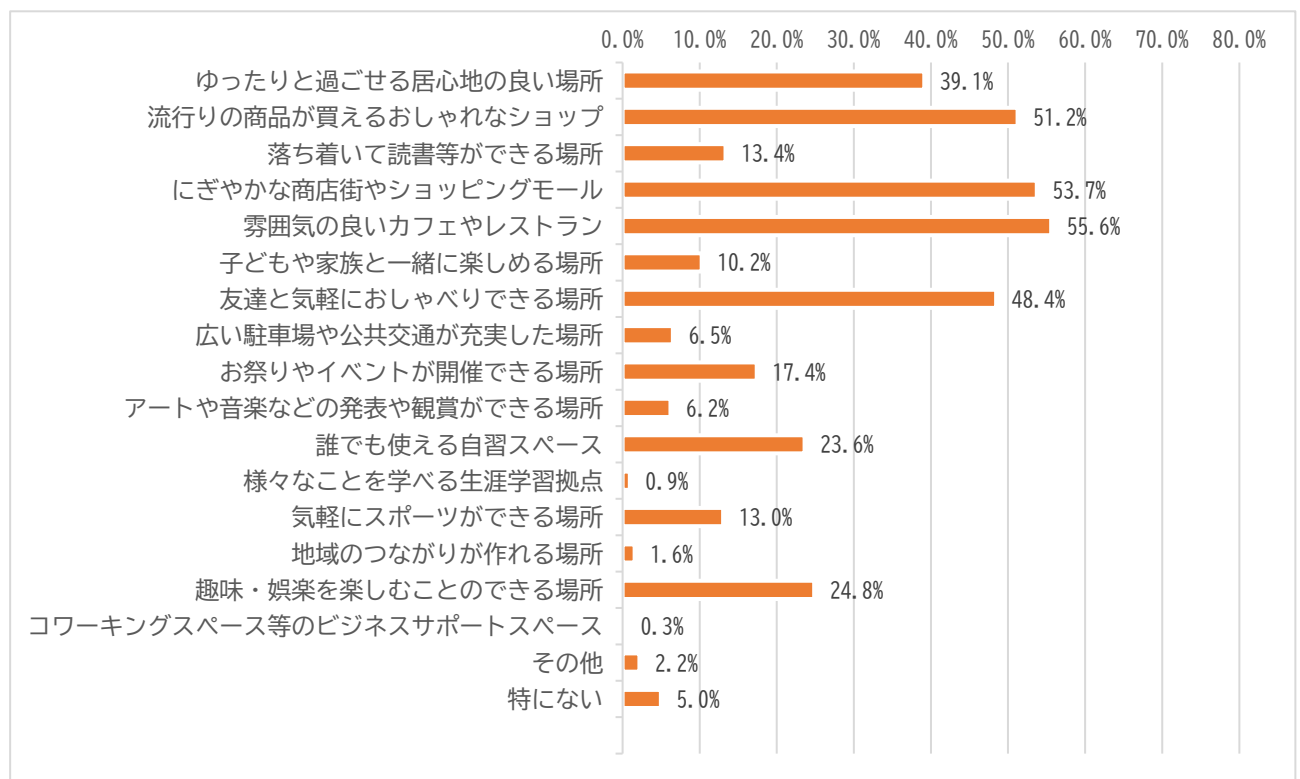


固有名詞別に分類 トップ10



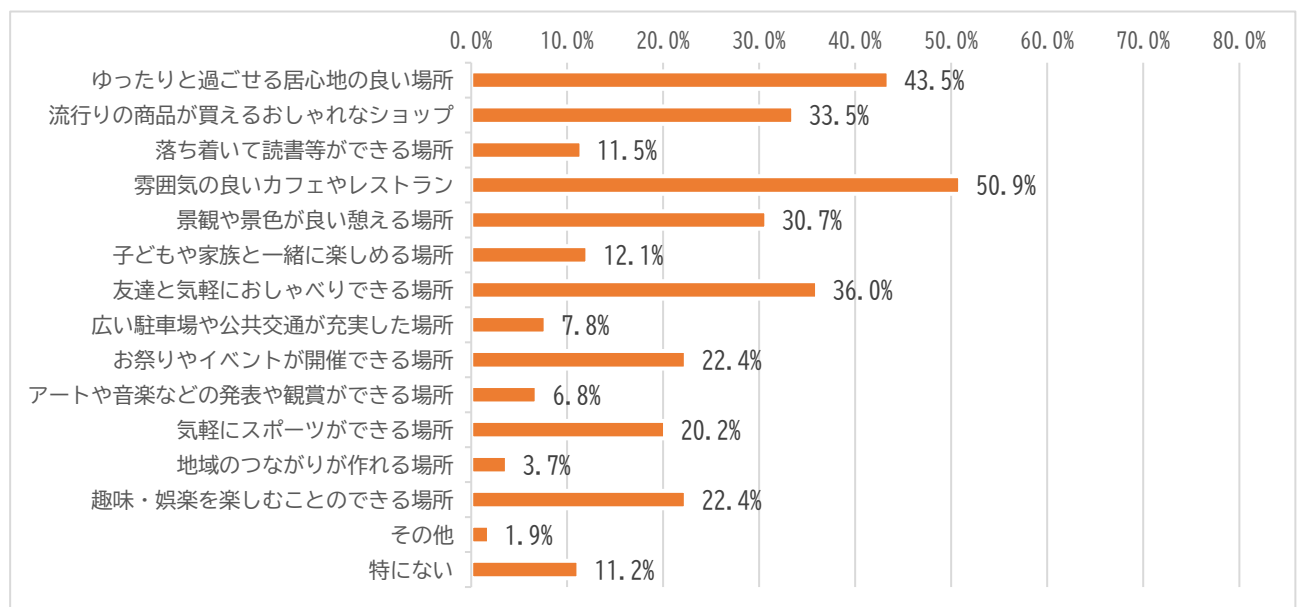
<坂出駅前について>

問：JR 坂出駅前にどのような場所があれば行きたいと思いますか。下記より選び、選択してください。（5つ以内）



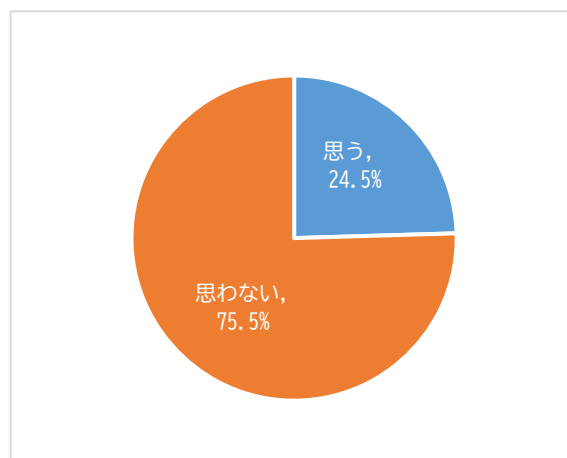
<坂出緩衝緑地について>

問：坂出緩衝緑地にどのような場所があれば行きたいと思いますか。下記より選び、選択してください。（5つ以内）



<まちづくりへの参加意識>

問：まちづくりの活動や勉強会、講演会等が開かれる場合、参加したいと思いますか。



（５）まちの魅力向上につながるアイデア

問：まちの魅力向上につながるアイデアや、「坂出に住みたい」「坂出で子育てしたい」と感じるまちにするためのアイデアをお聞かせください。

※記載している内容は回答の一例。

「駅前商業施設」や「商店街」に関する記述

高校	居住地	
市内	市内	・駅前商業施設やシャッター街となってしまう商店街を活性化させることも必要だと思う。
市内	市内	・教育施設等は整っていると思うので、駅前商業施設の発展が１番の課題だと思う。駅前商業施設を親子で行きたいと思える施設にし、周辺が発展することで坂出に住みたい、子育てしたい、となると思う。
市内	市内	・駅前商業施設やシャッター街となってしまう商店街を活性化させることも必要だと思う。
市外	市内	・坂出駅には人がたくさんいるので、駅前に人々が使いやすい便利な店を集約すれば良いと思う。
市外	市内	・人口土地の飲み屋街も賑わいを見せているとはいえない。また、暗くてあまり若者が行く気にはなれない。 ・元町名店街に関してはシャッター街である。昔ながらの風情を生かして再生してはどうか。

「放課後」に関する記述

高校	居住地	
市内	市内	・放課後に楽しめるお店を学校の近くに置いてほしい。
市内	市外	・高校が多いのに、高校生が放課後や休日に遊んだり買い物したりできる場所が少ないように感じる。
市内	市外	・高校生は放課後に宇多津や高松に遊びに行くことが多い。 ・駅前商業施設は広いのにあまり人が沢山いるイメージはないので、流行りのお店を作ったり、もっと上手く活用出来ると若い人もたくさん来ると思う。
市内	市外	・もっと施設を増やすべき。放課後に坂出で遊ぶところがない。
市内	市外	・高校生は放課後遊ぶ際、ほとんどの人が宇多津まで行っている。

「駅・駅前」に関する記述

高校	居住地	
市内	市内	・駅の近くに、夜も学生や大人が勉強できるところを作る。 ・駅の近くに子供たちを、預けることができるところを作る。
市内	市外	・駅周辺に公園や図書館など、あらゆる世代が集まりやすい施設がほしい。
市内	市外	・明るいまちにするために、駅の近くにカフェやカラオケがあればいいと思う。 ・坂出駅は 学生の利用が多いので、文具店や電車が来るまで無料で利用する事のできるカップの自動販売機を設置したスペースが欲しい。
市外	市内	・駅を中心に、もっと居心地のいい、便利な街にしてほしい。
市外	市内	・小学生や小さな子どもたちが遊べる公園を中心部につくる。 ・中高生が毎日、勉強などに使えるカフェ等が併設された図書館が駅の近くにあれば若い人たちにとっても住みやすくなると思う。
市内	市内	・駅に乗降者数が多いので、周辺に仕事などの用事で来た人が空いた時間でくつろげるカフェや、昼食が取れるレストランなどを置くと街の活気が高まり、その活気に引かれて移住を考える人も出てくるのではないかな。

「場所・施設」に関する記述（「駅・駅前」に関するものを除く）

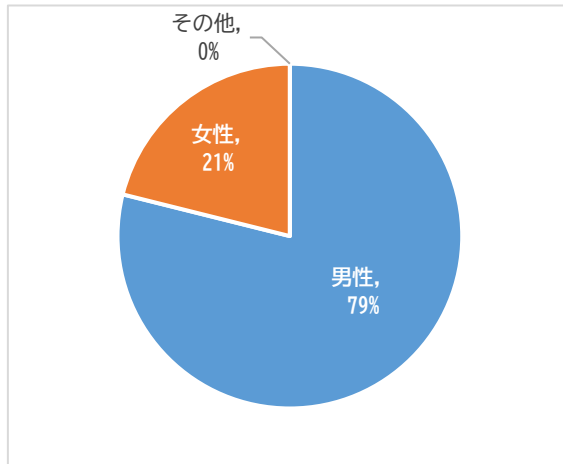
高校	居住地	
市内	市内	・こども園や子育て支援センターなど子育て支援の施設を設ける。 ・公園やカフェなど落ち着いて過ごせる場所を設ける。
市内	市外	・スポーツができる公園といった野外活動ができる場所を作る。 ・親が安心して子供たちを遊ばせることができるように公園の隅から周りが見渡せるような公園を作る。
市内	市外	・子育て支援を行っている場所を増やす。パンフレットを作りスーパーなどに置き誰でも気づきやすく参加しやすいようにする。
市内	市外	・坂出は学校が多く、学生が多いので学生のニーズに合った場所がもっとあればいいと思う。
市外	市内	・坂出が海岸沿いの地区であることをもっと活用してもいいと思う。きれいな施設をつくれば、観光資源になると思う。

2-3. 就業者(市外居住者)アンケート

(1) 回答者属性

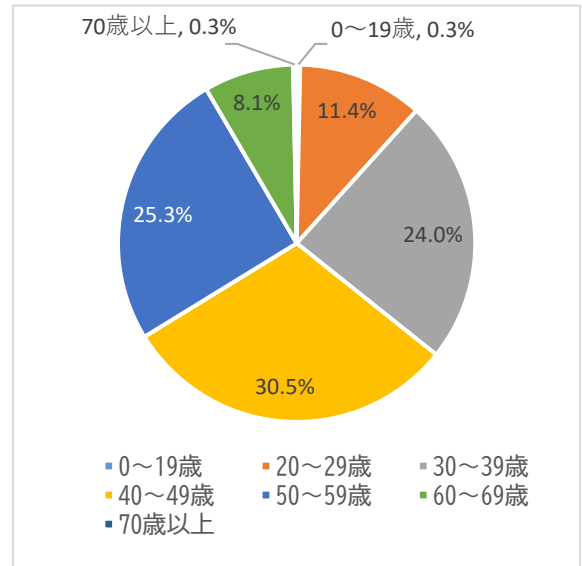
<性別>

問：あなたの性別を1つ選択してください。



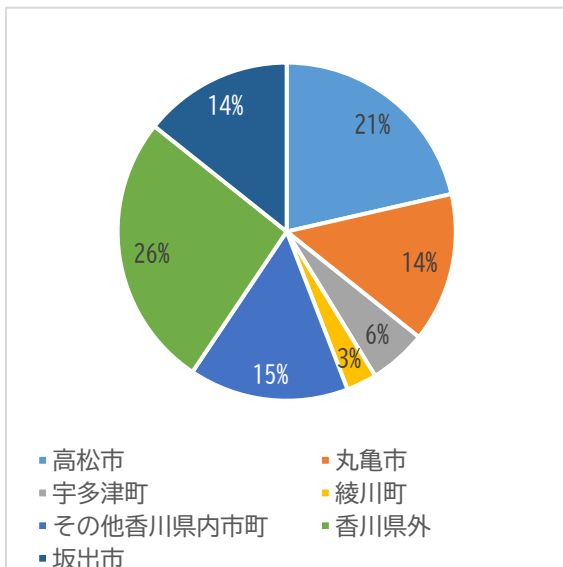
<年齢>

問：あなたの年齢を1つ選択してください。



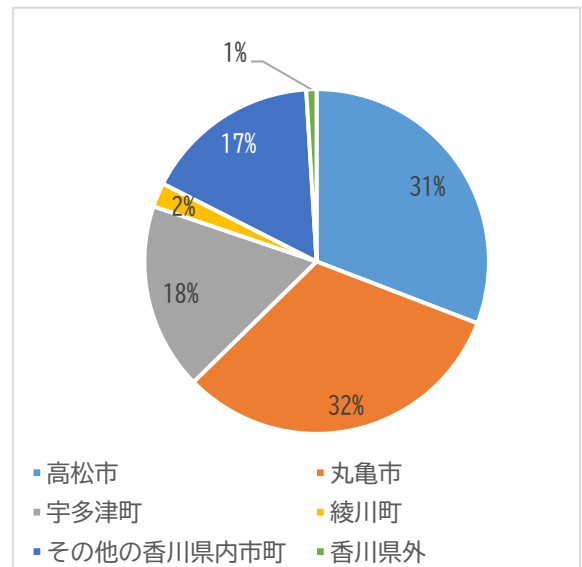
<出身地>

問：あなたの出身地を1つ選択してください。



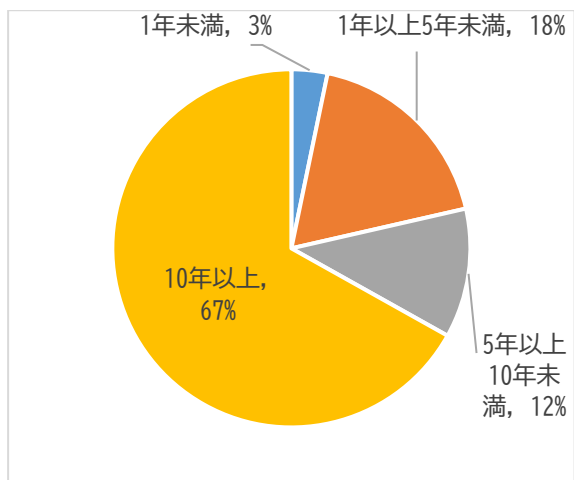
<居住地>

問：あなたの居住地を1つ選択してください。



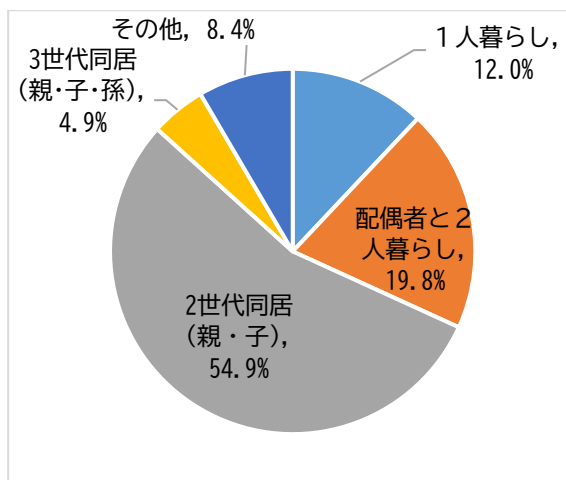
<居住年数>

問：現在、居住している市町村における居住年数を1つ選択してください。（同じ市町村内で引越し等をしている場合は合計してください）



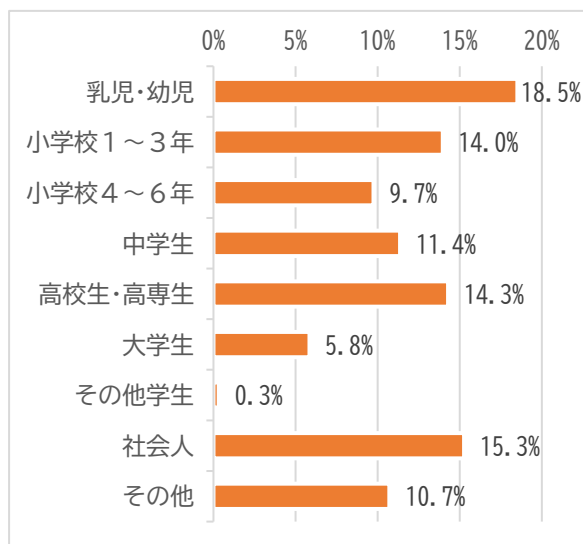
<家族構成>

問：あなたの家族構成を1つ選択してください。



<同居する子どもの学齢>

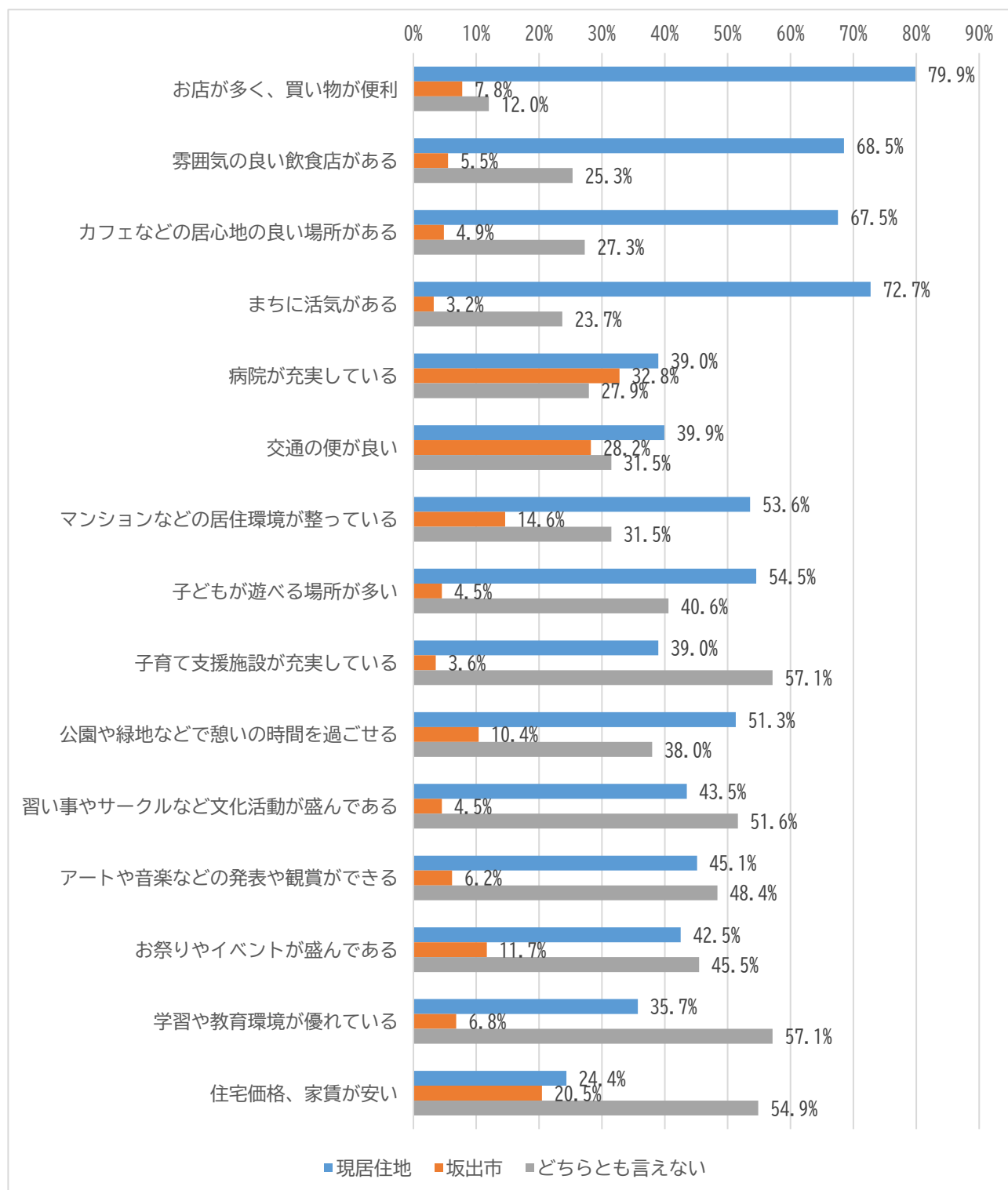
問：子ども（孫を含む）と同居されている場合、対象となる番号を選択してください。なお、複数人いる場合は、複数を選択してください。



(2) 居住地選択の理由

<居住地と坂出市の比較>

問：以下の点についてご自身の現居住地と坂出市ではどちらが当てはまると感じますか。「現居住地」「坂出市」「どちらとも言えない」の1つを選択してください。



(追加クロス集計)

居住地別結果

※綾川町については回答数が少なかったため、その他の県内市町村に含めている。

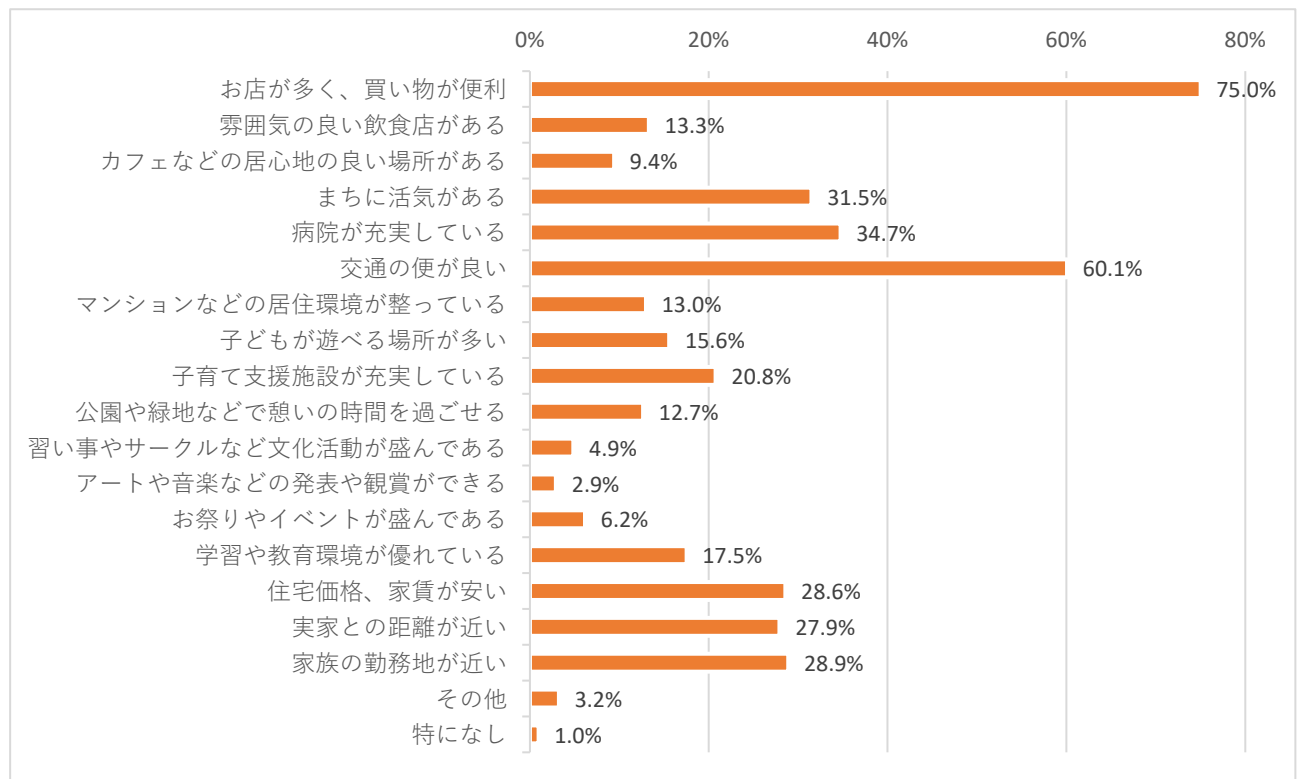
お店が多く、買い物が便利	雰囲気の良い飲食店がある
0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 97% 91% 89% 26% 7% 9% 36% 38% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない	0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 82% 73% 77% 33% 18% 26% 21% 26% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない
カフェなどの居心地の良い場所がある	まちに活気がある
0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 83% 70% 78% 29% 17% 28% 20% 21% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない	0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 91% 75% 83% 31% 9% 25% 15% 16% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない
病院が充実している	交通の便が良い
0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 65% 41% 15% 16% 14% 23% 59% 59% 21% 36% 26% 26% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない	0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 66% 33% 31% 19% 7% 36% 20% 57% 26% 31% 48% 24% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない
マンションなどの居住環境が整っている	子どもが遊べる場所が多い
0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 79% 52% 65% 60% 20% 8% 33% 60% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない	0%20%40%60%80%100% 高松市 丸亀市 宇多津町 その他の県内市町村 66% 54% 61% 34% 32% 5% 37% 10% ■ 現居住地 ■ 坂出市 ■ どちらとも言えない

子育て支援施設が充実している	公園や緑地などで憩いの時間を過ごせる																																																																						
<table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>高松市</td><td>49%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>49%</td></tr><tr><td>丸亀市</td><td>45%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>51%</td></tr><tr><td>宇多津町</td><td>35%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>65%</td></tr><tr><td>その他の県内市町村</td><td>16%</td><td>10%</td><td></td><td></td><td></td><td>74%</td></tr></table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	高松市	49%					49%	丸亀市	45%					51%	宇多津町	35%					65%	その他の県内市町村	16%	10%				74%	<table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>高松市</td><td>56%</td><td>7%</td><td></td><td></td><td></td><td>37%</td></tr><tr><td>丸亀市</td><td>48%</td><td>8%</td><td></td><td></td><td></td><td>43%</td></tr><tr><td>宇多津町</td><td>63%</td><td>7%</td><td></td><td></td><td></td><td>30%</td></tr><tr><td>その他の県内市町村</td><td>38%</td><td>22%</td><td></td><td></td><td></td><td>40%</td></tr></table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	高松市	56%	7%				37%	丸亀市	48%	8%				43%	宇多津町	63%	7%				30%	その他の県内市町村	38%	22%				40%
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																																																																	
高松市	49%					49%																																																																	
丸亀市	45%					51%																																																																	
宇多津町	35%					65%																																																																	
その他の県内市町村	16%	10%				74%																																																																	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																																																																	
高松市	56%	7%				37%																																																																	
丸亀市	48%	8%				43%																																																																	
宇多津町	63%	7%				30%																																																																	
その他の県内市町村	38%	22%				40%																																																																	
習い事やサークルなど文化活動が盛んである	アートや音楽などの発表や観賞ができる																																																																						
<table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>高松市</td><td>68%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>29%</td></tr><tr><td>丸亀市</td><td>48%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>49%</td></tr><tr><td>宇多津町</td><td>24%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>74%</td></tr><tr><td>その他の県内市町村</td><td>16%</td><td>16%</td><td></td><td></td><td></td><td>69%</td></tr></table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	高松市	68%					29%	丸亀市	48%					49%	宇多津町	24%					74%	その他の県内市町村	16%	16%				69%	<table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>高松市</td><td>71%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>26%</td></tr><tr><td>丸亀市</td><td>43%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>55%</td></tr><tr><td>宇多津町</td><td>39%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>57%</td></tr><tr><td>その他の県内市町村</td><td>12%</td><td>21%</td><td></td><td></td><td></td><td>67%</td></tr></table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	高松市	71%					26%	丸亀市	43%					55%	宇多津町	39%					57%	その他の県内市町村	12%	21%				67%
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																																																																	
高松市	68%					29%																																																																	
丸亀市	48%					49%																																																																	
宇多津町	24%					74%																																																																	
その他の県内市町村	16%	16%				69%																																																																	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																																																																	
高松市	71%					26%																																																																	
丸亀市	43%					55%																																																																	
宇多津町	39%					57%																																																																	
その他の県内市町村	12%	21%				67%																																																																	
お祭りやイベントが盛んである	学習や教育環境が優れている																																																																						
<table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>高松市</td><td>56%</td><td>6%</td><td></td><td></td><td></td><td>38%</td></tr><tr><td>丸亀市</td><td>49%</td><td>8%</td><td></td><td></td><td></td><td>42%</td></tr><tr><td>宇多津町</td><td>26%</td><td>9%</td><td></td><td></td><td></td><td>65%</td></tr><tr><td>その他の県内市町村</td><td>22%</td><td>29%</td><td></td><td></td><td></td><td>48%</td></tr></table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	高松市	56%	6%				38%	丸亀市	49%	8%				42%	宇多津町	26%	9%				65%	その他の県内市町村	22%	29%				48%	<table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>高松市</td><td>53%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>44%</td></tr><tr><td>丸亀市</td><td>44%</td><td>7%</td><td></td><td></td><td></td><td>48%</td></tr><tr><td>宇多津町</td><td>17%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>80%</td></tr><tr><td>その他の県内市町村</td><td>14%</td><td>16%</td><td></td><td></td><td></td><td>71%</td></tr></table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	高松市	53%					44%	丸亀市	44%	7%				48%	宇多津町	17%					80%	その他の県内市町村	14%	16%				71%
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																																																																	
高松市	56%	6%				38%																																																																	
丸亀市	49%	8%				42%																																																																	
宇多津町	26%	9%				65%																																																																	
その他の県内市町村	22%	29%				48%																																																																	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																																																																	
高松市	53%					44%																																																																	
丸亀市	44%	7%				48%																																																																	
宇多津町	17%					80%																																																																	
その他の県内市町村	14%	16%				71%																																																																	
住宅価格、家賃が安い																																																																							
<table><tr><td></td><td>0%</td><td>20%</td><td>40%</td><td>60%</td><td>80%</td><td>100%</td></tr><tr><td>高松市</td><td>15%</td><td>42%</td><td></td><td></td><td></td><td>43%</td></tr><tr><td>丸亀市</td><td>21%</td><td>13%</td><td></td><td></td><td></td><td>66%</td></tr><tr><td>宇多津町</td><td>17%</td><td>19%</td><td></td><td></td><td></td><td>65%</td></tr><tr><td>その他の県内市町村</td><td>55%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>45%</td></tr></table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%	高松市	15%	42%				43%	丸亀市	21%	13%				66%	宇多津町	17%	19%				65%	その他の県内市町村	55%					45%																																				
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																																																																	
高松市	15%	42%				43%																																																																	
丸亀市	21%	13%				66%																																																																	
宇多津町	17%	19%				65%																																																																	
その他の県内市町村	55%					45%																																																																	

<居住地選択の上での重要な項目>

問：あなたが居住地を選択する上で特に重要だと思う項目を下記より選択してください。

(5つ以内)

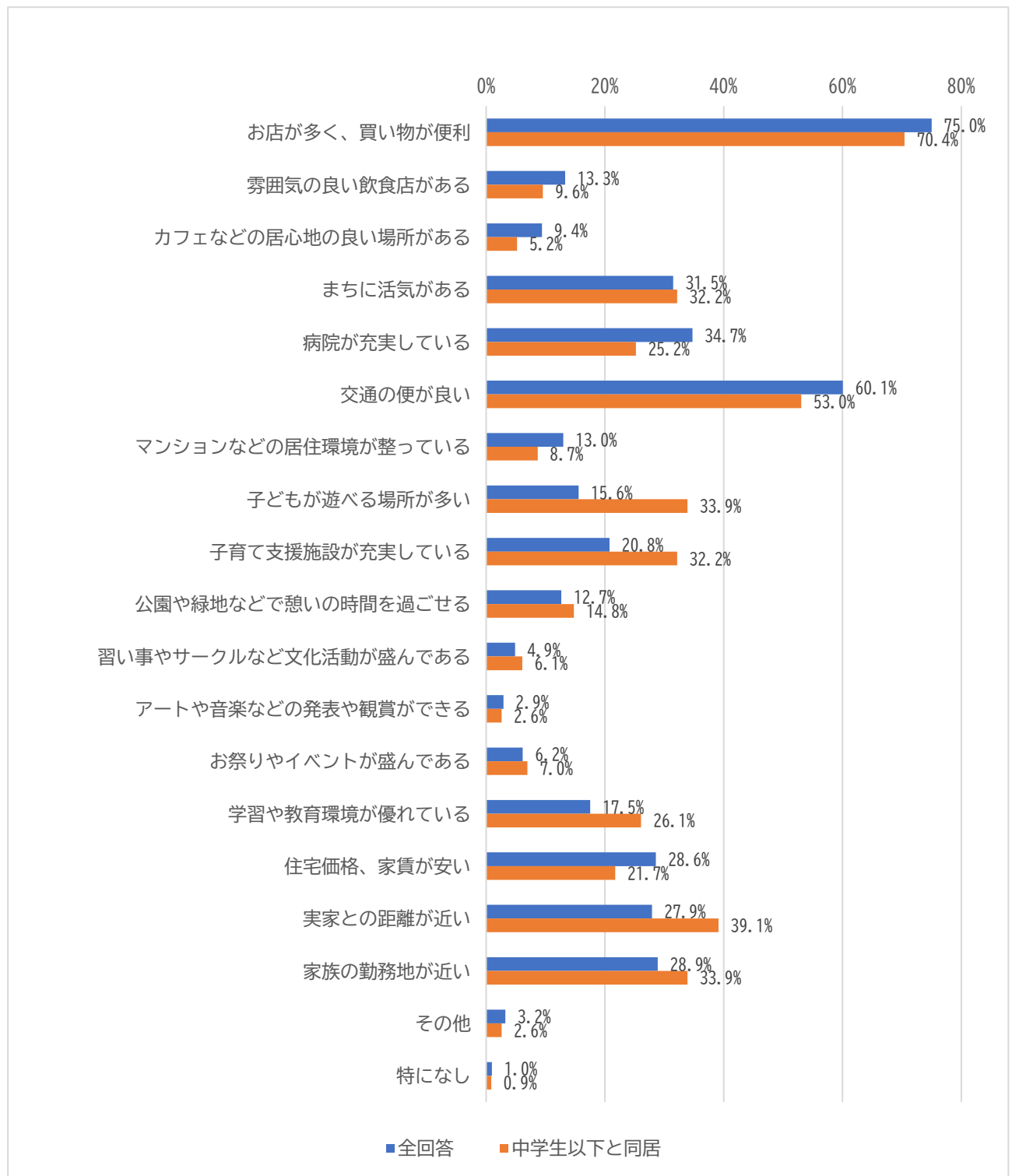


「その他」選択者の自由記述

- ・ 自分の勤務地とある程度の距離のあるところ
- ・ 実家の横に家を建てたから
- ・ 雰囲気のいいお手頃の分譲地が、多く売り出されている
- ・ 傍から見たときに異常と感じる地元のしきたりが無い
- ・ 住み慣れている
- ・ 静かに安心して暮らせる
- ・ 職場に近いこと
- ・ 治安の良さ、防災対策
- ・ 義実家との距離が近い

(追加クロス集計)

全回答と中学生以下と同居に限った場合の比較



<居住地の選択理由>

問：現在の居住地を選んだ理由を可能な範囲でお聞かせください。

※記載している内容は回答の一例。

高松市在住者

年齢	性別	
20～29 歳	女性	・ いろいろなジャンルの店が充実してるので住んでいて楽しい。 ・ 特に土日と平日の夜の QOL が高い。 ・ 車がなくても便利な生活ができる。
20～29 歳	女性	・ スーパーや商業施設が近くて便利。 ・ 電車の駅やバス停が近い。 ・ 自転車で中心部に行くことができる。
30～39 歳	男性	・ 妻の実家が近く、商業施設や国道からも近いため。 ・ 夫婦共に勤務地が坂出であり、職場距離や校区面で坂出に住む方がむいているので、家族向けの賃貸（3LDK）があれば居住したい。ただ単身者向けの賃貸がほとんどで選択肢がない。
40～49 歳	男性	・ 実家が近く、子育ての助けを得られるため。
40～49 歳	男性	・ 家族の勤務地が近い。 ・ 子供の教育環境が良い

丸亀市在住者

年齢	性別	
30～39 歳	男性	・ 妻の実家から近い ・ 子育ての面では習い事の種類も多く子育てしやすい。
40～49 歳	男性	・ 会社の都合もあるが、郊外でもスーパーなど買い物がしやすく道路が走りやすい。
40～49 歳	女性	・ 子供の通う中学校の校風が良いと聞き、その校区内で土地を探した。 ・ 互いの実家に近い。
40～49 歳	男性	・ 勤務地への交通が会社にて確保されている。 ・ スーパーや病院等が近い（徒歩圏内）老後も安心して暮らせる。 ・ 子供の支援が充実している。
50～59 歳	男性	・ 丸亀市の社宅にすんでいたが、周辺に病院、スーパー、飲食店があり住みやすかったことから、その近辺を居住地に選んだ。
50～59 歳	女性	・ 配偶者の勤務先と実家の中間場所。 ・ 徒歩圏内に病院、スーパー、金融機関がある。

宇多津町在住

年齢	性別	
20～29 歳	女性	・ 職場から通える範囲で、気に入った間取りのアパートだったから。
30～39 歳	女性	・ 街がきれいである。 ・ 色々なものがあって便利。
50～59 歳	男性	・ 職場から近い。 ・ 近距離での買い物に困らない。 ・ 駅から近い。
50～59 歳	女性	・ お店が多く、買い物が便利。 ・ 飲食店カフェなど居心地がとても良い。 ・ 活気があり、とても住みやすい。
30～39 歳	男性	・ 築年数が新しいファミリータイプのアパートがあったため。
50～59 歳	女性	・ 宇多津新都市が活発な環境で 駅も近くスーパーなどたくさんあるので老後、車の運転が出来なくなっても不自由なく暮らせると感じたため。

その他県内市町

年齢	性別	
30～39 歳	男性	・ 結婚を機に引っ越したため。 ・ 田舎なので時間がゆったりしている。
40～49 歳	男性	・ 夫婦共働きのため、現居住地は実家が近く、親に子育てを手伝ってもらえるから。
40～49 歳	男性	・ 祖母の病気の看護の為。
40～49 歳	男性	・ 緑が多く 自然環境が良い
40～49 歳	男性	・ 家を継ぐため。
50～59 歳	男性	・ まとまった広さの土地が安く購入できたため

(3) その他

問：その他、坂出市内で勤務されていて、お気づきの点があればお聞かせください。

※記載している内容は回答の一例。

「駅・駅前」に関する記述

年齢	性別	居住地	
20～29 歳	女性	高松市	・ 仕事帰りに行きたいと思う店がない。特に駅の周辺にゆっくり仕事をしたり本を読んだりリラックスできるような店、家族で行けるご飯屋、文房具、インテリア雑貨、服が買える店、ドラッグストアなどが気軽に行ける距離にない。 ・ 交通の便と教育、医療は充実してると思うので住んで楽しいまちになったらと思う。 ・ 拠点や施設をつくることを目的にするのではなく、人がにぎわう交流の拠点になることをめざしてほしい。 ・ 坂出の風土をうまく活かしてくれるような民間事業者と連携してくれることを願う。
30～39 歳	男性	宇多津町	・ 坂出駅前に手ごろな賃貸マンションが無い。
30～39 歳	男性	丸亀市	・ 商店街や駅前が暗い。
40～49 歳	男性	丸亀市	・ 高校が複数集まっていて、電車通学の人も多いと思うので、駅前で時間をつぶせるオシャレなお店が多いと賑わうと思う。
50～59 歳	男性	丸亀市	・ 坂出駅は、本州や高松に通勤するにしても、マリンライナーがあるから利便性はよい。 ・ 駅周辺に魅力がない、土地が少ない、飲み屋も少ないことから、単なる通過点となっている。 ・ お店はあるが、あちこちに散在しており、それが住みにくさを助長しているように思う。
50～59 歳	男性	その他 県内市町	・ 駅周辺にビジネスホテルもなく、地方から来ても宿泊先として薦めにくい。
50～59 歳	男性	宇多津町	・ 朝早くから夜遅くまで JR が走っているのは魅力。
60～69 歳	男性	高松市	・ 活性化のためには、人工土地の前と商店街を歩いて楽しい場所にすることが必須。

「交通・渋滞」に関する記述

年齢	性別	居住地	
20～29 歳	女性	高松市	・ バスの時間が合わず不便に感じる。 ・ 市が広い割に、公共交通機関が網羅されていないため、自家用車を持っていないと住みづらい。
30～39 歳	男性	高松市	・ 勤務地（番の州）ヘルートが限定されているため、異常に渋滞することがある。
40～49 歳	女性	高松市	・ 車移動で郊外のスーパー、ドラッグストア、飲食店、コンビニ等に行く流れになっており、街中へ車移動しようとする、道が狭い印象がある。
40～49 歳	男性	その他 県内市町	・ 勤務地が駅から遠いが、バスの運行がほとんどない場所なので自家用車以外での通勤が大変。
50～59 歳	男性	宇多津町	・ 坂出駅からの交通の便は良いが、その他の駅近くでは移動手段が限られる。エリアを分け、公共交通を含めた交通網の整備が必要。
50～59 歳	男性	丸亀市	・ もう少し近隣の市町との壁を排除して、公共交通機関の利用を便利にして欲しい。
60～69 歳	男性	宇多津町	・ 自家用車が使えないときの第 2 の交通機関としてバス運行の充実がほしい。
30～39 歳	男性	丸亀市	・ 坂出は道が狭く、大きい道でも三叉路が多く慢性的な渋滞が発生しており、移動しづらい。

「買い物環境」や「飲食環境」「活気」に関する記述

年齢	性別	居住地	
30～39 歳	女性	宇多津町	・ 家族層にとっての飲食店や若い世代に魅力的なお店が少ないと感じる。
40～49 歳	男性	高松市	・ まちなかにも地元の人が行く居酒屋はあるが、昼間の飲食店、特にカフェのような女性が入りやすい店は少ないと思う。
40～49 歳	男性	その他 県内市町	・ 飲食店、商業施設など、良いところは丸亀市に集中している。 ・ 坂出市は交通の便が良いのだから、誘致や駅前開発を行い、活気ある街にしてほしい。
40～49 歳	男性	丸亀市	・ ショッピングモール等、買い物に行きたい場所が少ない
40～49 歳	女性	高松市	・ 歩いて行けるところに魅力的な飲食店等が少ない。

3. さかいで再生会議

3-1. 概要

「さかいで再生会議」は、坂出駅周辺再整備基本構想の策定に向け、本市の玄関口である坂出駅周辺において、行ってみたい、歩いてみたいと思える「ワクワクドキドキできるまち」、様々な広がりや新しい発見のある「変化し続けるまち」をめざし、新たな魅力づくりや地域の価値を向上させる空間形成とそのあり方について検討するために設置された。

3-2. 委員名簿

区 分	所 属	職 名	氏 名
有識者	国土交通省 PPP サポーター		◎天米 一志
	ランドスケープアーキテクト		○石井 秀幸
	四国旅客鉄道 株式会社 総合企画本部	担当部長	新居 準也
	株式会社 百十四銀行 地域創生部	地域創生グループ長	片山 将光
	認定 NPO 法人わははネット	理事長	中橋 恵美子
	坂出商工会議所	専務理事	川滝 浩嗣
	公益社団法人 坂出青年会議所	理事長	大美 省吾
	香川大学 地域・産官学連携戦略室	客員教授	中井 今日子
国の行政機関職員	経済産業省 四国経済産業局 総務企画部	企画調査課長	山下 健二
	国土交通省 四国地方整備局 建政部	都市住宅整備課長	関口 智彦
県の行政機関職員	香川県交流推進部	交流推進課長	平池 岳弘
	香川県土木部	都市計画課長	尾幡 英之
市の行政機関職員	坂出市	副市長	浦田 俊一

※◎委員長、○副委員長

3-3. さかいで再生会議設置要綱

(設置)

第1条 本市の玄関口である坂出駅周辺地区において、行ってみたい、歩いて

みたいと思える「ワクワクドキドキできるまち」、様々な広がり新しい発見のある「変化し続けるまち」を目指して、良好な環境づくりや新たな魅力づくりに取り組み、地区の価値を維持および向上させる空間の形成とそのあり方について検討するため、さかいで再生会議（以下「会議」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 会議は、次の事項について検討等を行う。

- (1) 坂出駅周辺再整備基本構想（以下「基本構想」という。）に係る事項
- (2) その他前条の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 会議は、各有識者、各行政機関、各関係民間事業者等をもって構成し、市長が委嘱し、または任命する。

2 委員の追加または変更は、会議の承認を得て、市長が委嘱し、または任命する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、基本構想の策定が完了するまでとする。

(委員長)

第5条 会議の委員長は、委員の中から互選により充てる。

2 委員長は、会議の会務を総括する。

3 委員長が職務を遂行できない場合は、予め委員長が指名する委員が、その職務を代理する。

4 委員長は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

5 委員長は、やむを得ない事由により会議の開催が困難な場合においては、資料等を委員に送付し、その意見を徴し、それをもって会議の開催に代えることができる。

(会議の運営)

第6条 会議は、第2条に規定する事項を検討するため、必要に応じ、事務局が招集する。

2 会議は、運営にあたり必要な資料等を事務局に求めることができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、個人情報など公開することが望ましくない情報を漏らしてはならない。また、その職務を退いた後も同様とする。

(会議の公開)

第8条 この会議は、非公開で行う。ただし、公開の必要がある場合には、会議の承認をもって行うものとする。

(会議資料・議事概要の公表)

第9条 会議における議事概要は、会議終了後、公表するものとする。

(事務局)

第10条 事務局は、政策部政策課公民連携・DX推進室に置く。

(雑則)

第11条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、その都度審議して定めるものとする。

付 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和4年9月1日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、会議の目的を達成したときにその効力を失う。

3-4. 会議の経過

第 1 回さかいで再生会議			
開催日時	令和 4 年 9 月 26 日(月) 午前 10 時～正午	開催場所	市役所 本庁舎 2 階大会議室
議 題	・市長挨拶 ・委員委嘱 ・委員長の選任 ・事務局による説明 1. 坂出駅周辺再整備基本構想について (1)坂出駅周辺の現状について (2)アンケートの実施状況について 2. 今後のスケジュール等について ・委員の意見		
第 2 回さかいで再生会議			
開催日時	令和 4 年 11 月 7 日(月) 午前 10 時～正午	開催場所	市役所 本庁舎 3 階中会議室 2
議 題	・委員長挨拶 ・事務局による説明 1. 坂出駅周辺再整備基本構想について (1)人口の流出入追加分析 (2)アンケート結果から見た傾向 (3)中心市街地再生に向けた目標設定 (4)中心市街地再生コンセプト(案) (5)コンセプト実現に向けたイメージ (6)中心市街地と5つの拠点の概要 ・委員の意見		
第 3 回さかいで再生会議			
開催日時	令和 4 年 12 月 23 日(金) 午後 2 時～午後 4 時	開催場所	市役所 本庁舎 2 階大会議室
議 題	・委員長挨拶 ・事務局による説明 1. 坂出駅周辺再整備基本構想について (1)中心市街地再生の基本的な考え方 (2)実現に向けたイメージ (3)実現を支える取組 (4)居場所としての6つのエリアの特徴をふまえた方向性 (5)中心市街地再生戦略 (6)坂出駅周辺再整備の検討(現況及び課題) (7)坂出駅周辺再整備の検討(再整備の考え方) ・委員の意見		
第 4 回さかいで再生会議			
開催日時	令和 5 年 1 月 27 日(金) 午後 2 時～午後 4 時	開催場所	市役所 本庁舎 3 階中会議室 2
議 題	・委員長挨拶 ・事務局による説明 1. 坂出駅周辺再整備基本構想について 2. その他 ・委員の意見		

3-5. 協議内容の要約

(1) 第1回さかいで再生会議

日時： 令和4年9月26日(月) 10:00~12:00

場所： 坂出市役所 本庁舎2階大会議室

委員： 天米一志、石井秀幸、新居準也、片山将光、中橋恵美子(欠席)、川滝浩嗣、大美学吾、
中井今日子、山下健二、関口智彦、平池岳弘、尾幡季之、浦田俊一

1. 坂出駅周辺再整備基本構想について

(1) 坂出駅周辺の現状について

【委員意見】

- ・どの自治体も暮らしやすいまちを目指しているなかで、総花的な目標設定ではどれも中途半端に映り、他市町との差別化が図れない。何を捨てて、何を取るかという取捨選択を問われている。そのなかでも、子育て支援については、乳幼児期の支援はもちろん、妊娠期からの支援など身近で敷居の低い子育て支援を目指すべき。
- ・坂出の課題について、シビックプライドが近隣の自治体に比べ低く感じる。ポテンシャルがあるにも関わらず、内側から変えていこうという意思のある住民が少なく、また、そうした住民が活躍できる土俵がないと思う。
- ・対象エリアについて、長い間手を付けてこなかったことが逆にポテンシャルであると思うので、この会議は四国の中でもエポックメイキング的なことになると感じている。
- ・どこまでをウォークアブルな範囲として設定するか、無理のないエリアをもう少し絞って設定したほうがいい。
- ・「壊し過ぎない、作り過ぎない」ということが重要。例えば、人工土地はどこにもまねのできないものであり、その再活性などを一つの肝としてほしい。
- ・交通量が多いことは強みでもあり、弱みでもあるところでもある。少し歩きづらく、まちの景観に繋がりがいい。
- ・いろいろなものが多岐にわたっているので、どこから手を付けるのか、拠点をつくることも大事であるが、繋がりをいかに持たしていくか、ハードだけでなく、ソフトの作り込みをどうするかということも大事である。
- ・香風園観月会は、非常に素晴らしく魅力的なイベントであるがあまり知られていない。対外への発信や魅力を伝える努力はもっと必要。
- ・検討対象エリアには、歩いて楽しめるような既存施設がたくさんあるので、そのようなものに磨きをかけていき、にぎわいを生むようなエリアにしていくべき。
- ・現在、緩衝緑地の機能を享受している人もおり、特に近隣の住民は関係してくると思う。近隣の住民に愛される結果になればいいと思う。
- ・対象地区である中心市街地は、交通利便性が高く、教育文化施設、医療施設が複数立地し、四国の玄関口にふさわしい多彩な都市機能が集積されている印象がある。こういった拠点性をさらに深めて、より一層の都市機能の充実化、まちなか居住が促進されるようにしたい。
- ・官でやりづらいことに関して、公民連携として民間を上手に使うべき。
- ・単なる5万人の地方都市ではなく、四国の玄関である。歴史的にも、立地的にもフロントであるし、かつてはフロンティアスピリットを持っていた人もいたことから、それらの利点を活かして取り組めばいい。

- ・市が目指すべき方向性を実現させていくには、行政サービスについて他と同じレベルを保っているのかという目線は必要。
- ・若い人は、学校区で居住地を選び、そこにマンションがあるのか、公園があるかということで選んでいる。そこをしっかりとPRしていくことが重要。
- ・坂出市の一番の強みは名だたる企業が立地していることであるが、周りの市町から通勤している人が多いという特徴について、その理由が何なのかをしっかりと分析し、市としてこういった施策が打てるのかを考えていくことも一つの手である。
- ・坂出市に行こうと考えた時に、これが一番であるという目玉になるものが弱い。
- ・ウォーカブルなまちづくりには車の流量を減らさないと安心して暮らせるまちづくりはできない。点と点を結ぶ公共交通の充実は一つの共通の目的として進めていくべきである。
- ・坂出駅は、岡山、高松、高知、松山のハブステーションと言っても過言ではないので、交通機能の連携について、公共サービスとの連携も視野に入れて検討できればいい。
- ・まちの構造が非常に明快であると思う。まちの背骨をきちんと議論しながら、新しい施設を肉付けしていくと、このまちの骨格が分かりやすくなるのではないかと思う。
- ・未来に対して社会実験や実証実験もたくさん行われているので、やってみた結果失敗したとしても再チャレンジしていく余地もこの会議で提言していくことが必要でないか。

(2) アンケートの実施状況について

【委員意見】

- ・項目が重複し、複数回答OKとしていることから、具体性に欠けるという印象を受けたが、市民の大体の方向性や感覚を吸い取ることができるという意味では丁寧なアンケートである。
- ・新しいことが今から始まるなというフックのようなものが足りない、型どおりのアンケートであると感じる。
- ・高校生の意見を掘り下げていくという作業も必要である。

2. 今後のスケジュール等について

【委員意見】

- ・せっかく高校生から意見をもらっているなので、もう少し高校生との対話の時間があってもいいと思う。できればこの会議のことも伝えてもらい、フィードバックを相互にし合うようなことができればいい。

(2) 第2回さかいで再生会議

日時： 令和4年11月7日(月) 10:00~12:00

場所： 坂出市 本庁3階中会議室2

委員： 天米一志、石井秀幸、新居準也、片山将光、中橋恵美子、川滝浩嗣、大美省吾(欠席)、
中井今日子、山下健二、関口智彦、平池岳弘、尾幡季之(欠席)、浦田俊一

(1) 坂出駅周辺再整備基本構想について

1) 人口の流出入追加分析

【委員意見】

- ・坂出は働くところだけど住むところではないと言うのではなく、実は働く場所があるというのは非常に尊いことなので、その辺りをもっと強調していけばよいのではないかな。
- ・日本人だけでなく、海外の方も含めたインターナショナルなまちづくりのあり方を、このまちでも考えていくべきである。
- ・他市町も新しい家族を取り込もうとしている中で、何かそれ以上のものを坂出市が打ち出していないと、住みたい居住地として選ばれない。

2) アンケート結果から見た傾向

【委員意見】

- ・回遊性を高めるため、駅等も含め、上手く鉄道から他の公共交通等への動線をつなげていく取り組み・対策が必要である。ウォーカブルなまちづくりにするためには、自動車利用を前提とするのではなく、公共交通を使ってうまく回遊性を高められるような方針で進めていった方が良い。
- ・坂出市は地域包括ケアシステムの仕組みが周辺市町よりも優れており、市立病院や大きな病院もあり、救急にも対応しているという非常に大きなメリットがある。もっとこういった点を打ち出し、既存の施設をつなぎ合わせることによって、子育て世代などにもPRできると思う。
- ・出生数に対する子育て支援施設数は高松市に対して坂出市の方が充実しているように、他の施設も実際は近隣市町より充実しているのに足りていないようなイメージが先行しているだけかもしれないので、しっかりと分析する必要がある。
- ・坂出市には、ありとあらゆる専門性に特化した高校が存在するので、子育て世代のお子さんが、中学、高校になったときの選択肢にバリエーションが豊富であることを発信すべきである。

3) 中心市街地再生に向けた目標設定

【委員意見】

- ・市民を育てていく場所をハードとして構えることが必要である。
- ・中心市街地には、魅力的な可能性を持っている施設があるし、プレーヤーもいる。プレーヤーの意見を拾い上げながら、この計画を成し遂げるための中心人物として捉えるべきである。
- ・若い人たちが、市の持つインキュベーション機能を活かし、何か新しいことにトライできるような中心市街地を掲げるべき。
- ・中心部を整備しても、そこに来るためには車、電車、バス、自転車を利用することになる。ウォーカブルなまちの実現には、交通機関をどのようにつないでいくかを考えることが大事である。
- ・学校が終われば、すぐに塾という学生もたくさんいるので、そういった人への学習塾とか、自習スペースを実現しても面白い。

- ・教育を盛り上げ、若い人の意見やアイデアをうまく取り入れられるよう、タウンプロモーション戦略を考えていく必要がある。
- ・目標設定の強みと弱みの分析がもう少し必要。中長期的に、このような強みと弱みから考えるとこうだという分析をしたうえで、目標設定につなげてほしい。
- ・アナログとデジタルの融合について検討すべき。
- ・ウォークアブルなまちづくりは、滞留空間が非常に大事であることから、滞留空間を生み出す場所、滞留する人を受け入れる場所を作ることが必要。
- ・情報を受け取る側の視点に立つことが大事である。

4) 中心市街地再生コンセプト（案）

【委員意見】

- ・自分自身の魅力に気づかないでいる坂出市民が多いと思うので、地元に素晴らしいものがたくさんあるということを上手く伝えていくことが必要。
- ・素晴らしい場所を作っても、心理的ハードルが高くて集まりづらい、訪れづらいということがあってはいけないので、「まちのリビング」という気軽に繋がるというメッセージ、コンセプトは良いと思う。
- ・市民一人ひとりにとって、中心となるエリアは異なってくるため、そこをうまくつなぎ合わせ、小さな拠点や回遊性を作り出すことが大事である。
- ・チャレンジャーにやさしいまち、チャレンジを受け入れる、拒まないまちというイメージが広がれば、いろんな人が多様性を持ってチャレンジしてくれる。坂出市のイメージアップにもつながるので、チャレンジに理解のあるまちというのをどんどん打ち出していくべきである。
- ・大きなコンセプトと中間的なコンセプトと、もっと各論に入ったコンセプトというように細分化することでイメージにつながっていきやすくなると思う。

5) コンセプト実現に向けたイメージ

【委員意見】

- ・それぞれのエリア間に距離があるので、モビリティ的なものを上手く活用しながら、うまく人を動かす仕組みは必要となる。
- ・週末は中心市街地から坂出郊外にある魅力的な場所へ出かけるなど、まちを軸に坂出市内を回遊しながら、街中では得られないヒトモノコトと出会える機会・場所を提供できるようなブランディングをしていければ良い。
- ・歩いて楽しいまちづくりをするためにも、歩行空間を広げていくという取り組みも必要である。
- ・西運河は非常に面白いので、関西にあるタグボート大正のように若い人が集まるような拠点があれば良い。

6) 中心市街地と5つの拠点の概要

【委員意見】

- ・西運河地区の水域、防災面につき、少なくとも両景橋のあたりまでは考えたうえで、ウォーターフロントとしてのにぎわいをどう作るかということを考えてほしい。
- ・現図書館は駅から徒歩圏内であり、回遊するにはいい距離感であるので、上手く活かせば良

い。

- ・1つの拠点にすべてを担わせるのではなく、各拠点に関連性を持たせることで、小さな拠点づくりと、小さな回遊性につながると思う。
- ・これだけの広いエリアなので、坂出市の皆さんが、地域密着型で未来を一緒に作ってほしい。

(3) 第3回さかいで再生会議

日時： 令和4年12月23日（金）14：00～16：00

場所： 坂出市 本庁2階大会議室

委員： 天米一志、石井秀幸、新居準也、片山将光、中橋恵美子、川滝浩嗣、大美省吾（欠席）、
中井今日子、山下健二、関口智彦、平池岳弘、尾幡季之、浦田俊一

(1) 坂出駅周辺再整備基本構想について

1) 中心市街地再生の基本的な考え方

【委員意見】

- ・市民、特に近隣に住む方々と一緒に坂出緩衝緑地の活用について考えていくことが非常に大事である。
- ・今、想い描いてるものが形になるのはもっと先の話だと思う。みんなが心地いいということはある得ないと思うので、どの世代にフォーカスするかということを意識して話をするべき。
- ・中心市街地再生のコンセプトの一つとして、「歩いて楽しいまち」に加えて、「出会って楽しいまち」というように、いろんな事や物に出会って、いろんな相乗効果を生み出す、付加価値を生み出すようなまちづくりとするべき。
- ・働くまちと住むまちの両立は非常に大事なことであり、特に、子育て世代やもう少し若い世代、働く世代も一つのターゲットに住みやすいまちを考えてもらいたい。

2) 実現に向けたイメージ 及び 3) 実現を支える取組

【委員意見】

- ・情報発信は、SNS だけではなく、スマホへの自動通知やアプリとの連携など新しい仕組みがこれから先どんどん出てくると思うので、そういったことにも触れたほうがよい。
- ・モビリティ導入による実証実験を早い段階から行い、課題発見と、機運の醸成につなげていくようなものになればいい。
- ・駅周辺以外には大きな駐車場がないので、第2、第3の拠点のようなものとして、緩衝緑地や旧市立病院の土地など、そういった場所を駐車場として使うということも必要である。

4) 居場所としての6つのエリアの特徴をふまえた方向性

【委員意見】

- ・単なるホテルというよりも、坂出のこのエリアの中に見合う宿泊施設、滞在時間を長くする機能を持つもののような考え方をしたほうがいい。
- ・エリア間の動線を考えるうえで、中心軸のような広い道は交通量も多く、必ずしも心地よく歩けるわけではないので、広い道だけでなく小道的なところを歩く楽しさをあわせて考えることも必要である。
- ・学生にとっては、線路を挟んで北側に行くことに抵抗感があり、放課後は他市町で遊んでいるという人が多いと聞くので、このエリアの中で、北に向かわせるような交流の仕掛け、若い人がいかにまちなかで過ごせるか、交流できるかということも大事である。
- ・中心市街地の再生をけん引する場所は坂出駅前エリアであり、拠点機能や都市機能の創出ということを考えていく場所である。
- ・例えば、駅を降りたら各エリアにつき統一されたおしゃれなサインが出ている、それだけでもデ

ザインされたまちというイメージになるのではないかと。また、ひとつひとつのエリアがちぐはぐにならないように計画していくことが重要である。

5) 中心市街地再生戦略

【委員意見】

- ・ 坂出駅前エリアと坂出緩衝緑地エリア＋西運河入船エリアの2つエリアのポテンシャルを高めるために何が必要なのかということについて議論を深めるべきである。
- ・ 坂出駅前エリアと坂出緩衝緑地エリア＋西運河入船エリア、そこを重点地区として中心軸として結び、人の移動、回遊を進めていき、こういった受け皿を今後整備していくということが非常に重要である。
- ・ 坂出緩衝緑地エリア＋西運河入船エリアについて、水辺と緑がこれだけ近いという現状があるので、それを活かしながら魅力ある空間づくりをしていくことにより、魅力的なまちづくりを実現する一歩となる。
- ・ ウォーカブルなまちづくりをするためには、歩車分離をエリアごとにしっかりと考えていくことも非常に重要であるので、実証実験を踏まえながら徐々にまちづくりをしていくことが大切である。
- ・ 坂出市は道路体系が分かりにくくなっているため、中心軸を設定することで、そこから横町や食べ物ゾーンが派生したり、文化交流を行う場所が生まれやすくなるのではないか。

6) 坂出駅周辺再整備の検討（現況及び課題） 及び 7) 坂出駅周辺再整備の検討（再整備の考え方）

【委員意見】

- ・ 分断感があると大きなポテンシャルを失ってしまうので、一体感を持った場所になることを望む。

(4) 第4回さかいで再生会議

日時： 令和5年1月27日(金) 14:00~16:00

場所： 坂出市 本庁舎3階 中会議室2

委員： 天米一志、石井秀幸、新居準也、片山将光、中橋恵美子、川滝浩嗣、大美省吾、中井今日子、
山下健二、関口智彦、平池岳弘、尾幡季之、浦田俊一

(1) 坂出駅周辺再整備基本構想について

1) 坂出駅前空間について

【委員意見】

- ・複合施設ができることにより交通量が増える可能性も加味した議論が必要。
- ・地下駐車場を制約条件にしてしまうか、逆転の発想でこれを武器にするのかは大きなポイントになるので、道路線形も含めて、今後検討していく必要がある。
- ・学びの場所、交流の場所を駅周辺に持っていくという視点はかなり大事な視点であり、人材育成やマッチングなど、世代間の交流も促されるような機能があれば非常に魅力的なエリアになる。
- ・安全性を確保したうえで、一般車両、タクシー、駐車場の位置を固めて、広場と複合施設について民間が提案しやすいように、うまくすみ分けできた方がよい。
- ・イベントがしやすい公園や広場を整備し、イベントが盛んに行われることを期待する。
- ・滞留のポイントとして公園をいかにいかしていくか、緑をいかに取り入れるかというのは非常に大事なポイントである。
- ・様々な人が訪れ、活動できる場に加えて、坂出緩衝緑地へのアクセスの出発点として、市民や市外の人にも愛される、親しまれる場所になることを期待する。

2) 取組について

【委員意見】

- ・緑地やウォーカブルというキーワードが出ているので、例えば、ウォーキングコースやランニングコースを設定したり、まちなかのイベントを掛け合わせたりといったソフト面での文化も併せてつくっていければよい。
- ・小さな回遊を促すために、様々なソフトによる対策を繰り返し実施し、トライ・アンド・エラーで課題を確認しながら、小さなイベントや、社会実験を積み重ねていくことでより良いものとしていくことが重要である。
- ・駅前における南北連携のために通路をうまく活用してほしい。
- ・歩車分離については、ゾーンによってしっかりと組み上げていくことが必要。また、坂出は自転車がかかなり多いので、自転車道の整備、車道の拡幅など、車と歩行者だけではなく、自転車も重要である。

3) その他

【委員意見】

- ・生産年齢層が減ってきており、坂出の未来の大きな課題になると思うので、何か対策を打っていないといけない。
- ・今の高校生たちが将来坂出市に戻ってきたいと思えるように、中長期でのまちづくりのビジョンを示しPRすべき。

坂出市 政策部 公民連携・DX推進課

〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号

TEL:0877-44-5080

<https://www.city.sakaide.lg.jp/soshiki/kouminrenkei/>

